

平成27年度

大分市の教育



大分市教育委員会

大分市あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する条例

平成8年3月28日
大分市条例第2号

(目 的)

第1条 この条例は、すべての国民に基本的人権の享有を保障し、法の下での平等を定める日本国憲法並びに自由及び平等を定める世界人権宣言の基本理念にのっとり、市及び市民の責務等に関し必要な事項を定めることにより、部落差別をはじめあらゆる差別の撤廃及び人権の擁護を図り、もって平和な明るい地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(市の責務)

第2条 市は、前条の目的を達成するため、第4条に規定する施策の推進を図り、市民の人権意識の高揚及び人権の擁護に努めるものとする。

(市民の責務)

第3条 市民は、相互に基本的人権を尊重し、あらゆる差別の撤廃及び人権の擁護に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(市の施策)

第4条 市は、あらゆる差別を撤廃し、人権を擁護するため就労対策、産業の振興、教育及び啓発に関する必要な施策の推進に努めるものとする。

(実態調査)

第5条 市は、前条に規定する施策の策定及び推進に反映させるため、必要に応じ実態調査等を行うものとする。

(委 任)

第6条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

●表紙の作品について

河合 誓徳 (かわい せいとく)

釉裏紅映 (ゆうりこうえい) 1992 (平成4) 磁器 6.0cm×43.2cm×43.2cm

「釉裏紅」は中国が元(げん)と呼ばれた時代に「染付(そめつけ)、白磁青花(はくじせいか)」とともにさかんになった手法で、白磁(はくじ)の素地(きじ)に銅の成分を含む顔料で文様を描(か)き、還元焰(かんげんえん)で焼き上げたものです。銅の発色が不安定なため、紅(べに)の文様が黒ずんだり、消えてしまったりすることが多く、染付ほど普及せず最も難しいとされています。この作品は、釉裏紅があざやかに発色しており、特徴である周囲の淡い紅色のにじみは、いっそう葉鶏頭(はげいとう)のおおらかな様、伸びやかな様を効果的に見せています。また、中央部から下方に見られる黒と紅の配色は、八角の皿いっばいに収められた葉鶏頭に安定感を持たせています。

目 次

大分市の概要	1	幼稚園教育	
教育行政		1 就園状況	33
1 教育委員会	2	2 就園奨励費及び私立学校補助金	33
2 歴代教育委員・教育委員長・教育長	3	3 幼稚園教育の振興と充実	34
3 大分市教育ビジョン	4	4 研修・研究活動	34
4 組織機構と事務分掌	7	特別支援教育	
5 平成27年度市費職員配置数	8	1 特別支援教育の推進	35
教育財政		2 特別支援学級	35
1 平成27年度教育委員会重点事業	9	3 特別支援学級在籍者数の推移	36
2 教育費の推移	10	4 特別支援学級の運営	37
3 平成27年度教育費予算概要	10	5 就学指導	37
学校施設		6 障がい幼児保育	37
1 学校教育環境	12	健康教育	
2 平成27年度主要な事業	12	1 平成27年度主要な事業	38
3 学校施設の整備状況	13	(1) 学校保健・安全	38
4 学校施設整備事業費の推移	13	(2) 学校給食	41
5 安全かつ機能的で 豊かな学校教育環境の創出	14	青少年教育	
6 地域に開かれた学校づくり	14	1 平成27年度主要な事業	43
7 児童・生徒数の推移	14	2 エデュ・サポートおおいた	45
幼児・児童・生徒・教員・学校一覧		3 大分市立のつはる少年自然の家	46
1 幼児・児童・生徒		4 いまいち山荘	48
(1) 学校種別学級数、幼児・児童生徒数	15	人権・同和教育	
(2) 学年別学級数・児童生徒数	15	1 平成27年度主要な事業	49
2 教員		2 学校教育	50
教員構成	16	3 社会教育	51
3 学校一覧		4 人権啓発	52
(1) 幼稚園	17	スポーツ振興	
(2) 小学校	18	1 主要な事業	53
(3) 中学校	20	(1) 生涯スポーツの推進	53
(4) エスペランサ・コレジオ	20	(2) 競技スポーツの振興	55
学校教育		(3) スポーツ施設の管理及び整備	56
1 教育課程の改善と充実	22	生涯学習	
2 研修体系	25	1 平成27年度主要な事業	58
3 教育研究会	27	2 社会教育関係団体の育成	63
4 進路指導	27	3 公民館	63
5 学校体育	28	4 大分市情報学習センター	66
6 福田展・朝倉展	29	5 大分市関崎海星館	67
7 大分市奨学金制度	30	6 エスペランサ・コレジオ	68
8 大分市立小・中学校隣接校選択制	31		

目

次

7	河原内陶芸楽習館	69
8	大分市民図書館	70
芸術・文化		
1	芸術・文化振興	72
2	文化財	73
3	大分市歴史資料館	81
4	大分市美術館	84
5	アートプラザ	88
資 料		
1	教育委員会の沿革	91
2	教育委員会会議	95
3	大分市議会文教常任委員会委員	100
4	大分市社会教育委員	100
5	大分市文化財保護審議会委員	100
6	大分市美術館協議会委員	100
7	大分市民図書館協議会委員	101
8	大分市青少年問題協議会委員	101
9	大分市体育協会役員	102
10	大分市スポーツ推進委員	103

大分市の概要

1 自然

本市は、大分県のほぼ中央、扇状地域の要に位置し、南は臼杵市及び豊後大野市、西は別府市、由布市及び竹田市に接しています。市域面積は502.39km²と広く、そのうち佐賀関地域が49.58km²、野津原地域が90.83km²を占めています。

地勢は、北は別府湾、東は豊後水道に面しており、西から南にかけては、高崎山をはじめ鎧ヶ岳、九六位山、縦木山などのみどりの山々が連なり、これらを縫うように県下の二大河川である大野川、大分川が南北に貫流しながら別府湾に注いでいます。

2 歴史

本市は、7世紀に国府が置かれて以来450年にわたって政庁所在地として栄えました。鎌倉時代には大友氏が守護となり、16世紀半ば、大友宗麟公の時代には九州9カ国中6カ国を領有し、泰西文化を取り入れて九州の文化の中心となるなど隆盛を極めました。江戸時代には幕府の小藩分立政策により細分され、府内、臼杵、熊本、延岡、岡の各藩や天領に分割統治されました。

明治4年に大分県の県庁が置かれて再び行政の中心となり、昭和38年の6市町村合併による新大分市誕生と翌39年の新産業都市指定を機に飛躍的な発展を遂げました。そして、平成9年の中核市指定を経て、平成17年1月1日の佐賀関町及び野津原町との合併により現在の大分市が誕生しました。

平成23年4月には「市制施行100年」を迎え、ますますの飛躍が期待されているところです。

3 社会・経済

本市は、政治経済のみならず、交通、情報、文化などあらゆる面で都市機能が集積し、東九州軸の拠点としての役割を担っています。

交通面では、日豊本線など鉄道3線や大分自動車道、東九州自動車道が合流する要に位置し、瀬戸内海、豊後水道を経由する海上ルートにより国内外と通じる海上交通の要衝でもあります。

また、産業面では、北部沿岸に鉄と石油を基幹とする企業群が一大工業地帯を構成し、東端の銅精錬業、内陸部のIC産業や乳製品製造業の各企業とともに本市産業経済のけん引役を果たしています。

さらに、第一次産業は、「関あじ、関さば」に代表される水産業、米や施設野菜を中心に果樹、花きといった都市近郊型農業、豊後牛を中心とする畜産業など多彩で、それぞれ着実な業績を上げています。

人 口	478,638 人
男性	229,914 人
女性	248,724 人
世帯数	213,678 世帯
(平成27年6月末現在)	

教 育 行 政

1 教育委員会

大分市教育委員会は教育長および4人の委員で組織する合議制の執行機関である。教育長および教育委員は市長が議会の同意を得て任命し、任期は、教育長は3年、教育委員は4年である。

教育長は教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表する。



三 浦 教育長



角 山 委 員
(教育長職務代理者)



小 林 委 員



大久保 委 員



上 杉 委 員

(H27.7.1現在)

職 名	氏 名	就任年月日	委員現任期
教 育 長	三 浦 享 二	H27.5.14	H27.5.14～H30.5.13
委 員 (教育長職務代理者)	角 山 光 邦	H19.12.17	H25.7.8～H29.7.7
委 員	小 林 達 也	H20.3.26	H24.7.9～H28.7.8
委 員	大久保 眞理子	H23.5.14	H27.5.14～H31.5.13
委 員	上 杉 美穂子	H26.6.28	H26.6.28～H30.6.27

2 歴代教育委員・教育委員長・教育長（6市町村合併後）

教育委員

氏 名	期 間
中山 宏 男	38. 3.10～38. 5. 3 (暫定委員)
	38. 5. 4～42. 5. 3
	42. 5.12～46. 5.11
	46. 5.12～50. 5.11
	50. 5.14～54. 5.13
御手洗 正	38. 3.10～38. 5. 3 (暫定委員)
	38. 5. 4～42. 5. 3
富来 鳴 実	38. 3.10～38. 5. 3 (暫定委員)
築城 加久雄	38. 3.10～38. 5. 3 (暫定委員)
春山 庫 喜	38. 3.10～38. 5. 3 (暫定委員)
	38. 5. 4～39.12.25
阿部 本 生	38. 5. 4～41. 5. 3
松岡 直	38. 5. 4～39. 5. 3
稗田 茂	39. 6.11～43. 6.10
池見 喬	40. 2. 2～40. 5. 3
	40. 5. 4～44. 5. 3
	44. 5. 4～48. 5. 3
児玉 豊 後	48. 5. 4～52. 5. 3
	41. 5. 4～45. 5. 3
一丸 伍兵衛	45. 6.20～49. 6.19
	42. 5.12～46. 5.11
三原 宣 雄	43. 6.22～47. 6.21
	47. 6.22～51. 6.21
田北 豊	46. 5.12～50. 5.11
	50. 5.14～54. 5.13
	54. 5.14～58. 5.13
佐々木 智 英	49. 6.22～53. 6.21
	53. 6.22～57. 6.21
	57. 6.28～61. 6.27
永徳 公 明	61. 6.28～ 2. 6.27
	51. 7. 9～55. 7. 8
松本 喜 義	55. 7. 9～59. 7. 8
	52. 6.30～56. 6.29
松橋 寛 文	56. 6.30～60. 6.29
	54. 5.14～58. 5.13
小田 ヨシ子	58. 5.14～62. 5.13
	62. 5.14～ 3. 5.13
	3. 5.14～ 5. 5.31
矢津田 二 男	59. 7. 9～63. 7. 8
	63. 7. 9～ 4. 7. 8
安東 裕	60. 7. 8～元. 7. 7
	元. 7. 8～ 5. 7. 7
小野 今朝雄	2. 6.28～ 6. 6.27
	6. 6.28～10. 6.27
嶋津 義 久	3. 5.14～ 7. 5.13
	7. 5.14～11. 5.13
	11. 5.14～14. 3.31
田北 昭 二	4. 7. 9～ 8. 7. 8
	8. 7. 9～12. 7. 8

氏 名	期 間
吉川 眞理子	5. 6.25～ 7. 5.13
	7. 5.14～11. 5.13
	11. 5.14～15. 5.13
清瀬 和 弘	5. 7. 8～ 9. 7. 7
	9. 7. 8～13. 7. 7
御沓 義 則	10. 6.28～14. 6.27
	橋本 量太郎
赤峰 弘 三	12. 7. 9～16. 7. 8
	16. 7. 9～20. 1.15
岡本 龍 治	13. 7. 8～17. 7. 7
	14. 4. 1～15. 5.13
秦 政 博	15. 5.14～19. 5.13
	14. 6.28～18. 6.27
若杉 順 子	18. 6.28～19. 5. 7
	15. 5.14～19. 5.13
神足 博 美	19. 5.14～23. 5.13
	17. 7. 8～19.12. 3
高橋 英 子	19. 5. 8～22. 6.27
	22. 6.28～26. 6.27
足立 一 馬	19. 5.14～23. 5.13
	23. 5.14～27. 5.13
角山 光 邦	19.12.17～21. 7. 7
	21. 7. 8～25. 7. 7
小林 達 也	25. 7. 8～
	20. 3.26～20. 7. 8
大久保 眞理子	20. 7. 9～24. 7. 8
	24. 7. 9～
上杉 美穂子	23. 5.14～
	26. 6.28～

教育委員長（H27年5月13日をもって廃止）

氏 名	期 間
中山 宏 男	38. 5. 4～53. 7. 3
田北 豊	53. 7. 4～58. 5.13
佐々木 智 英	58. 5.19～ 2. 6.27
矢津田 二 男	2. 6.30～ 4. 7. 8
小野 今朝雄	4. 7. 9～10. 6.27
嶋津 義 久	10. 6.29～14. 3.31
吉川 眞理子	14. 4. 1～15. 5.13
橋本 量太郎	15. 5.14～20. 1.15
若杉 順 子	20. 3.26～23. 5.13
高橋 英 子	23. 5.16～25. 5.15
角山 光 邦	25. 5.16～27. 5.13

教育長

氏 名	期 間
春山 庫 喜	38. 3.10～38. 5. 3
	38. 5. 4～39.12.25
池見 喬	40. 2. 2～52. 5. 3
	松本 喜 義
安東 裕	52. 6.30～60. 6.29
	60. 7. 8～ 5. 7. 7
清瀬 和 弘	5. 7. 8～13. 7. 7
	御沓 義 則
秦 政 博	13. 7. 8～14. 6.27
	14. 6.28～19. 5. 7
足立 一 馬	19. 5.14～27. 5.13
	三浦 享 二
	27. 5.14～

3 大分市教育ビジョン（平成20～28年度）

(1) 基本理念

思いやる豊かな心と生きがいをはぐくむまちづくり

(2) 基本目標

〈めざす人間像〉

- 夢と希望をもち 「生きる力」をはぐくむ たくましい子ども
- 生涯を通じて 自ら学び生きがいをはぐくむ 心豊かな大分市民

市民がともに手をたずさえながら、希望にあふれ、人も地域も、そしてまち全体も元気な大分市を築いていく、それが私たち大分市民のめざすまちの姿です。

このようなまちを築くためには、次代を担う子どもたちを健やかに育てることが大切です。さらに、大人一人ひとりが、かけがえのない子どものためかけがえのない存在となるよう、生涯を通じて主体的に学ぶことが重要です。

そのためには、市民協働のもと、主体的な学びを支援する教育環境の整備充実を進めることが必要です。

そこで、本教育ビジョンでは、以下の4点を教育の基本目標とし、教育行政における施策を展開します。

〈基本目標〉

- ① 幅広い知識や教養、豊かな人間性、健やかな体をはぐくむ。
学ぶ楽しさを実感し、幅広い知識や教養をはぐくむとともに、感動する心や命を尊ぶ心などの豊かな人間性、心の成長を支える健やかな体をはぐくむ教育を展開します。
- ② 個性を発揮するなか、創造性、自立・自律の精神を養う。
個に応じた教育の充実を図るなか、新しいものを生み出す創造性や社会の一員としての使命・役割を自覚し、自らを律しつつ、社会的に自立する人間をはぐくむ教育を推進します。
- ③ 自他の人権、公共の精神を尊び、社会発展に寄与する態度をつちかう。
一人ひとりの人権意識を高め、人権問題の解決に積極的に取り組むとともに、自分自身が社会づくりの主体であるという自覚と行動力を持ち、公共の精神を尊重し、互いに協力しつつ、社会発展に寄与する態度をはぐくむ教育を推進します。
- ④ 郷土の自然、伝統・文化を大切にすることを心がける。
国際的視野に立ち、主体的に行動しようとする態度をはぐくむとともに、郷土やわが国の自然や歴史、伝統・文化を大切にすることを心がける教育の充実を図ります。

(3) 指標

この計画において、市民と教育行政とが協働して取り組むさまざまな具体施策の進捗について、市民に分かりやすく示すため、計画の中間年度である平成23年度と最終年度である平成28年度にめざす姿としての指標を設定します。

なお、この指標は、今後の事業の進め方や予算措置を拘束するものではありませんが、具体施策の進捗状況の努力目標として活用します。

(4) 評価

指標として示したことを中心に、年度ごとにその進捗状況について、評価し、その展開の仕方について、必要な見直しを図ります。

(5) 計画の見直し

平成24年度から平成28年度までの第Ⅱ期基本計画を策定し、第Ⅰ期基本計画の進捗状況、国や県の動向、社会情勢の変化などを踏まえ、見直しを図りました。

(6) 平成27年度大分市学校教育指導方針

平成 27 年度 大分市学校教育指導方針

■ 本市の目指す学校教育

**確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成し、
自ら学び、自ら考える力などの生きる力をはぐくむ学校教育**

■ 目指す子ども像

未来を切り拓く心豊かで
たくましい子ども

個性を発揮し、夢と希望をもって
主体的、創造的に生きる子ども

生涯にわたって学びつづける
基礎を身に付けた子ども

■ 重要課題と主な取組・達成指標



I 学校、地域の実情に応じた小中一貫教育の推進

- ・重点目標の設定による取組の焦点化
- ・年間を通じた計画的な成果や課題の検証及び取組の改善
- ・家庭、地域社会への積極的な情報の発信

各校区での重点目標の設定と成果・課題の検証及び積極的な情報発信



II 開かれた学校づくり、信頼される学校づくりの推進

- ・子どもの安心・安全を重視した危機管理体制及び相談体制の充実
- ・児童生徒との信頼関係に基づく指導の充実及び学年・学校全体での学習や生活のきまり等の徹底
- ・学校公開、学校ホームページ等あらゆる機会を通じた情報の積極的な収集・発信
- ・学校経営計画表と連動した学校評価の充実

各学校での学校経営計画表における中期経営目標の達成



III 確かな学力の定着・向上

- ・校長、教頭、主幹教諭等の授業観察及び互見授業、公開授業を通じた指導力の向上
- ・学力調査結果等の活用による家庭・地域社会と一体となった学力向上の取組の推進
- ・放課後や長期休業期間等を活用した補充指導の充実
- ・読書センター、学習・情報センターとしての学校図書館の積極的な活用

各種学力調査において、全ての実施教科の結果が全国平均以上



IV 豊かな心をはぐくむ教育活動の充実

- ・学校・家庭・地域社会が連携した心育での推進
- ・学校等の実態に応じた道徳教育の重点目標や各学年の指導の重点の明確化
- ・指導のねらいを明確にした道徳授業の充実と保護者や地域の人々への公開
- ・自然体験や社会体験など豊かな体験活動の推進

各学校での道徳の授業公開及び授業研究における指導主事の活用



V 体力の向上と心身の健康の保持増進

- ・各種運動を通じて体力の向上を図る授業の実践
- ・発達段階に応じた保健指導・保健学習の充実
- ・栄養教諭や学校栄養職員等の専門性をいかし、関連教科と連携した食に関する指導の充実

新体力テストにおいて、全国平均以上の項目数（割合）が87項目（60%）以上



VI 自らの生き方を探求する進路指導の充実

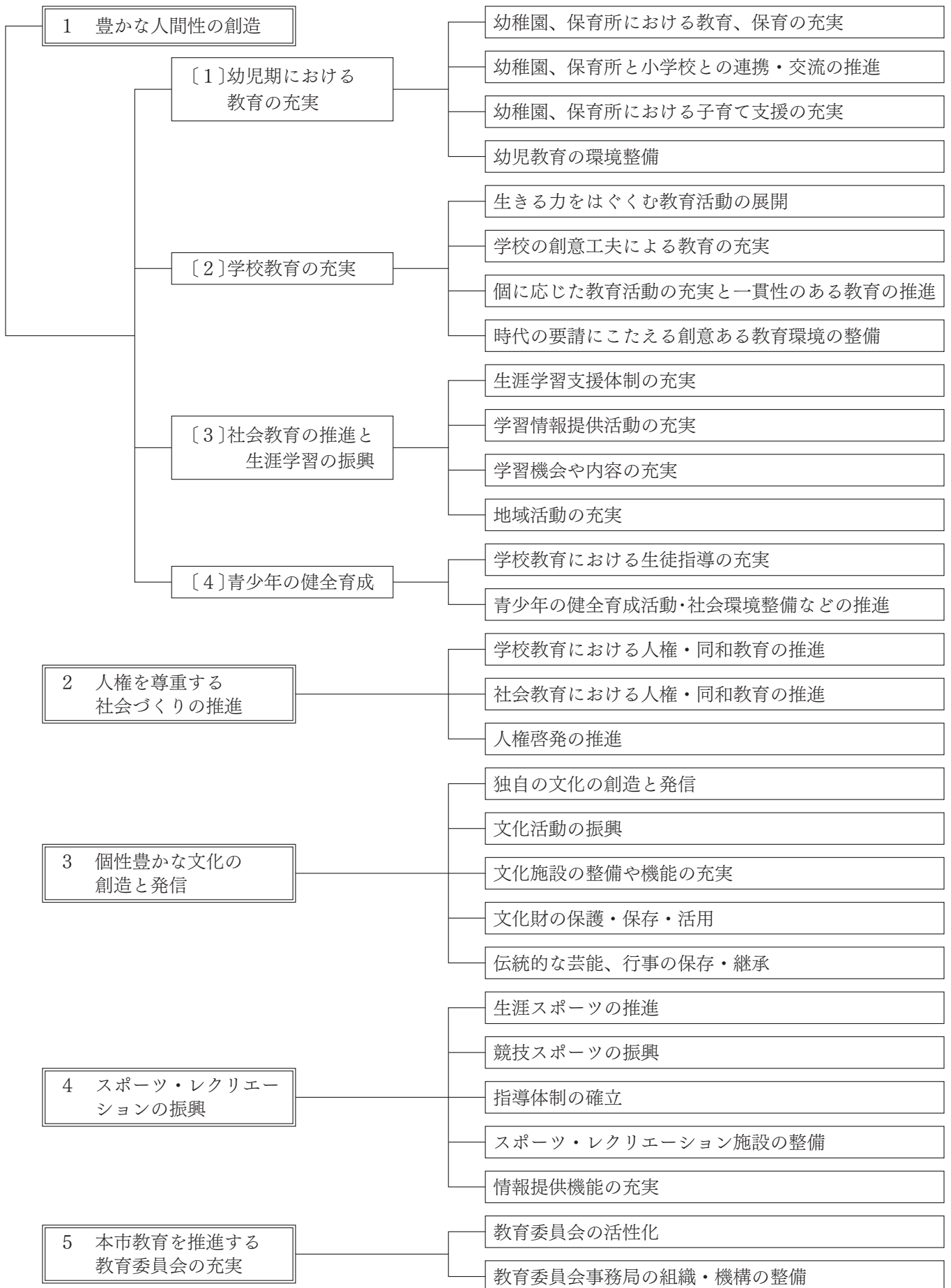
VII 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実

VIII 豊かな人間性や社会性をはぐくむ生徒指導の充実

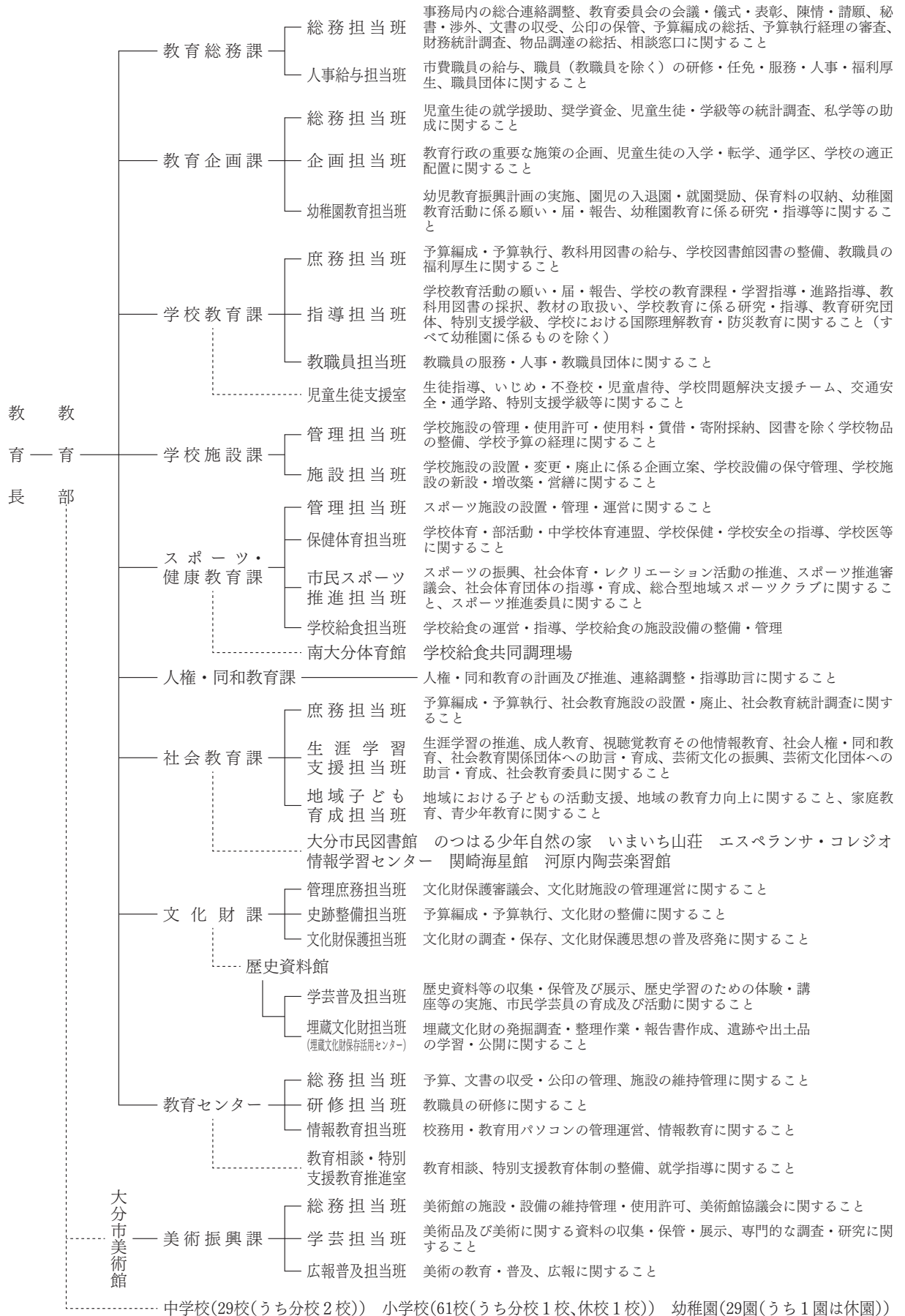
IX 人権尊重の精神をはぐくむ教育活動の充実

大分市教育委員会

(7) 重点施策の体系



4 組織機構と事務分掌



5 平成27年度 市費職員配置数(教育長除く)

(平成27年6月1日 現在)

	教育総務課	教育企画課	学校教育課	学校施設課	スポーツ・健康教育課	人権・同和教育課	社会教育課	文化財課	大分市教育センター	美術振興課	南大分体育館	東部共同調理場	西部共同調理場	市民図書館	エスペランサコレジオ	のっほる少年自然の家	歴史資料館	小学校	中学校	幼稚園	計	女性内数
部長・教育監・参事	2																				2	
次長・副館長					1	1	1			1											4	
参事																					0	
課長・所長・館長(副)	1	1	1	1		1		1	1												7	
校長																					0	
参事	1	2	3		1		1	2	1	1				1			2				15	2
参事補・主幹	2	1	2	1	6	1	4	3	2	2	1			1			2				28	4
室長・場長・所長・館長									1			1	1			1					4	1
副校長															1						1	
園長																				10	10	10
主査・専門員等	4	3	2	3	3		2	5	1	5	1	1	1	4		1	4	11	5		56	13
事務員	主任	2	2	2	2	1	1	3			2										15	1
	主事	1	5		7	4		2	1	1	2		1	3			2				29	12
	事務員				2	1		1	1	1							1				7	3
指導主事		1	13		5	3	3	2	11	2						3	2				45	14
社教主事																					0	
社教主事補																					0	
技術員	主任																				0	
	技師																				0	
	技術員																				0	
社会体育主事																					0	
教諭																					0	
幼稚園	副園長																				0	
	主任																				12	12
教諭																					33	33
養護教諭																					0	
栄養士					1																1	1
汽缶士																					0	
運転者	主任																				0	
	技師補																				0	
	運転者																				0	
作業員	主任																				0	
	作業監督																				0	
	作業員																				0	
学校主事	主任																	19	13		32	17
	学校主事																		2		2	2
	学校主事補																	2			2	
用務員	主任															1					1	
	用務職員																				0	
	用務員																				0	
調理員	主任																	50			50	50
	給食調理員																	38			38	27
合計	13	15	23	16	22	7	15	18	18	14	4	2	3	9	1	6	13	120	20	55	394	200
女性内数	2	2	7	4	6	1	6	1	7	6		1	2	4			2	92	11	53	207	

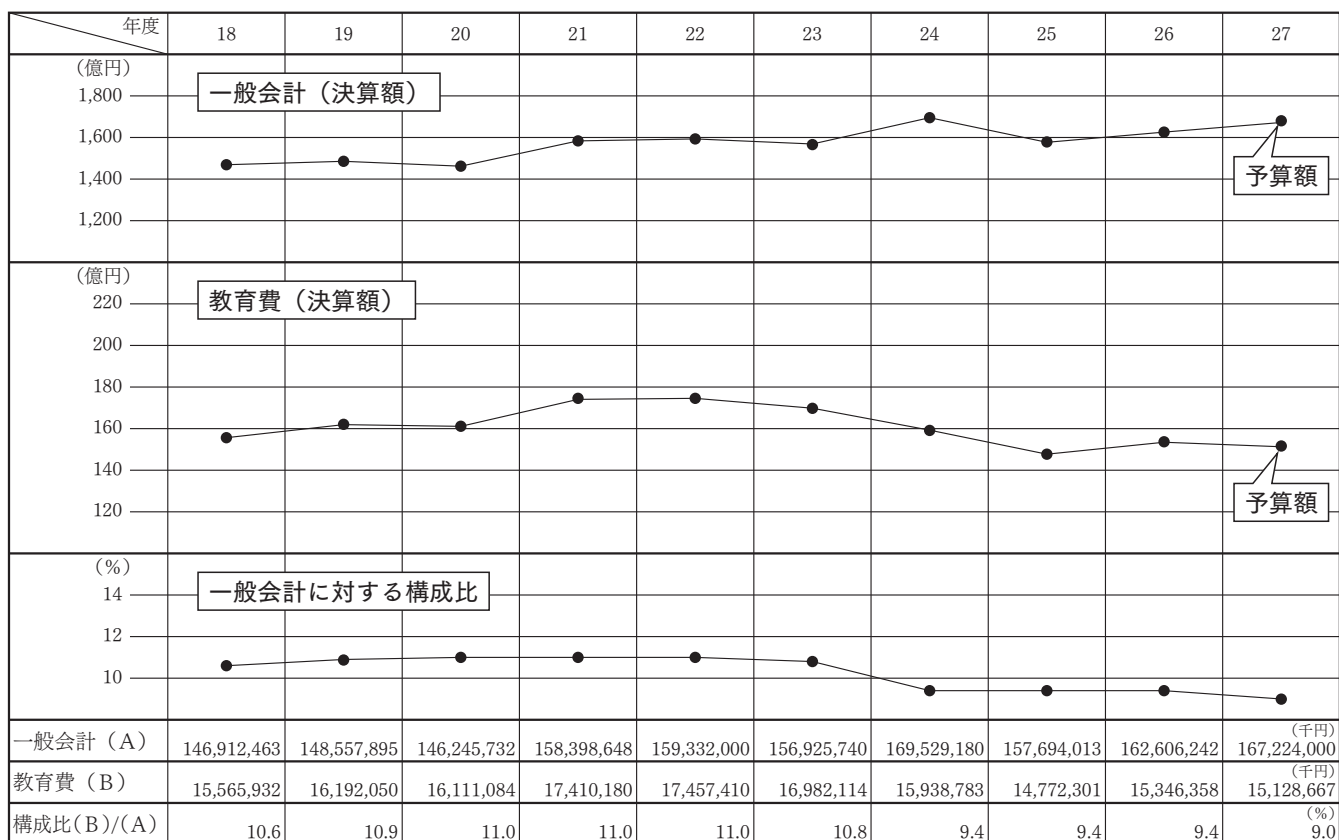
教育財政

1 平成27年度 教育委員会重点事業

(単位：千円)

事業名	事業費	主 な 内 容	担 当 課
小中学校適正配置計画事業	474	優先順位1に位置付けている碩田中学校区については、保護者や地域関係者等の参画を得て、学校の運営や施設の開放などについて検討を行い、本市初となる施設一体型小中一貫教育校の平成29年4月開校に向けた取り組みを進める。 優先順位2に位置付けている神崎中学校区及び野津原中学校区については、平成27年度中に地域協議会から報告書が提出され、それぞれの実施計画を策定する予定である。また、優先順位3に位置づけている校区については、引き続き状況に応じて関係者への説明や意見交換等を行う。	教育企画課
幼児教育振興計画推進事業	33,675	平成27年度から子ども・子育て支援新制度が開始され、幼児期の教育に関する制度や給付のあり方が大きく変わろうとする中、「大分市幼児教育振興計画」及び平成26年度末に策定された「新制度開始に当たった幼児教育の実施方針」に沿って、幼保小の連携、子育て支援事業、多年制保育の拡大、幼稚園と保育所の一元化の推進、私立幼稚園預かり保育利用者補助事業等の取り組みを実施し、幼児教育の充実を図る。	教育企画課
未来自分創造資金事業	1,250	高校に入学する中学校3年生及び高校生を対象とした贈与型奨学資金で、高校入学時に10万円、進級(卒業)時に5万円を贈与する。	教育企画課
大分っ子心育て推進事業	2,304	「大分っ子心育て推進協議会」の開催、「大分市『家庭の日』心育て講演会」の開催等、基本的な生活習慣の確立、郷土愛や規範意識の育成に向けた取り組みを行い、地域において心豊かな子どもの育成を図る。	学校教育課
いじめ・不登校未然防止対策事業	3,800	「Hyper-QU検査(心理検査)」を児童生徒に実施し、それにより得られたデータを活用することで、児童生徒の状態や学級の課題を客観的に把握し、以後の生徒指導や学級運営に役立て、いじめや不登校の未然防止を図る。	学校教育課
碩田中学校区新設校施設整備事業	707,000	小中学校適正配置基本計画に基づき、碩田中学校区内3小学校の統合を行い、施設一体型小中一貫校を創設することにより、生きる力をより効果的に育成するための環境を整備する。	学校施設課
幼稚園ホール室空調機設置事業	20,000	市立幼稚園において、日常の教育活動や各種行事が行われるホール室に空調機を設置することにより、教育環境の向上を図る。	学校施設課
鶴崎小学校北校舎改築事業	97,000	鶴崎小学校の北校舎は老朽化が著しく、今後の耐用年数や児童数の推移を総合的に勘案し改築を行う。	学校施設課
大在小学校施設整備事業	540,000	校舎の耐震診断の結果や耐用年数、児童数の推移等を総合的に勘案し、校舎等の改築を行うことで、施設の機能充実と教育環境の整備・充実を図る。	学校施設課
大在中学校施設整備事業	396,000	平成22年度の新南校舎完成に引き続き、北西校舎についても耐震診断結果や耐用年数、今後さらに増加する見込である児童数、校舎全体の状態等を総合的に勘案し、校舎の改築を行うことで、教育環境の整備・充実を図る。	学校施設課
教育施設整備保全計画策定事業	13,000	教育委員会が所管する公共施設については公立学校を中心に今後一斉に更新時期を迎える。現状把握及び整備費用の推計を行い、今後の整備費用の圧縮と平準化を図りつつ、建替え及び長寿命化を組み合わせることで計画的・効果的な整備計画を策定する。	学校施設課
大分っ子体力アップわくわく事業	2,355	体力・運動能力調査の分析において低い傾向にあるスピード・全身持久力・瞬発力の体力要素で構成される陸上運動・器械運動・体づくり運動の3領域の専門知識を持ったスポーツ人材を派遣し、体育授業を充実させることにより、体力の向上を図る。	スポーツ・健康教育課
運動部活動総合活性化事業	1,090	新たに設置した「大分市立中学校運動部活動外部指導者人材バンク」を専門的な指導者がいない学校が活用することにより、運動部活動の実施体制の整備を図るとともに、外部指導者への研修会、トップアスリート等による実技講習会や講演会を開催することで競技力・資質の向上を図り、総合的に部活動の活性化をめざす。	スポーツ・健康教育課
スポーツ大使交流事業	9,000	「大分市スポーツ大使」に就任した福岡ソフトバンクホークスの内川聖一選手による講演や野球教室を開催するとともにヤフオクドームで実施される試合のスポンサーとなり本市のPRをすることにより、本市のスポーツ振興や青少年の健全育成とともに本市の知名度向上を図る。	スポーツ・健康教育課
OITA子ども+3推進事業	562	地域社会の中で、放課後等に子ども達の安全で健やかな居場所づくりを推進するため、「ふれあい学びの広場」と「児童育成クラブ事業」の連携を図り、一体的かつ総合的な放課後対策を行う。	社会教育課
大友氏遺跡保存整備事業	1,260,808	わが国の中世を代表する貴重な歴史遺産である大友氏遺跡の保護・保存・活用を図る。 【平成27年度事業】 ・史跡の保存を目的とした公有化 ・整備に向けた資料を得るための詳細な確認調査(大友氏館庭園部分) ・大友氏遺跡歴史公園整備基本計画等策定	文化財課
大友氏遺跡情報発信事業	26,509	大分の歴史遺産である大友氏遺跡、大友氏の実像を全国にPRするとともに、市民に学習の場を提供し、「郷土への誇り」の育成を行う。 ・大友宗麟副読本作成事業・大友氏遺跡体験学習館運営事業 ・おおいたのクリスタル・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクト ・クリスタル・南蛮文化交流協定協議会事業 ・大友氏都市間連携・交流推進事業	文化財課
まちなかアートフルロード推進事業	7,000	「JRおおいたシティ」等の開業により中心市街地で多くの賑わいが創出されている中、県立美術館、大学、関係美術団体と連携し、まちなかでアートイベントを展開することで、中心市街地で創出される賑わいを市美術館に誘引するとともに、「アートのまち・大分」を市内外へアピールする。	美術振興課

2 教育費の推移

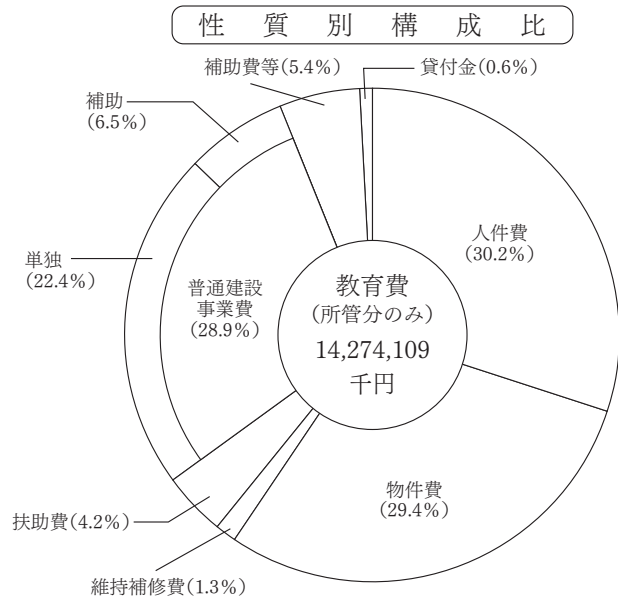
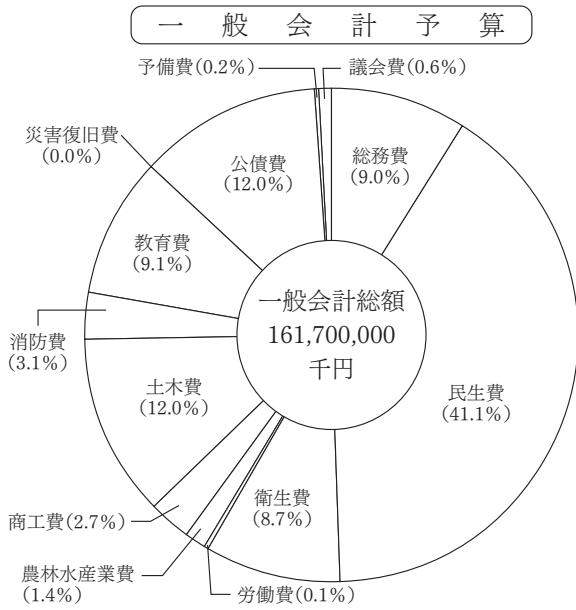


3 平成27年度教育費予算概要 (6月補正後)

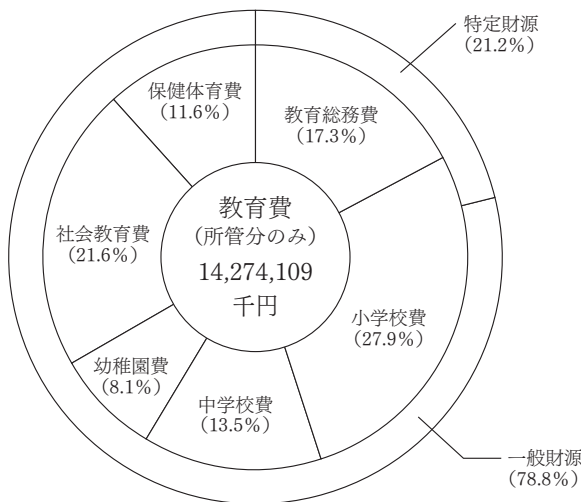
(1) 費目別予算額 (10款 教育費)

項	目	予算額(千円)	項	目	予算額(千円)
1 教育総務費	1 委員会費	7,212	5 社会教育費	1 社会教育総務費	183,408
	2 事務局費	1,570,056		2 文化財保護費	1,684,729
	3 教育指導費	395,943		3 エスベランサ・コレジオ費	39,527
	4 教職員研修費	496,608		4 公民館費(教育委員会所管外)	854,558
計	2,469,819	5 青少年費		9,510	
2 小学校費	1 学校管理費	2,410,660		6 少年自然の家費	207,277
	2 教育振興費	448,532		7 情報学習センター費	40,526
	3 学校建設費	1,126,500		8 歴史資料館費	123,394
計	3,985,692	9 市民図書館費		299,242	
3 中学校費	1 学校管理費	930,922		10 美術館費	382,730
	2 教育振興費	280,617		11 アートプラザ費	79,925
	3 学校建設費	712,000		12 海星館費	27,092
計	1,923,539	13 いまいち山荘費		7,599	
4 幼稚園費	1 幼稚園費	1,160,188	計	3,939,517	
	計	1,160,188	6 保健体育費	1 保健体育総務費	194,331
		2 体育振興費		120,447	
		3 学校保健費		76,373	
		4 体育施設管理費		227,767	
		5 体育施設整備費		172,600	
		6 温水プール費		47,797	
		7 南大分体育館費		132,341	
		8 学校給食共同調理場費		564,487	
		9 学校給食費		113,769	
		計	1,649,912		
			10款 教育費	合計	15,128,667
				合計(所管分のみ)	14,274,109

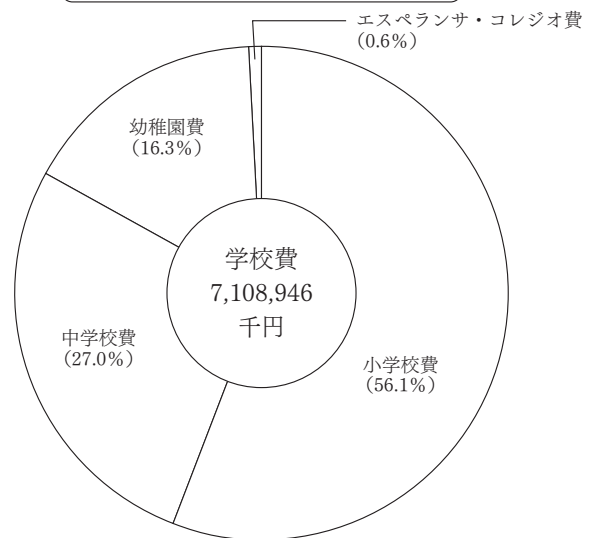
(2) 費目別構成比



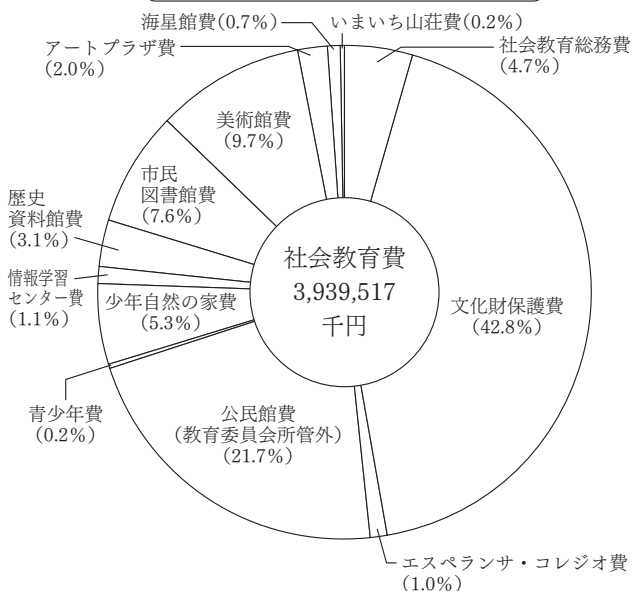
財源別・事業別構成比



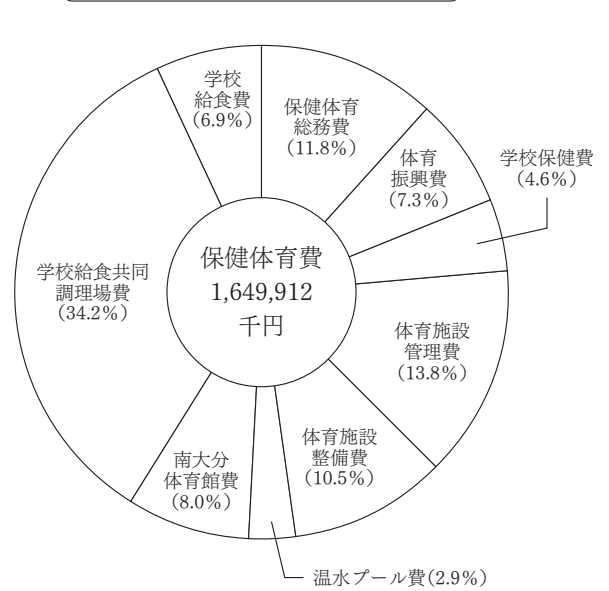
学校費構成比



社会教育費構成比



保健体育費構成比



学 校 施 設

1 学校教育環境

都市構造の変化や少子高齢化が進展する中、学校を取り巻く教育環境は、多様な変化に対応し得る弾力的な施設環境や健康的かつ安全な施設環境に整備するなど、望ましい機能を的確に把握し、改善・向上させていくことが求められている。

このような中、本市としても児童生徒数の減少や市街地整備の成熟度の違いなどにより小規模校や大規模校が生じ、教育環境の格差が拡大するなど新たな問題にも直面していることから、よりよい教育環境の構築に向けて学校適正配置の観点から児童数の推移、学校の規模、施設整備、敷地面積、学校運営などを視点に多面的な検討を進めているところである。

一方、ベビーブームによる児童生徒の急増に伴い大量に整備されてきた校舎などが、今後一斉に更新時期を迎えることから、建替及び長寿命化を組み合わせるなど、中・長期的な展望に立った計画的な施設整備が不可欠であることから、大分市教育施設整備保全計画の策定をすることとした。

また、余裕教室の活用については、少人数指導教室や特別活動室への利用など学校教育活動の場としての充実を推進するとともに、児童育成クラブや地域住民への開放も進める中、児童生徒数の増減、隣接校選択制等も踏まえ慎重に対応すべき状況となっている。

なお、学校施設の整備にあたっては、通常時における児童生徒の安全確保はもとより、災害時には学校施設が避難所として指定されるなど、地域のための防災拠点となることから、防災機能の強化の観点も求められている。

2 平成27年度主要な事業

(1) 施設一体型小中一貫教育校建設事業

小中学校適正配置計画に基づき、碩田中学校区内3小学校（荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校）の統合を行い、碩田中学校を含めた、本市で初となる施設一体型小中一貫教育校を創設することにより、生きる力をより効果的に育成するための環境を整備する。

また、本校舎は、津波避難ビルとしての機能を有する高層の6階建ての建物である。

●平成27年度事業計画

碩田中学校区新設校	新築	S6F RC3F	校舎、屋体等 21,711㎡
-----------	----	-------------	-------------------



碩田中学校区新設校完成予想図

(2) 校舎改築事業

よりよい教育環境の構築に向け、安全性の確保を最優先に、校舎等の改築・改修などにより、教育環境の整備・充実を図る。

●平成27年度事業計画

- ・校舎建設（改築）

大在小学校	改築	RC4F	校舎6,250㎡
大在中学校	改築	RC4F	校舎1,841㎡

(3) 学校プール建設事業

老朽化により漏水や水質管理に支障をきたしている学校プールを改築することにより、教育環境の整備・充実を図る。

●平成27年度事業計画

佐賀関小学校	改築	240㎡
--------	----	------

(4) 大分市教育施設整備保全計画の策定

本市の教育施設は、築30年から40年を経過した建物が多く、今後一斉に大規模改修や改築時期を迎えることから、このままでは、一時期に多額の財政支出を要することとなり、市の財政運営に支障をきたすこととなる。

そこで、本市教育施設の建物ごとに、施設の現状、老朽化の度合いなどを分析・評価し、維持管理を、長期的な視点で計画的に行い、持続可能な財政運営を目的とする大分市教育施設整備保全計画の策定を行う。

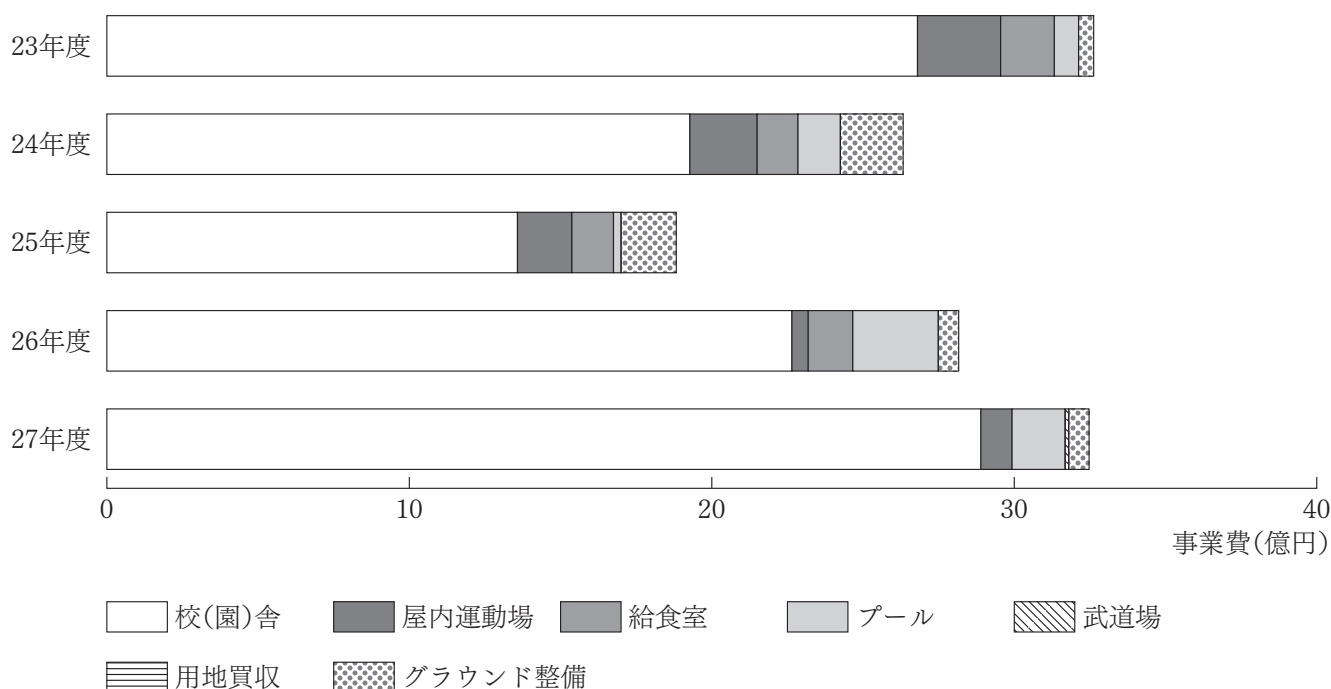
3 学校施設の整備状況

事業費の単位は千円

		23		24		25		26		27	
		校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費	校(園)数	事業費
小学校	校舎	61	2,122,304	61	1,537,006	61	1,071,247	61	1,752,569	61	1,943,825
	屋内運動場	9	239,244	8	222,777	11	165,399	4	27,372	2	57,562
	給食室	3	176,860	2	133,758	2	138,275	1	147,044		
	プール	10	13,497	7	136,919	4	16,850	6	196,714	4	136,613
	用地買収										
	グラウンド整備	20	14,857	14	184,923	3	171,402	3	64,661	1	67,000
	計		2,566,762		2,215,383		1,563,173		2,188,360		2,205,000
中学校	校舎	27	497,574	27	320,599	27	267,273	27	473,461	27	893,091
	屋内運動場	4	37,710	1	281	1	15,194	3	25,994	2	45,193
	給食室										
	プール	4	67,016	1	2,972	1	5,670	3	86,394	3	37,741
	武道場									1	10,000
	用地買収									1	3,000
	グラウンド整備	13	31,956	3	22,220	2	12,231				
	計		634,256		346,072		300,368		585,849		989,025
幼稚園	園舎	5	61,681	6	71,985	4	18,969	28	40,122	28	52,000
	用地買収								3,407		
	計		61,681		71,985		18,969		43,529		52,000
合計			3,262,699		2,633,440		1,882,510		2,817,738		3,246,025

※平成27年度は計画分

4 学校施設整備事業費の推移



5 安全かつ機能的で豊かな学校 教育環境の創出

- ・学校安全対策緊急警報システムの点検整備
(小学校60校、幼稚園28園)
 - ・建物定期点検
- 校舎等の建物・設備の定期的な点検整備
- ・遊具・体育器具等の安全管理の徹底

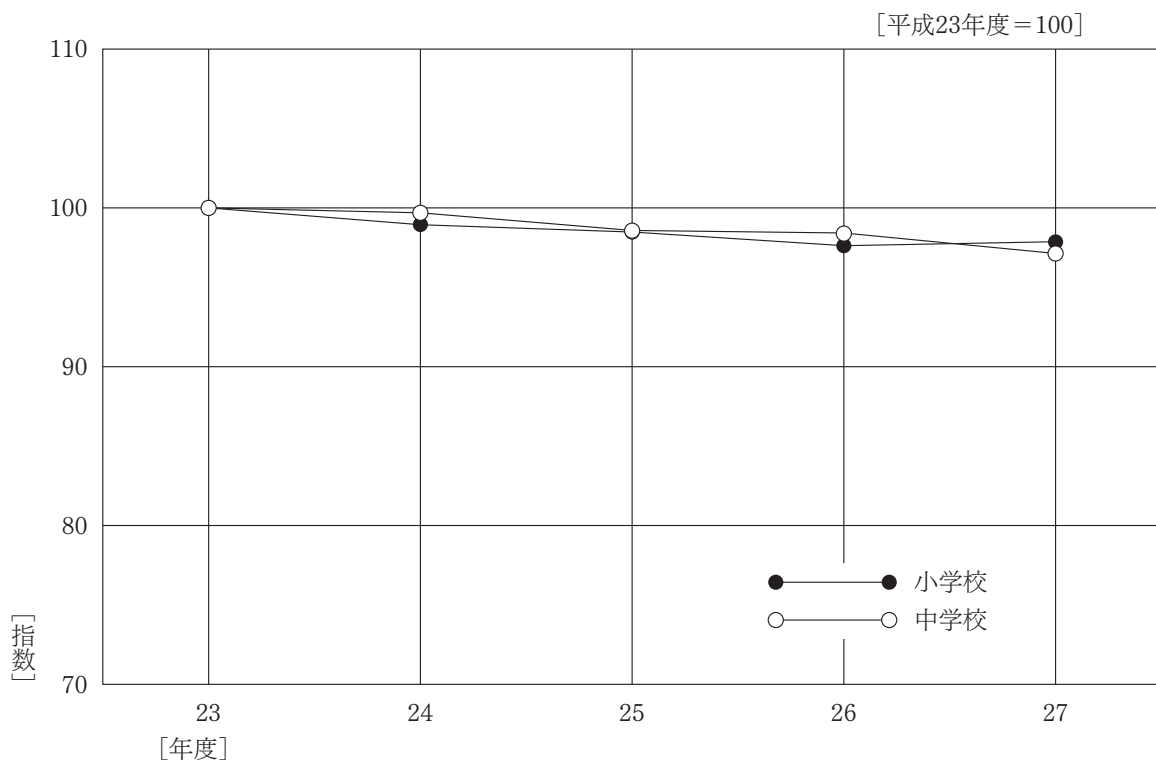
6 地域に開かれた学校づくり

- ・学校施設のバリアフリー化
(スロープ、手すり等の設置)
- ・学校施設の地域開放
(体育館等を社会教育団体等に貸出)
- ・地域連携施設の整備
(下郡小・明野東小・横瀬小・大在西小・上野ヶ丘中・神崎中)

7 児童・生徒数の推移

(国立・県立・私立を除く)

区 分		年 度				
		23	24	25	26	27
小学校	児童数 (人)	26,953	26,668	26,544	26,312	26,379
	比 率 (%)	100	98.94	98.48	97.62	97.87
中学校	生徒数 (人)	13,012	12,972	12,827	12,806	12,639
	比 率 (%)	100	99.69	98.58	98.42	97.13



幼児・児童・生徒・教員・学校一覧

1 幼児・児童・生徒

(1) 学校種別学級数、幼児・児童生徒数

(平成27.5.1現在)

区 分	学 校 数	学 級 数	児童生徒数
小 学 校	61(1)	1,014	26,379
中 学 校	29	438	12,639
幼 稚 園	29(1)	59	950
エスペランサ・コレジオ	1	23(コース)	323
総 数	120(2)	1,534	40,291

- ・()は休校・休園数
- ・小学校・中学校については、それぞれ小中一貫教育校を1校含む。
- ・小学校については分校を1校、中学校については分校を2校含む。

(2) 学年別学級数・児童生徒数

① 小学校

(平成27.5.1現在)

区 分	児 童 数	学 級 数
1 年	4,420	178
2 年	4,366	166
3 年	4,365	141
4 年	4,148	130
5 年	4,213	138
6 年	4,380	139
特別支援学級	487	122
合 計	26,379	1,014

- ・小中一貫教育校を1校含む。
- ・分校を1校含む。

② 中学校

(平成27.5.1現在)

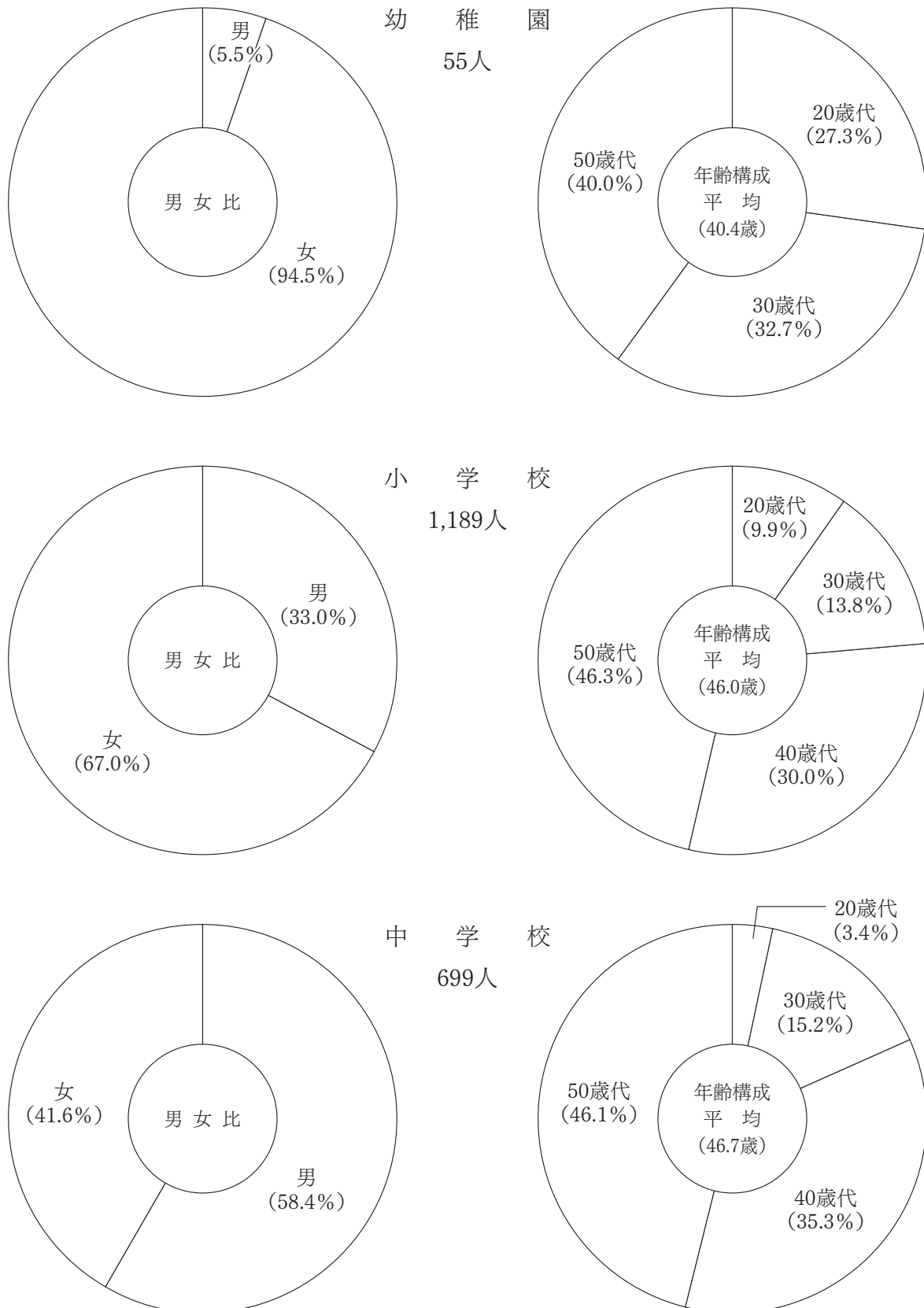
区 分	生 徒 数	学 級 数
1 年	4,055	150
2 年	4,248	119
3 年	4,142	118
特別支援学級	194	51
合 計	12,639	438

- ・小中一貫教育校を1校含む。
- ・分校を2校含む。

2 教 員

教員の年齢構成及び男女比

※校（園）長・教頭・主幹教諭・指導教諭・教諭（再任用者及び臨時講師は含まず）



※年齢はH27年4月1日のもの

3 学 校 一 覧

(1) 幼 稚 園

(平成27.5.1現在)

番号	園 名	所 在 地	園児数	学級数	教員数	面 積(㎡)		開園年月日
						敷 地	園 舎	
1	金 池*	金池町3丁目1番84号	64(3)	4(1)	5	2,301	673	昭24. 4. 1
2	春 日 町*	西春日町1番48号	80(2)	4(1)	5	2,161	529	昭28. 4.25
3	南 大 分	奥田772番地の1	15	1	2		396	大15. 4.15
4	城南が丘	永興565番地の2	23	1	2	1,536	483	昭46. 4. 1
5	豊 府	羽屋33番地	24	1	2	5,672	568	昭50. 4. 1
6	滝 尾*	羽田515番地の1	74(5)	4(1)	5	2,842	792	昭26. 4.18
7	東 大 分	萩原1丁目10番7号	35(4)	3(1)	4	2,471	441	昭23. 4.23
8	桃 園	山津町2丁目5番32号	31	2	3	1,777	479	昭50. 4. 1
9	津 留	東津留1丁目4番1号	23(3)	2(1)	3	2,360	690	昭48. 4.13
10	舞 鶴*	西浜2番1号	41(3)	3(1)	4	2,500	494	昭52. 4.18
11	明 野	明野東5丁目12番3号	15	1	2	5,315	582	昭51. 4. 1
12	別 保	森町963番地の3	27(2)	2(1)	3	1,808	361	昭54. 4.17
13	明 治	猪野22番地の1	35	2	3	2,604	556	昭50. 4. 1
14	高 田*	下徳丸38番地の4	55(4)	3(1)	4	2,598	364	昭51. 4.19
15	松 岡*	松岡5047番地	77(2)	4(1)	5		584	昭50. 4. 1
16	戸 次	中戸次4250番地	13	1	2	2,574	553	昭49. 4. 1
17	判 田	中判田1810番地	24	1	2	5,197	528	昭51. 4. 1
18	東 植 田	田尻512番地の2	18	1	2	2,832	357	昭31. 4.23
19	植 田	木上440番地の1	20(3)	2(1)	3	2,143	484	昭31. 4. 1
20	賀 来	賀来80番地	15(2)	2(1)	3	2,582	434	昭31. 4.23
21	敷 戸	敷戸南町9番1号	10	1	2	4,712	600	昭51. 4.19
22	宗 方*	上宗方1610番地の36	54(3)	3(1)	4	2,100	484	昭50. 4. 1
23	寒 田	寒田624番地の1	23	1	2	3,352	492	昭53. 4. 1
24	大 在	横田1丁目15番16号	50(4)	3(1)	5	2,518	454	昭28. 4.20
25	坂ノ市	坂ノ市中央5丁目8番30号	40	2	3	1,532	484	昭45. 4.13
26	こうざき	本神崎945番地の2	4	1	1		144	昭47. 4.13
27	大志生木	志生木207番地の1	H27年度休園				180	昭42. 4. 1
28	佐 賀 関*	佐賀関1104番地	14	2	3		203	昭38. 1.12
29	野 津 原*	野津原1731番地の3	46	2	4	3,370	856	昭57. 4. 1
計	29園(うち休園1園)		950(40)	59(13)	88	68,857	14,245	

- ・※印は、2年制保育を導入または試行している園
- ・() は特別な支援を要する幼児内数
- ・園舎面積には一時使用分も含む
- ・※教員数には学校基本調査における定員内臨時を含む

学 校 一 覧

(2) 小 学 校

番号	学校名	所在地	児童数	学級数	県 費 職 員				
					校長・教諭等 校 頭	養護教諭	栄養教諭	事務職員	栄養職員
1	金池	金池町3丁目1番90号	747 (7)	25 (2)	32	1		1	1
2	長浜	長浜町2丁目6番25号	255 (3)	11 (2)	14	1			
3	荷揚	荷揚町3番49号	162	6	9	1			
4	中島	中島西2丁目1番52号	284 (12)	14 (3)	20	1		1	
5	春日	西春日町1番48号	630 (10)	22 (2)	29	1		1	1
6	大道	大道町2丁目9番57号	475 (14)	19 (4)	26	1		1	1
7	西の台	にじが丘3丁目1717番地の1	969 (6)	32 (2)	41	2		1	1
8	南大分	奥田772番地の1	713 (21)	27 (5)	37	1		1	1
9	城南	永興492番地の1	508 (8)	20 (2)	25	1		1	1
10	荏隈	荏隈1380番地	367 (8)	16 (2)	22	1		1	
11	豊府	羽屋13番地の1	924 (16)	30 (3)	38	2		1	1
12	八幡	生石82番地の1	176 (4)	7 (1)	10	1			
13	神崎	神崎1798番地	40	4	6	1			
14	滝尾	羽田515番地の1	851 (22)	30 (4)	39	2	1	1	
15	下郡	下郡北3丁目17番23号	878 (16)	30 (3)	41	2		1	1
16	森岡	曲1041番地の2	223 (7)	11 (2)	15	1			
17	東大分	萩原1丁目10番30号	505 (10)	18 (2)	24	1		2	1
18	日岡	日岡2丁目2番1号	432 (13)	17 (3)	22	1		1	
19	桃園	山津町2丁目7番1号	449 (8)	17 (2)	22	1	1	1	1
20	津留	東津留1丁目4番1号	491 (14)	18 (3)	23	1		1	1
21	舞鶴	西浜2番1号	313 (9)	14 (2)	18	1		1	
22	住吉	泉町8番41号	208	8	12	1			
23	明野	明野南2丁目6番1号	488 (7)	17 (2)	24	1	1	1	
24	明野	明野東3丁目2番1号	366 (9)	15 (2)	19	1		1	
25	明野	明野北4丁目10番1号	608 (10)	22 (2)	28	1		1	1
26	三佐	三佐5丁目6番8号	271 (5)	12 (2)	15	1		1	
27	鶴崎	南鶴崎3丁目3番1号	321 (8)	14 (2)	20	1		1	1
28	別保	森町963番地の1	1,013 (28)	37 (5)	47	2	1	1	
29	明治	猪野74番地	954 (13)	32 (3)	40	2		1	1
30	明治	北小池原428番地の1	613 (16)	23 (3)	28	1	1	1	
31	高田	下徳丸38番地の2	410 (9)	16 (2)	20	1		1	
32	川添	宮河内4566番地	169 (2)	7 (1)	10	1			
33	松岡	松岡5047番地	1,009 (6)	33 (2)	43	2		1	1
34	戸次	中戸次4280番地	409 (6)	17 (2)	22	1		1	
35	上戸	端登1792番地	37	4	6	1			
36	吉野	辻654番地	258 (4)	13 (2)	16	1		1	
37	竹中	竹中2821番地の1	32	4	7	1			
38	判田	中判田1818番地	789 (4)	28 (2)	36	2		1	1
39	東植	田尻499番地の1	580 (10)	21 (2)	27	1		1	1
40	植田	木上433番地の1	486 (9)	18 (2)	26	1		1	
41	賀来	賀来68番地の2	623 (14)	23 (3)	27	1		1	1
42	敷戸	敷戸北町12番1号	314 (6)	14 (2)	18	1		1	
43	敷戸小学校はばたき分校	芳河原台11番27号	3 (3)	2 (2)	4				
44	鴛野	鴛野108番地の1	284 (6)	14 (2)	20	1		1	
45	宗方	上宗方1610番地の36	487 (9)	19 (2)	25	1		1	1
46	横瀬	横瀬1109番地の1	343 (4)	16 (3)	20	1			
47	横瀬	西横瀬2469番地	161 (7)	9 (2)	13	1			
48	寒田	寒田684番地の4	602 (12)	22 (3)	28	1		1	1
49	田尻	田尻1250番地	473 (3)	18 (2)	22	1		1	
50	大在	横田1丁目15番58号	991 (26)	34 (4)	42	2		1	1
51	大在	角子原1丁目4番41号	979 (19)	33 (4)	43	2		1	1
52	丹生	佐野2660番地の2	162 (5)	8 (2)	11	1			
53	小佐井	小佐井3丁目1番18号	340 (4)	14 (1)	19	1		1	
54	坂ノ市	坂ノ市中央5丁目8番1号	755 (10)	26 (2)	31	1		1	1
55	こうざき	本神崎945番地の2	134	6	10	1			
56	大志生	志生木207番地の1	30	4	6	1			
57	佐賀	佐賀関1104番地	98 (1)	7 (1)	10	1			
58	野津原東部	野津原1774番地の1	126 (2)	7 (1)	10	1			
59	野津原中部	竹矢2108番地の1	50 (2)	7 (1)	9	1			
60	野津原西部	上詰704番地の1	11	2	3				
61	一尺屋	一尺屋2368番地の1	平成13年4月から休校						
計	61校(うち休校1校、分校1校)		26,379 (487)	1,014 (122)	1,330	68	5	43	23

- ・小中一貫教育校が1校含まれている
- ・学級数は実学級数
- ・() は特別支援学級在籍児童内数

- ・教諭等には主幹教諭・指導教諭を含む
- ・各職には学校基本調査における定員内臨時を含む

(平成27.5.1現在)

市 費 職 員				職員計	面 積 (㎡)					プール施設		開校年月日
養護教諭	事務職員	学校主事	給食調理員		敷 地		建 物			25m	小プール	
					校 舎	グラウンド	校 舎	屋内運動場	給食施設			
		1	5	41	16,936	6,802	5,754	886	130	○	○	明20. 6.19
		1	2	18	23,186	12,672	2,781	886	130	○	○	昭26. 4. 1
		1	2	13	7,375	3,778	3,637	1,075	132	○	○	明 5. 8. 7
		1	4	27	11,862	7,249	3,696	886	127	○	○	大13. 4. 1
		1	5	38	11,494	4,389	6,102	881	373	○	○	明 8. 4.17
		1	4	34	16,589	8,550	6,062	886	360	○	○	大13. 4. 1
		2	6	53	31,303	12,653	5,837	1,049	150	○	○	平 3. 4. 1
		2	5	47	14,530	10,742	6,362	1,070	394	○	○	明 9. 2
		1	4	33	20,233	10,935	5,305	1,003	126	○	○	昭44.10.25
		2	4	30	21,861	13,990	4,281	886	177	○	○	昭56. 4. 1
		1	6	49	21,091	8,823	6,598	1,049	190	○	○	昭49. 4.11
		1	2	14	13,496	6,549	2,863	886	131	○	○	明 8. 9.20
		1	2	10	15,277	4,232	1,572	886	80	○	○	明 8. 4. 8
		1	5	49	20,622	9,931	4,932	886	170	○	○	明 9. 3. 5
		1	6	52	27,001	13,222	6,649	1,215	400	○	○	平13. 4. 1
		1	2	19	25,746	11,866	2,641	700	107	○	○	昭51. 4. 1
		1	4	33	14,746	9,048	4,575	886	129	○	○	明 7. 5. 1
		1	4	29	14,599	5,493	4,702	1,215	129	○	○	明 5. 9.16
		1	4	31	21,368	9,220	3,824	973	168	○	○	明 8. 1
		1	4	31	14,017	6,792	5,152	946	158	○	○	昭 6. 4.10
		1	4	25	17,167	9,432	4,257	886	157	○	○	昭51. 4. 1
		1	2	16	15,386	8,956	2,832	886	125	○	○	昭32. 4. 1
		1	4	32	29,067	15,628	4,348	1,215	102	○	○	昭46. 4. 8
		1	4	26	22,183	12,626	4,851	919	110	○	○	昭47. 4. 1
		1	4	36	37,173	11,829	4,839	886	129	○	○	昭50. 4. 1
		1	3	21	21,746	13,340	3,109	919	76	○	○	明 7. 1.19
		1	4	28	15,474	9,418	5,035	919	360	○	○	明 5. 1.16
		2	6	59	22,972	11,536	6,168	886	175	○	○	明 8. 5. 4
		1	6	51	17,433	4,346	4,622	1,049	175	○	○	明42. 1.10
		1	4	36	21,615	11,669	5,064	886	175	○	○	昭58. 4. 1
		1	4	27	13,566	7,690	3,454	886	130	○	○	明 6. 8.15
		1	2	14	29,865	9,921	4,263	886	131	○	○	明 7. 1. 7
		1	6	54	24,236	14,824	6,215	886	105	○	○	明 8.10. 6
		2	4	30	19,333	6,422	4,352	886	155	○	○	明 6. 6
		1	2	10	9,707	5,858	1,803	484	80	○	○	明 6. 8
		1	3	22	16,256	8,186	3,202	886	113	○	○	明 8. 2.17
		1	2	11	12,599	6,295	2,044	600	80	○	○	明 6. 3. 1
		2	5	47	33,888	15,083	5,215	886	121	○	○	明 7. 9
		2	4	36	15,015	8,968	4,307	946	104	○	○	明10.11
		1	4	33	22,053	9,216	4,774	886	110	○	○	明 7. 4
		1	4	35	13,096	6,472	3,302	886	96	○	○	明 8. 3.13
		1	4	25	30,339	8,968	5,339	1,049	120	○	○	昭47. 4. 1
		1		5	522		288					平27. 4. 1
		1	4	27	23,427	11,081	3,668	886	157	○	○	昭54. 4. 1
		1	4	33	26,225	11,253	4,943	886	125	○	○	昭50. 4. 1
		1	4	27	30,588	13,031	4,589	886	158	○	○	昭52. 4. 1
		1	2	17	25,073	14,752	4,869	886	150	○	○	昭63. 4. 1
		1	4	36	25,129	11,055	4,537	886	157	○	○	昭53. 4. 1
		1	4	29	40,643	15,464	4,003	886	177	○	○	昭55. 4. 1
		1	6	53	26,450	15,131	1,945	886	181	○	○	明 7. 1
		2	6	55	27,182	13,110	7,498	1,215	425	○	○	平17. 4. 1
		1	2	15	16,136	7,700	2,700	894	100	○	○	明 7. 3.15
		1	4	26	18,517	14,254	2,238	886	205	○	○	明 7. 7. 7
		2	5	41	17,404	10,104	5,779	700	373	○	○	明41. 4. 1
		1		12	12,633	7,036	1,926	640		○		明 7. 1
		1		8	8,027	5,888	1,836	933		○	○	明13. 7. 6
		1	共同調理場	12	9,501	4,885	3,026	894		○	○	明 8. 2
		1	《5》	12	12,694	7,602	2,045	795		○	○	明 7. 2
		1		11	12,093	6,834	1,449	495		○	○	明 8. 3
		1		4	9,001	3,050	466	378		○		明11.10.16
					4,993	2,235	869	589				明11. 5. 1
		69	210	1,748	1,169,739	568,084	245,394	53,389	8,898	59	57	

- ・給食調理員の欄の《 》内の数字は計に含まない
- ・グラウンド面積は、校地面積の内数
- ・校舎面積には一時使用分も含む

学 校 一 覧

(3) 中 学 校

番号	学校名	所在地	生徒数	学級数	県 費 職 員				
					校長・ 教頭・教諭等	養護教諭	栄養教諭	事務職員	栄養職員
1	碩田	泉町8番41号	333 (5)	12 (2)	21	1	1	8	
2	上野ヶ丘	上野町4番5号	455 (12)	17 (3)	31	1		1	
3	王子	南春日町6番1号	551 (11)	19 (2)	33	1		1	
4	大分西	高崎2丁目20番1号	451 (5)	15 (2)	27	1		1	
5	南大分	奥田754番地の1	784 (10)	25 (3)	44	2		1	
6	城南	荏隈754番地の19	428 (3)	16 (2)	26	1		1	
7	滝尾	羽田349番地	981 (12)	30 (2)	52	2		1	
8	城東	牧上町14番19号	697 (10)	22 (2)	40	1		1	
9	原川	寺崎町1丁目10番1号	464 (6)	15 (2)	29	1		8	
10	明野	明野南3丁目7番1号	778 (12)	24 (2)	46	2		1	
11	鶴崎	皆春1200番地の1	684 (12)	23 (2)	43	1		1	3
12	大東	横尾2843番地の4	959 (7)	29 (2)	52	2		1	
13	東陽	下徳丸197番地の1	385 (12)	15 (2)	28	1		8	
14	戸次	中戸次4508番地の1	340 (6)	12 (1)	21	1		1	
15	吉野	辻812番地	148 (1)	7 (1)	12	1			
16	竹中	竹中3621番地	18	3	9	1			
17	竹中中学校二豊学園分校	端登5番地	12 (1)	4 (1)	11	1			
18	判田	中判田2254番地	439 (2)	14 (1)	23	1		1	
19	植田	市589番地の2	394 (4)	14 (2)	24	1		1	
20	植田東	寒田1369番地の1	503 (12)	19 (3)	35	1		8	
21	植田東中学校はばたき分校	芳河原台11番27号	6 (6)	2 (2)	6	1			
22	植田西	田原378番地	276 (4)	11 (2)	21	1		8	
23	植田南	田尻123番地の1	602	18	30	1		1	3
24	賀来	賀来101番地の3	308 (12)	12 (2)	22	1		1	
25	大在	政所2602番地12	856 (16)	28 (3)	47	2		1	
26	坂ノ市	坂ノ市南2丁目9番72号	544 (7)	19 (2)	31	1		1	
27	神崎	本神崎480番地	111 (2)	5 (1)	10	1			
28	佐賀関	佐賀関2の115番地の2	72 (2)	4 (1)	9	1			
29	野津原	野津原2978番地の13	60 (2)	4 (1)	10	1			
計	29校(うち分校2校)		12,639 (194)	438 (51)	793	34	1	57	6

・小中一貫教育校が1校含まれている
 ・() は特別支援学級在籍生徒内数
 ・碩田中学校は仮設校舎

・教諭等には主幹教諭・指導教諭を含む数
 ・各職には学校基本調査における定員内臨時を含む

(4) エスペランサ・コレジオ

(平成27.5.1現在)

番号	学校名	所在地	生徒数	コース数	市 費 職 員				面積 (㎡)	
					校長・副校長	事務職員	講師	計	敷地	校舎
1	エスペランサ・コレジオ	東鶴崎1丁目1番5号	323	23	2	2	26	30	3,094	340

(開校年月日 昭43.4.1)

学 校 一 覧

(平成27.5.1現在)

市 費 職 員				職員計	面 積 (㎡)						プール 施設 25m	開校年月日
養護教諭	事務職員	学校主事	給食調理員		敷 地		建 物					
					校 地	グラウンド	校 舎	屋内運動場	武道場	給食施設		
		1		32	21,913	10,806	4,461			371	○	昭22. 4.28
		1		34	23,808	14,303	6,267	1,209		371	○	昭22. 5. 5
		2		37	28,916	14,871	6,616	1,860		450	○	昭22. 4.23
		1		30	33,135	13,333	5,135	1,009		371	○	昭62. 4. 1
		1		48	19,453	10,826	6,641	1,020		371	○	昭22. 4. 1
		1		29	20,272	11,972	5,064	1,014		387	○	昭51. 4. 1
		2		57	23,467	8,997	7,283	1,020		371	○	昭22. 5. 1
		1		43	31,542	15,992	7,138	1,476		371	○	昭22. 4. 5
		2		40	28,719	17,280	6,200	980		371	○	昭56. 4. 1
		2		51	48,042	29,763	7,685	1,053		450	○	昭47. 4. 1
		1		49	29,710	19,708	7,288	1,209		371	○	昭26. 9. 1
		2		57	25,818	11,944	6,424	980		371	○	昭25.12.20
		1		38	29,334	16,158	5,986	1,209		371	○	昭63. 4. 1
		1		24	24,313	17,605	3,857	981		371	○	昭22. 4.23
		1		14	30,261	10,183	2,817	886		371	○	昭22. 4.29
		1		11	22,807	9,061	1,717	886		371	○	昭22. 4.25
				12	11,160	5,115	1,456	596			○	平24. 4. 1
		1	共同調理場	26	23,123	12,500	5,084	1,138		371	○	昭22. 4.14
		1	《5》	27	22,222	11,847	5,227	1,209		450	○	昭25. 6.20
		2		46	25,892	14,090	6,021	886		371	○	昭50. 4. 1
				7	520		287					平27. 4. 1
		2		32	26,999	16,365	6,502	886		371	○	昭53. 4. 1
		1		36	28,782	18,838	6,026	1,020		371	○	昭57. 4. 1
		1		25	16,307	9,097	4,180	981		371	○	昭22. 4.23
		1		51	26,822	16,440	9,142	1,011		371	○	昭22. 5. 3
		1		34	30,506	15,972	5,460	1,098		371	○	昭22. 4.28
		1		12	21,333	13,674	3,560	993		400	○	昭22. 5. 3
		1		11	20,603	13,454	4,241	1,000		356	○	昭22. 5. 6
		1		12	29,264	14,389	2,769	869		400	○	昭22. 5. 3
		34		925	725,043	394,583	150,534	28,479		10,313	28	

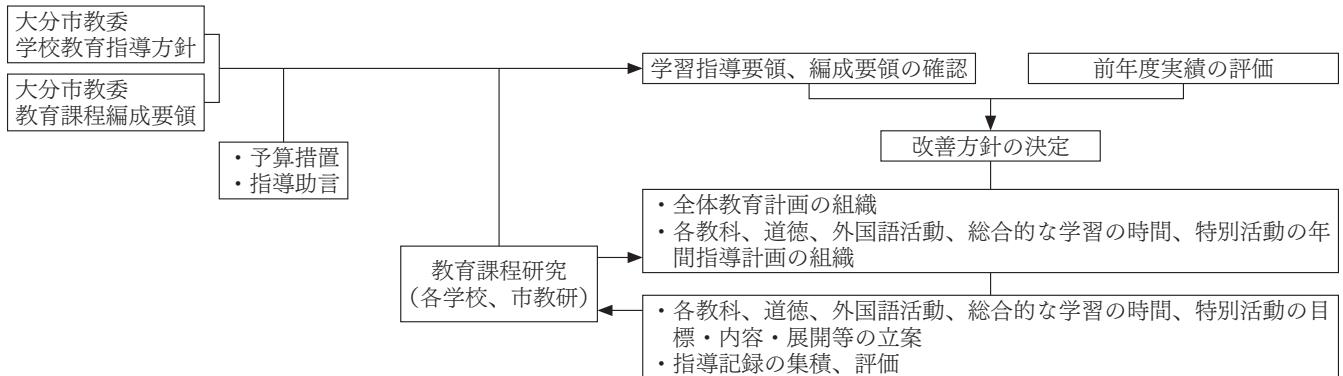
- ・グラウンド面積は、校地面積の内数
- ・校舎面積には一時使用分も含む

学 校 教 育

1 教育課程の改善と充実

大分市学校教育指導方針、教育課程編成要領等に基づき、各学校において地域社会や学校の特性をいかし、創意工夫をいかした特色ある教育課程の編成・実施及び改善にいかす評価に努める。

(1) 教育課程改善の進め方



(2) 小中一貫教育

大分市教育委員会では、子どもたちの生きる力の育成を目指し、小中学校の教職員が共通の教育観・指導観をもち、義務教育9年間を見通した系統的な教育を行う小中一貫教育を市内全中学校区において推進している。

<平成27年度の重点>

○重点目標の設定と成果・課題の検証及び積極的な情報発信

- ・校区の小中一貫教育の重点目標を設定し、取組を焦点化する。
- ・設定した重点目標の達成状況を把握するうえで、各種アンケート調査等を計画的に実施するなどして成果や課題の検証を行い、取組を改善する。
- ・小中一貫教育の取組状況や成果・課題の検証結果等を学校公開や懇談会、学校の広報紙等あらゆる機会を通じて、家庭や地域社会へ積極的に情報発信する。

<共通して取り組む内容>

- ・年間計画への合同授業研究会の位置付け
- ・全校または特定の学年・集団での児童生徒の合同行事、交流行事の実施
- ・中学校区作成の9年間を見通した学習・生活のきまりの活用及び改善

また、研究する学校を段階的に指定し、本年度は、小中一貫教育校賀来小中学校及びモデル校、合計11中学校区33小中学校において、学校・地域の実情に応じた小中一貫教育の研究を推進している。

【大分市小中一貫教育校（併設型）】

○賀来小中学校

<主な取組内容>

- ・9年間を見通した系統的な教育課程 ・前期、中期、後期の3期に応じた教育活動
- ・第1学年から英語科を実施 ・中期での一部教科担任制 ・キャリア教育の推進
- ・公開研究発表会 ・大分市版コミュニティ・スクールの導入

※教育課程特例校として文部科学大臣より認可（平成20年10月16日）

【大分市小中一貫教育モデル校（連携型）】

- 碩田中学校区 ○野津原中学校区 ○鶴崎中学校区 （1中学校と3小学校の校区）
- 植田東中学校区 ○坂ノ市中学校区
- 神崎中学校区 ○大在中中学校区 （1中学校と2小学校の校区）
- 吉野中学校区 ○竹中中学校区 ○佐賀関中学校区 （1中学校と1小学校の校区）

<主な取組内容>

- ・学校、地域の特色をいかした系統的な教育課程
- ・小中学校間での乗り入れ授業
- ・公開研究発表会など

※大分市小中一貫教育推進協議会（年間2回開催）



竹中中学校区の合同文化祭での合唱のようす

(3) 大分っ子基礎学力アップ推進事業

① 学力調査の実施状況

児童生徒の学力の状況を客観的に把握し、各学校における指導の工夫改善にいかす。

名 称	学 年	教 科
大分市標準学力調査	小学校4年	国語、算数、理科
	中学校1年	国語、数学、理科、英語

※その他、国、県で実施している調査

全国学力・学習状況調査	小学校6年	国語、算数、理科
	中学校3年	国語、数学、理科
大分県学力定着状況調査	小学校5年	国語、算数、理科
	中学校2年	国語、数学、理科、英語

② 大分っ子学習力向上推進事業

児童一人一人に確かな学力をはぐくむことを目指して、市内の小学校において、教科指導における個に応じたきめ細かな指導を行うための非常勤講師と、特定小規模校（複式学級がある小学校）に、学年別の指導や課題別の指導を行う非常勤講師を大分市独自で採用し、申請のあった学校に配置する。

ア 小学校での算数、国語等の教科指導における個別指導や習熟度別指導

（小学校に19名の非常勤講師を配置）

イ 小学校の複式学級における学年別の指導や課題別の指導

（2複式学級を有する小学校に6名の非常勤講師を配置）

③ 学校研究の助成

自ら学ぶ力の育成を図る教育活動の充実を目指し、教科指導の在り方等について研究を深め、基礎学力向上研究推進校の児童生徒の確かな学力の向上に資するとともに、公開授業研究会等を通し、その成果の普及に努め、本市児童生徒の学力向上に向けての取組の充実に資する。

事 業 名 等	指 定 学 校 名	備 考
大分市基礎学力向上研究推進校	大道小学校、津留小学校、南大分小学校、高田小学校、王子中学校、戸次中学校	市指定

(4) 特別支援等教育活動サポート事業

大分市独自で補助教員を配置し、教育的配慮の必要な児童生徒や学校になじめない児童生徒等への支援を行うなど、一人一人により一層行き届いた教育の実現を図っている。

補助教員は、次のような児童生徒が在籍する学級や学校への支援を行っている。

ア 肢体が不自由で、常時介護が必要な児童生徒

イ 耳が不自由でノートテイクが必要な児童生徒

ウ LD、ADHD児等、教育的支援の必要な児童生徒

エ その他、学校運営上特に適切な対応が求められる児童生徒

本年度は、幼稚園に9名、小学校に78名、中学校に18名の補助教員を配置した。

(5) 大分市学校図書館活性化事業

学校図書館を効果的に活用した教育活動の一層の充実が求められていることから、大分市では、学校図書館法に基づき、平成15年度から12学級以上の小中学校に教育課程に即した読書指導の中心的な役割を担う司書教諭を配置している。

また、豊かな感性や情操をはぐくむ読書活動の一層の推進を目指し、平成19年9月から教職員やボランティアと連携・協力して学校図書館の業務を支援する職員「学校図書館支援員」をすべての小中学校に配置している。

なお、平成25年度より、学校図書館支援員を6名増員の50名とし、大規模校13校には専任配置している。

学 校 教 育

(6) 生き生き学習サポート事業

各学校の地域と一体となった多様な学習活動を支援し、子どもの学習意欲の喚起や自ら学び自ら考える力などの生きる力をはぐくむため、専門的な知識、技能、技術や豊富な経験を有する者を、学校教育支援員として登録する「学校教育支援バンク」を設置する。市内各小中学校は、学校教育支援員及び各学校の人材バンクの地域人材を活用する。

「学校教育支援バンク」

分 野		人数	分 野		人数
教育等一般	人権・同和教育	4	産業・技術	産業・技術	1
	福祉・健康	0		美術・工芸	6
人文・社会科学	歴史（郷土史）・地理	12	芸術・文化	音楽・芸能	17
	政治・経済	4		文学・文芸	5
	民族・文化財	0	体育・スポーツ・レク	レク・体力づくり	3
自然科学	天文・地学	1	家庭生活・趣味	食生活	5
	動物・植物	5		園芸・手芸	9
	科学	2	市民生活・国際理解	国際理解・協力	7
	算数・数学	1		環境教育	11

(7) 武漢市学校交流事業

本市と武漢市との友好交流事業の1つとして、本市中学生と武漢外国語学校の生徒が体験入学や交流活動を通し、相互の理解と友情の促進を図るとともに、国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

- 派遣事業 市内の中学生3～5名と引率教師1名を武漢外国語学校に1週間程度派遣し、交流や学習の機会をもつ。
- 受入事業 武漢外国語学校の生徒5名と引率教師1名を市内中学校に1ヶ月間受け入れ、交流や学習の機会をもつ。

(8) 防災体制の確立

「大分市学校災害対策マニュアル（改訂版）」等に基づき、家庭や地域社会等との密接な連携・協力のもと、各学校の防災体制の見直し・改善を進める。また、児童生徒に災害に適切に対応する能力を身に付けさせるため、学校の教育活動全体を通じて、体系的・計画的な防災教育を推進する。

(9) 学校評議員

① 学校評議員制度とは

より一層地域に開かれた学校づくりを進める観点から、保護者や地域住民が学校運営に参画する仕組みを制度的に位置付けたものである。小中学校1校につき5名以内で構成され、本年度は392名が校長の推薦により、大分市教育委員会から委嘱されている。また、平成21年度から幼稚園においても、学校評議員制度を導入し、今年度は合計84名の学校評議員を委嘱している。

② 年間の活動

- ア 年間3回の学校評議員会
- イ 学力向上会議、授業参観、学校評価等への参加
- ウ 入学式、卒業式、運動会の学校行事への参加

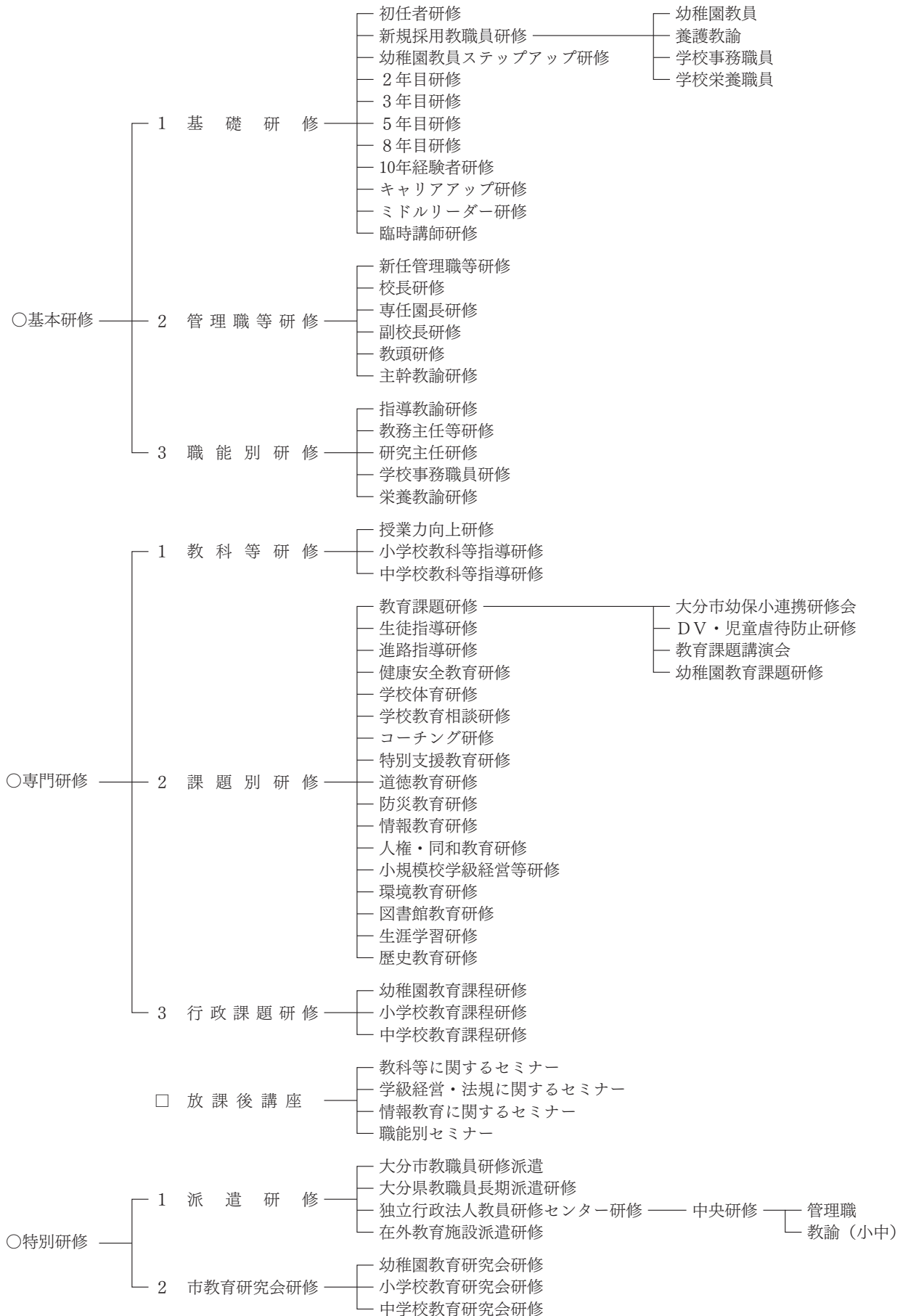
③ 学校評議員研修会

制度の一層の充実を図るため、平成19年度から各校の学校評議員を対象に、「学校評議員研修会」を実施し、大分市学校教育指導方針や学校評議員制度についての学習、日頃の取組の情報交換等を行っている。

(10) 補助教材の編集と配布または大分市ホームページでの公開（資料提供）

種 類	対象学年	種 類	対象学年
小学生のための自転車の正しい乗り方	小3	わたしたちと環境（くらしとごみ）	小4・5・6
水道とくらし	小4	ふくしの心	小5・6
安全なくらしを守る大分市の消防	小4	かしこい消費者になろう	小6
くらしと下水道	小4		

2 研修体系



学 校 教 育

(1) 大分市教職員研修派遣

目 的 大分市立幼稚園、小中学校等の教職員を他府県の国公立幼稚園、小中学校、教育機関等に派遣して、研究状況等を研修させることにより、教育実践に必要な知識・技能を習得させ、指導力の向上を図るとともに、本市教育の改善、振興に資する。

対象者 校長、園長、教頭、教諭（主幹教諭、指導教諭、養護教諭、栄養教諭、幼稚園教諭を含む）、学校事務職員

期 間 5日間以内

年度		人数	内 容	派 遣 先
22	短期	11	学力向上、小中一貫教育、道徳教育、情報教育、図書館教育、学校事務支援センター	東京都、京都市、高槻市、守口市、岡山市、福岡市
	中期	6	小中一貫教育、コミュニティ・スクール、主幹教諭の役割、学力向上、特別支援教育	東京都、福井市、富山市、福岡市、佐賀市
23	短期	12	小中一貫教育、学力の定着・向上、学校事務職員の教育支援の在り方	呉市、京都市、富山市、つくば市、宇治市
	中期	4	小中一貫教育、通級指導、校内研修の在り方、学力向上	久留米市、熊本市、東京都
24		21	小中一貫教育、学力定着・向上、情報教育、学校事務職員の教育支援の在り方、防災教育特別支援教育、外国語活動	京都市、東京都、静岡市、呉市、福井市、北九州市、美弥市、須崎市、新宮市、佐賀市、武雄市、福岡市、大阪市、尾道市
25		18	小中一貫教育、学力定着・向上、学校組織マネジメント、小規模特認校における特色ある教育活動の在り方、授業力向上（国語科）、情報教育、通常学級における特別支援教育、学校事務職員の教育支援の在り方	つくば市、三鷹市、府中市、深谷市、日野市、岐阜市、神戸市、南国市、唐津市、玉野市、山鹿市、武雄市、福岡市、鹿児島市
26		27	小中一貫教育、学力定着・向上、防災教育、カリキュラムマネジメント、情緒障害短期治療施設及び併設学校、授業力向上（算数科、外国語活動）、体力向上、認定こども園、新聞を活用した効果的なNIE実践、不登校対応策、学校事務職員の教育支援の在り方	松本市、徳島市、福岡市、府中市、姫路市、京都市、宇都宮市、荒尾市、玉名市、新見市、松山市、つくば市、長崎市、比企郡嵐山町

※この制度は昭和43年度から継続している。平成24年度から短期派遣・中期派遣をまとめ、「大分市教職員研修派遣」として実施している。

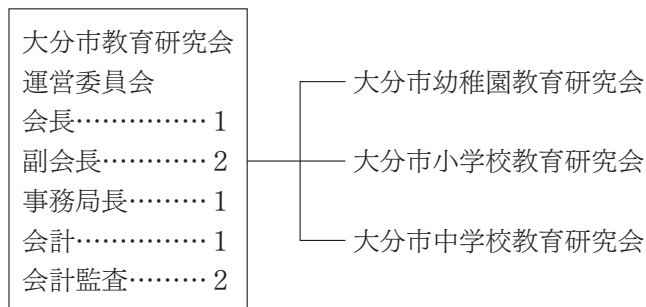
(2) 教育実践記録

研究意欲を高め、教育の振興を図ることを目的とし、昭和33年から始まり平成27年度で58回目を迎える教育実践記録の募集を継続事業として実施している。

年度		22	23	24	25	26
区分	優 秀	5	3	2	2	2
	優 良	5	4	2	2	4
	佳 作	6	5	5	3	6
	計	16	12	9	7	12

3 教育研究会

(1) 大分市教育研究会の組織と体制



(2) 年間研究計画

① 大分市幼稚園教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
全 市 集 会	5月15日	研究計画、班別研修
班 別 集 会	6月5日	班別研修
班 別 集 会	7月3日	班別研修
班 別 集 会	8月26日	班別研修
班 別 集 会	10月23日	研究協議、事前研
班 別 集 会	12月4日	提案保育
班 別 集 会	1月15日	研究協議、まとめ

② 大分市小学校教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
部 会 研 究	5月13日	組織の決定、研究課題、 研究仮説、研究計画
部 会 研 究	6月10日	指導案審議
部 会 研 究	7月1日	検証授業、研究協議
部 会 研 究	8月27日	指導案審議
部 会 研 究	10月14日	検証授業、研究協議
部 会 研 究	1月13日	指導案審議
部 会 研 究	2月3日	検証授業、研究協議、 部会研究のまとめ

③ 大分市中学校教育研究会

集 会 名	期日(予定)	内 容
全 市 集 会	5月28日	部会編成、研究主題、年間計画
地 区 集 会	6月22日	授業研究、課題研究
地 区 集 会	8月28日	課題研究、実技研修、実地見学
地 区 集 会	9月25日	授業研究、課題研究
地 区 集 会	12月3日	授業研究、課題研究、 研究のまとめ
地 区 集 会	1月15日	課題研究、情報交換（授 業研究）、研究のまとめ

4 進路指導

(1) 進路指導の重点

- ① 進路指導の全体計画を明確にし、学年・発達の段階に即した小学校からの系統的な指導の積み上げを重視し、進路意識の高揚を図る。
- ② 進路指導主事の役割を明確にし、校内指導体制の整備・充実を進める。
- ③ 適切な進路情報や資料の収集・活用を徹底し、進路指導の充実を図る。
- ④ 学級活動における実践的研究を推進する。
- ⑤ 進路指導の改善を図り、評価の方法を工夫するとともに主体的な進路選択能力の育成に努める。

5 学校体育

(1) 体力・運動能力調査

新体力テストを実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、今後の体育指導の資料とするとともに、児童生徒一人一人が体力・運動能力に関心を持ち、進んで自己の体力や能力に応じた体育活動を実践するための動機づけとする。

(2) 大分っ子体力向上推進事業

※ 県委託事業

市内の小中学校4校を指定し、児童生徒の体力向上や望ましい生活習慣の確立等について実践研究を行う事業であり、その成果を市内に普及する。

(3) 大分市水泳指導者研修

市営温水プールにて、小中学校の教員の指導力を高めることを目的に、「課題別指導法（初心者指導・泳法指導）」についての実技研修会を実施する。

(4) 小・中学校体育主任研修

学校水泳プールの安全衛生管理ならびに、年間指導計画を見通した体育主任の役割や実務について理解を深め、体育主任としての実践的指導力の向上にかかわる研修会を実施する。

(5) 武道指導者養成講習会

※ 県教委共催

中学校の保健体育担当教員等を対象に、武道の基本技能の習得を図り、実技の指導力を高めるとともに、武道指導及び学校体育指導の充実を図るために実施する。

(6) ダンス指導者養成講習会

※ 県教委共催

中学校保健体育担当教員等を対象に、ダンスにおける意欲を高める学習指導の在り方や体力を高める学習指導の在り方等、指導者として必要な知識や技能を習得することにより、ダンス指導及び学校体育指導の充実を図るために実施する。

(7) 体力向上指導研修

小中学校における体力向上に向けた指導のあり方について、コーディネーショントレーニングの理論及び実技をとおして、実践的指導力の向上を図るために実施する。

(8) 学校体育指導者研修

学校体育における諸課題、また、学習指導要領の改訂に則した体育授業の計画、実施に向け、講義及び実技をとおして、実践的指導力の向上を図るために研修会を実施する。

(9) 大分っ子体力アップわくわく事業

小中学校に対して、スピード・全身持久力・瞬発

力の体力要素で構成されている体づくり運動・陸上運動・器械運動の3領域の専門的知識を持った指導者を派遣し、体育授業を充実させることにより、小中学生の体力向上を図るとともに担当教師の技術面における指導力の向上を図るため実施する。

(10) 運動部活動指導者研修

運動部活動における選手の発達の特性に応じた効果的なトレーニングのあり方について、講義及び実技をとおして理解を深めるとともに、実践的指導力の向上を図るため実施する。

(11) 中学校体育連盟各種競技会

総合体育大会、新人大会、駅伝競走大会等を実施する。

① 運動部活動入部生徒の状況(平成27年5月31日現在)

- ・ 合計…部数(446部)、部員数(7,998名)
- ・ 市内中学生12,637名に対し、約63%の生徒が入部し、活動している。

② 平成27年度大分県中学校総合体育大会

- ・ 期日 平成27年7月21日(火)～24日(金)
- ・ 会場 大分市、別府市、豊後大野市、宇佐市

③ 平成27年度九州中学校体育大会

- ・ 期日 平成27年8月4日(火)～12日(水)
- ・ 会場 九州各県

④ 平成27年度全国中学校体育大会

- ・ 期日 平成27年8月17日(月)～25日(火)
- ・ 会場 北海道・東北ブロック

⑤ 平成26年度大分県中学校総合体育大会成績

○ 優勝…団体14競技、個人52種目

- ・ 陸上男子(城東中)
- ・ 陸上女子(滝尾中)
- ・ 体操女子(大在中)
- ・ 新体操女子(南大分中)
- ・ 水泳女子(南大分中)
- ・ バスケットボール女子(戸次中)
- ・ ソフトボール男子(明野中)
- ・ ソフトテニス男子(神崎中)
- ・ ソフトテニス女子(神崎中)
- ・ ハンドボール男子(明野中)
- ・ ハンドボール女子(原川中)
- ・ 空手道女子組手(大在中)
- ・ 空手道女子形(明野中)
- ・ テニス女子(南大分中)

⑥ 平成26年度九州中学校体育大会成績

ア 団体

- 優勝…テニス男子(大東中)
- 第2位…陸上男子(坂ノ市中)
- 第3位…ソフトボール男子(明野中)

- ハンドボール女子（原川中）
- 新体操女子（南大分中）
- ソフトテニス女子（神崎中）

イ 個人

○優 勝

- ・小野知大(坂ノ市中) 陸上男子(共通3000m)
- ・木村龍太郎(城東中) 陸上男子(共通400m)
- ・中島大貴(城南中) 柔道男子(90Kg超級)
- ・平野慧(碩田中) 新体操女子(ロープ)
- ・中村瑠菜(大東中) バドミントン女子
- ・矢野夏帆(明野中) 空手道女子(形)

○第2位

- ・小野知大(坂ノ市中) 陸上男子(3年1500m)
- ・小野翔真(鶴崎中) 水泳男子(100m自由形)
- ・安東明日輝(城東中) 体操男子(跳馬)
- ・平野慧(碩田中) 新体操女子(総合)
- ・伊藤唯(神崎中) ソフトテニス女子
渡辺舞華

○第3位

- ・濱村彩来(南大分中) 体操女子(総合)(ゆか)
- ・岩崎凜花(神崎中) ソフトテニス女子
藤澤佳蓮
- ・三浦由布子(城東中) 柔道女子(57Kg級)

⑦ 平成26年度全国中学校体育大会成績

イ 個人

○第3位

- ・中島大貴(城南中) 柔道男子(90Kg超級)

⑧ 平成26年度大分県中学校駅伝競走大会成績

- 第1位 男子 坂ノ市中 女子 大東中
- 第2位 女子 坂ノ市中

⑨ 平成26年度九州中学校駅伝競走大会成績

- 区間賞 男子1区 小野知大(坂ノ市中)

⑩ 平成26年度全国中学校駅伝競走大会成績

- 区間賞 男子2区 小野知大(坂ノ市中)

6 福田展・朝倉展

趣 旨

郷土出身の画家故福田平八郎先生、彫刻家故朝倉文夫先生の御遺志を長く本市教育に生かすために「福田平八郎賞」、「朝倉文夫賞」基金条例を制定し、昭和37年度から図画展、昭和44年度から彫塑展を開いて、市内小中児童生徒の図工・美術教育の振興を図っている。

(1) 福田展の記録

昭和37年5月1日～6日

トキハ文化ホールにおいて福田平八郎画伯近作展が開かれる。

昭和38年2月6日～10日

市条例により「福田平八郎賞」大分市小・中学校図画展がはじまる。

回	期 間	会 場	応募作品数	入選数	入賞者数
49	平22.11.11 ～11.18	コンパルホール	41,597	4,209	465
50	平23.11.10 ～11.17	コンパルホール	41,378	4,187	470
51	平24.11. 8 ～11.15	アートプラザ	41,059	3,685	471
52	平25.11.20 ～11.27	アートプラザ	40,785	3,657	464
53	平26.11.19 ～11.25	アートプラザ	40,537	3,637	460



「福田平八郎賞」図画展

(2) 朝倉展の記録

昭和42年10月6日～19日

大分文化会館において朝倉文夫遺作展が開かれる。

昭和44年11月6日～10日

市条例により「朝倉文夫賞」大分市小・中学校彫塑展がはじまる。

回	期 間	会 場	入賞者数
42	平22.11.11～11.18	コンパルホール	332
43	平23.11.10～11.17	コンパルホール	334
44	平24.11.8～11.15	アートプラザ	335
45	平25.11.20～11.27	アートプラザ	335
46	平26.11.19～11.25	アートプラザ	332



「朝倉文夫賞」彫塑展

7 大分市奨学金制度

(1) 大分市奨学資金制度

定期採用

① 奨学生の資格

- ア. 保護者が大分市内に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校及び大学に在学中の者
- ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

② 貸与の区分、期限及び金額等

学 校	区 分	期 間	金額（1人当月額）	返 還
高 等 学 校 高等専門学校	無利子貸与	正規の修学期間	国公立 10,000円 私 立 20,000円	貸与を終了した日から6ヶ月を経過する 日の属する月の翌月から15年以内
大 学	”	”	45,000円	”

③ 奨学生の決定方法

教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

④ 平成26年度の貸与状況

学 校	1	2	3	4	5	6	計	金 額
高 等 学 校 高等専門学校	27	26	15	4	4	0	76	15,800,000円
大 学	32	28	30	21	3	1	115	60,525,000円

緊急採用

当分の間、特例措置として、修学意欲があるにもかかわらず、家計急変により修学困難となり緊急に学費を必要とする者を対象とし、年間随時受付を行う。

平成26年度の貸与状況

学 校	1	2	3	4	5	6	計	金 額
高 等 学 校 高等専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0円
大 学	0	0	0	0	0	0	0	0円

(2) 大石奨学資金

個人からの寄附を原資とし、学業人物ともに優秀で、かつ経済的理由により修学困難な者に対して学資の一部を贈与する制度。

なお、平成27年度末をもって廃止。

① 奨学生の資格

- ア. 申請者及び申請者の保護者が、引き続き2年以上大分市に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
- ウ. 学業人物とも優秀と認められる者
- エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者
- オ. 大分市奨学資金及び大分市緊急採用奨学資金との併用をしない者

② 贈与金額 1人当月額10,000円

③ 贈与期間 在学する高校等の入学から起算して最大3年間

④ 奨学生の決定方法

教育長が依頼した者をもって組織する大石奨学生選考委員会（委員5名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

⑤ 平成26年度の贈与状況

学 年	1	2	3	計	金 額
人 数	0	4	4	8	960,000円

(3) 大分市高等学校修学支援奨学資金

個人からの寄附を原資とし、高等学校等に入学又は在学する生徒のうち、経済的理由により入学金又は進級時の教育費の調達が困難な者に対する学資の一部を贈与する制度。

なお、平成27年度末をもって廃止。

① 奨学生の資格

- ア. 申請者及び申請者の保護者が、引き続き1年以上大分市に住所を有していること
- イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者
- ウ. 学業人物とも優秀と認められる者

エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

オ. 大分市奨学資金及び大分市緊急採用奨学資金並びに大石奨学資金との併用をしない者

② 贈与金額

支給する時点での学年により、1年生は1人につき100,000円、2、3年生は1人につき50,000円（年1回限り）

③ 贈与日 入学時（新1年生）又は進級時（新2、3年生）

④ 奨学生の決定方法

教育長が依頼した者をもって組織する奨学生選考委員会（委員5名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

⑤ 平成26年度の贈与状況

学 年	1	2	3	計	金 額
人 数	3	3	3	9	600,000円

(4) 未来自分創造資金

平成26年度より新設する、高校生等を対象とする予約制の給付型奨学資金制度。

① 奨学生の資格

ア. 保護者が大分市内に住所を有していること

イ. 高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学中の者

ウ. 学業人物ともに優秀と認められる者

エ. 経済的理由により学資の支弁が困難な者

② 貸与の区分、給付時期及び金額

学 校	区分	給 付 時 期	金額（1人当り）
高 等 学 校 高 等 専 門 学 校	給 付	入学する年度の前年度の3月	100,000円
		進級する年度の前年度の3月	50,000円
		卒業する年度の3月	50,000円

③ 奨学生の決定方法

教育委員会が委嘱した市内の高等学校の長、中学校の長、民生委員児童委員から推薦された者及び教育委員会が委嘱した学識経験者をもって組織する大分市奨学生選考委員会（委員10名以内）の選考を経て教育委員会が決定する。

④ 平成26年度の贈与状況

学 年	中学3年	金 額
人 数	5	500,000円

8 大分市立小・中学校隣接校選択制

隣接校選択制は、小・中学校とも、居住地によって定められた「指定校」の他に、指定校の通学区域に隣接する通学区域の学校（隣接校）への入学を希望することができる制度であり、小・中学校とも、児童生徒、保護者が、通学の安全性や通学距離、各学校の特色等を考慮し、自ら学校を選択できる機会を拡大した。

小・中学校隣接校一覧

区分	地 区	NO	指 定 校	隣 接 校										
小 学 校	大 分	1	金 池	長 浜	大 道	豊 府	荷 揚	町						
		2	長 浜	金 池	荷 揚	町	住 吉	中 島						
		3	荷 揚	中 島	春 日	大 道	金 池	長 浜	住 吉					
		4	中 島	住 吉	荷 揚	町	春 日	長 浜						
		5	春 日	八 幡	荷 揚	町	中 島	大 道	西 の 台					
		6	大 道	荷 揚	町	春 日	金 池	西 の 台	南 大 分	豊 府				
		7	西 の 台	春 日	大 道	城 南	八 幡							
		8	南 大 分	豊 府	大 道	城 南	荏 限	宗 方						
		9	城 南	荏 限	南 大 分	西 の 台								
		10	荏 限	城 南	賀 来	南 大 分								
		11	豊 府	金 池	南 大 分	大 道								
		12	八 幡	春 日	神 崎	西 の 台								
		13	神 崎	八 幡										
		14	滝 尾	下 郡	明 野	西 岡								
		15	下 郡	滝 尾	津 留	明 野	西 岡							
		16	森 岡	滝 尾	鷲 野	敷 野	戸 寒	大 分						
		17	東 大 分	日 岡	津 留	舞 鶴	明 野	西 下 郡						
		18	日 岡	桃 園	東 大 分	三 佐								
		19	桃 園	明 治	北 日 岡	明 野	北 別 保	鶴 崎	三 佐					
		20	津 留	東 大 分	舞 鶴	下 郡								
		21	舞 鶴	東 大 分	留 大 分									
		22	住 吉	中 島	長 浜	荷 揚	町							

学 校 教 育

区分	地 区	NO	指 定 校	隣 接 校								
小 学 校	明 野	23	明 野 西	明 野 東	明 野 北	滝 尾	下 郡	東 大 分				
		24	明 野 東	明 野 西	明 野 北	明 尾	尾 治					
		25	明 野 北	明 野 東	明 野 西	桃 園	明 治 北					
	鶴 崎	26	三 佐	鶴 崎	日 岡	桃 園	別 保	大 在 西	川 添			
		27	鶴 保	三 崎	桃 園	別 保	明 治 北					
		28	別 保	鶴 崎	桃 園	明 治 北	明 治 北					
		29	明 治 北	明 治 北	明 野 東	別 保	明 野 北					
		30	明 治 北	明 治 北	別 保	桃 園	明 野 北					
		31	高 田	松 岡	明 治 崎	川 添						
		32	高 川	添 丹	生 鶴	高 崎	高 田					
		33	松 岡	判 田	高 田	高 田	戸 次					
	大 南	34	戸 次	上 戸 次	吉 野	松 岡	判 田	竹 中				
		35	上 戸 次	吉 野	野 次	戸 次	竹 中					
		36	吉 野	野 次	上 戸 次	上 戸 次						
		37	竹 中	判 田	上 戸 次	戸 次						
	植 田	38	判 田	竹 中	松 岡	戸 次	野 次	戸 次				
		39	東 植 田	田 尻	宗 方	寒 田						
		40	植 田	横 瀬	宗 方	田 尻	野 津 原 東 部					
		41	賀 来	荻 野	宗 方	横 瀬						
		42	敷 戸	鴛 野	森 岡							
		43	鴛 野	判 田	敷 戸	寒 田	森 岡					
		44	宗 方	植 田	東 植 田	南 大 分	賀 来					
		45	横 瀬	横 瀬	野 津 原 東 部	賀 来						
	大 在	46	横 瀬	西 横 瀬	野 津 原 東 部							
		47	寒 田	尻 寒 田	東 植 田	鴛 野	森 岡					
		48	田 尻	寒 田	東 植 田	植 田						
		49	大 在 西	大 在 西	小 佐 井	丹 生						
	坂 ノ 市	50	大 在 西	大 在 西	小 佐 井	川 添	大 在					
		51	丹 生	小 佐 井	川 添	大 在						
		52	小 佐 井	丹 生	坂 ノ 市	大 在						
	佐 賀 関	53	坂 ノ 市	小 佐 井	こ う ざ き							
		54	こ う ざ き	坂 ノ 市	大 志 生 木							
		55	大 志 生 木	こ う ざ き	佐 賀 関							
	野 津 原	56	佐 賀 関	大 志 生 木								
		57	野 津 原 東 部	野 津 原 中 部	横 瀬 西	植 田						
		58	野 津 原 中 部	野 津 原 東 部	野 津 原 西 部							
	59	野 津 原 西 部	野 津 原 中 部									
	中 学 校	大 分	1	碩 田	上 野 ケ 丘	王 子	城 東					
			2	上 野 ケ 丘	碩 田	王 子	南 大 分	城 東 分	滝 尾			
			3	王 子	上 野 ケ 丘	碩 田	南 大 分	南 大 分				
			4	大 分 西	王 子	城 南						
			5	南 大 分	上 野 ケ 丘	王 子	城 南	植 田 南	植 田			
			6	城 南	南 大 分	大 分 西	賀 来					
			7	滝 尾	城 東	明 野	植 田 東	上 野 ケ 丘				
			8	城 東	滝 尾	明 野	原 川	碩 田	上 野 ケ 丘			
			9	原 川	城 東	明 野	野 大 東	碩 鶴				
		明 野	10	明 野	滝 尾	城 東	原 川	大 東				
			11	鶴 崎	原 川	大 東	東 陽	大 在 野	判 田 戸 次			
			12	大 東	東 鶴	大 東	原 坂 ノ 市	明 吉 野				
		大 南	13	大 東	東 鶴	大 東	原 坂 ノ 市	明 吉 野				
			14	戸 次	吉 野	大 東	判 田	竹 中				
			15	吉 野	戸 次	大 東	陽 田					
			16	竹 中	戸 次	大 東	判 田					
		植 田	17	判 田	中 大	東 陽	東 植 田	戸 次				
			18	植 田	植 田 南	植 田 西	南 大 分	野 津 原				
			19	植 田 東	滝 尾	植 田 南	判 田					
			20	植 田 西	植 田	賀 来	野 津 原					
			21	植 田 南	植 田	植 田 東	南 大 分					
			22	賀 来	城 南	植 田 西						
大 在 坂 ノ 市		23	大 在	坂 ノ 市	鶴 崎							
		24	坂 ノ 市	大 在	東 陽	神 崎						
		25	神 崎	坂 ノ 市	佐 賀 関							
		26	佐 賀 関	神 崎								
		27	野 津 原	植 田	植 田 西							

・学校情報の公開

児童生徒、保護者が指定校や隣接校について十分な情報が得られるよう、学校案内の配布、学校ホームページの公開、学校公開日の設定等により学校情報を公開する。

・受入定員と抽選

各学校とも現有施設で対応し、余裕教室などの状況に応じて、受入定員を定め、希望者が受入定員を超過した場合は、公開抽選のより受入者を決定する。

幼稚園教育

1 就園状況

(1) 就園児数

(平成27.5.1現在)

区分	園数	3歳児	4歳児	5歳児	備考
国立	1	32	61	63	
市立	29		225	725	
私立	20	986	1,165	1,209	
計	50	1,018	1,451	1,997	

(2) 就園率（5歳児のみ）

(平成27.5.1現在)

幼稚園		認可保育所・認定こども園	未就園
国公立 17.2%	私立 26.4%	45.9%	10.5%

2 就園奨励費及び私立学校補助金

(1) 就園奨励費（国庫補助対象分）

年度	園種別	奨励費		対象人員 (人)
		総額(千円)	内訳(千円)	
25	公立 (4・5歳児)	3,304	国費 929	118
	市費 2,375			
26	私立 (3・4・5歳児)	443,844	国費 107,125	3,979
	市費 336,719			
25	公立 (4・5歳児)	20,151	国費 4,995	534
	市費 15,156			
26	私立 (3・4・5歳児)	606,447	国費 149,904	4,550
	市費 456,543			

(2) 就園奨励費（国庫補助対象外）

年度	入園児補助金		対象人員 (人)
	総額(千円)	内訳(千円)	
25	59,613	公立 5,865	170
		私立 53,748	1,462
26	46,766	公立 4,020	137
		私立 42,756	1,154

(3) 私立学校補助金（幼稚園分）

年度	総額	算定区分	配分率		金額
			生徒数割	均等割	
25	千円 16,109	生徒数割	1年保育 $\frac{7}{10}$	$\frac{4}{10}$	6,766
			その他 $\frac{3}{10}$		2,900
26	千円 16,109	生徒数割	1年保育 $\frac{7}{10}$	$\frac{4}{10}$	6,766
			その他 $\frac{3}{10}$		2,900
25	千円 16,109	均等割			6,443
			26	千円 16,109	均等割

3 幼稚園教育の振興と充実

平成21年度に策定した「大分市幼児教育振興計画」に基づき、家庭、地域社会、幼稚園が一体となって、豊かな教育環境の創造に向けた取組を一層推進する。

なお、今年度は、平成26年度末に策定した『「大分市幼児教育振興計画」の当面の実施方針』に沿って、幼児教育の振興と充実に取り組む。

(1) 幼稚園教育の充実

幼児期の教育は、幼児の生活が家庭を基盤として、地域社会、幼稚園等に広がりをもつ中で、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、その後の小学校教育へとつながるものでもある。そこで、「大分市幼保小連携推進協議会」における協議を踏まえ、3年目となる「幼保小連携に関する研究推進事業」の取組の充実を図るとともに、昨年度全小学校区に設置した校区幼保小連携推進協議会を活用することにより、幼児期の教育と小学校教育の間のより円滑な接続を目指す。

また、幼稚園施設の開放、子育て相談の実施など、家庭を支援する事業の実施を図り、幼稚園が地域における幼児教育のセンター的な役割を担うとともに、近年の女性の社会進出の拡大などを背景とした、保護者の生活状況の変化に対応するため、私立幼稚園子育て支援保育利用者補助事業等に取り組む。

(2) 市立幼稚園の適正配置

市立幼稚園の適正配置は、子ども・子育て支援新制度初年度となる平成27年度の市立幼稚園の園児数の推移、私立幼稚園や保育所の認定子ども園への移行状況、保育所待機児童数の状況等を見極めながら大分市全体として総合的に検討を行う。

(3) 2年制保育

2年制保育については、発達や学びの連続性を確保し、幼児一人一人の育ちを見通した、継続的、計画的な指導が可能となるなど、教育的見地から重要な意義を有しており、保護者ニーズも高いことから、今後とも、統廃合園数の範囲内で2年制保育の拡大に努める。

(4) 幼稚園と保育所の一体化の推進

幼稚園と保育所については、既存の枠組みを超えた新たな仕組みが求められており、平成23年4月に開設した、大分市立野津原幼稚園と大分市野津原保育所の連携施設である「のつはるこども園」の連携

の取組の成果や課題を踏まえ、子ども・子育て支援新制度における幼保連携施設のあり方について検討する。

(5) 私立幼稚園保育料の保護者負担の軽減

私立幼稚園、認定こども園が本市の学校教育において果たす役割の重要性に鑑み、施設型給付を受けない私立幼稚園への就園奨励と保育料の保護者負担の軽減を目的として、私立幼稚園就園奨励費補助について、国の充実施策に沿った取組の推進に努める。

4 研修・研究活動

(1) 幼稚園教育課程の編成

平成21年4月から実施された幼稚園教育要領のねらいのもと、子どもや社会の変化に対応した幼稚園教育のさらなる充実を図っていく必要がある。

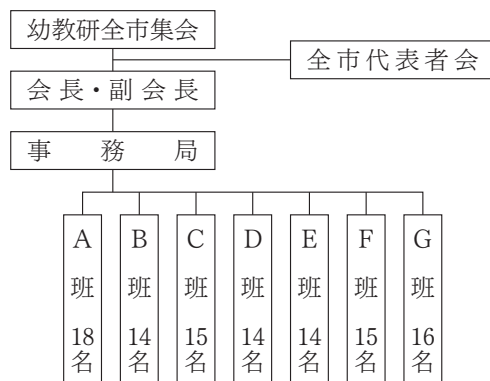
そこで、各園の創意工夫を生かした、教育課程の編成及び小学校との円滑な接続や家庭との連携等を踏まえた保育の充実に努める。

(2) 大分市幼稚園教育研究会

① 研究主題

互いに響き合いながら、協同的な関係を創り出す子どもを育てるための環境の構成や援助のあり方

② 大分市幼稚園教育研究会の組織



特別支援教育

1 特別支援教育の推進

LD、ADHD、高機能自閉症も含め、障がいのある幼児児童生徒に対しその一人一人の教育的ニーズを把握し、当該幼児児童生徒の持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行う。

(1) 各小中学校における校内支援体制の整備

- ① 校内推進委員会の設置及び充実
- ② 特別支援教育コーディネーターの指名
- ③ 個別の指導計画の作成及び有効活用

(2) 巡回教育相談の実施

障がいのある就学前の子どもの保護者、関係者等に対して、障がいの状態及び発達の段階、特性等に応じた支援の在り方、就学に係る手続き等についての適切な援助を行う。

期 日	会 場
7月21日	大分南部公民館
7月25日	大分市教育センター
7月31日	鶴崎公民館
8月4日	植田公民館
8月7日	大分西部公民館
8月10日	坂ノ市公民館
8月22日	大分市教育センター
8月25日	大分南部公民館

(3) 特別支援連携協議会の設置

医療、保健、福祉、労働、教育等の関係者、学識経験者、関係部局代表等で構成し、各学校に対する教育的支援に関する指導・助言や関係機関等との連携・協力した支援体制の整備等を行う。

(4) 専門家チームの設置

学識経験者、医療関係者等からなる専門家チームが、各学校の支援体制や望ましい教育的対応について専門的な意見の提示や助言を行う相談会を実施する。

(5) 研修の充実

① 特別支援教育コーディネーター研修

第1回	6月16日
第2回	9月8日
第3回	2月2日

② 特別支援教育研修講座

基礎	7月30日
実践	8月21日

③ その他の研修

研 修 会 名	期 日
特別支援学級等運営研修会	6月9日
特別支援学級等担当者研修会	7月24日
特別支援教育におけるICT機器活用講座	7月27日
通常の学級における特別支援教育研修	7月28日
通級指導教室担当者研修	8月11日
特別支援教育講演会	8月18日
特別支援教育研修講座（幼稚園）	8月26日
就学指導に係る校長等研修	9月3日

2 特別支援学級

現在、小学校60校中52校（121学級）、中学校29校中27校（50学級）、計79校（171）学級に特別支援学級が設置され、個々の特性や発達の段階にあわせた指導に重点をおくとともに、通常の学級の児童生徒と交流しながら自主的に学校生活に参加できるように努めている。

(1) 特別支援学級の設置状況

（平成27.5.1現在）

種別	小 学 校			中 学 校			合 計		
	設置校	学級数	児童数	設置校	学級数	児童数	設置校	学級数	児童数
知的	50	62	264	26	28	102	76	90	366
自・情	47	53	210	19	21	91	66	74	301
難聴	3	3	9	0	0	0	3	3	9
肢体不自由	2	2	3	0	0	0	2	2	3
病弱	1	1	1	1	1	1	2	2	2
合計	103 (52)	121	487	46 (27)	50	194	149	171	681

※（ ）内は設置校の実数

特別支援教育

(2) 小学校特別支援学級設置校一覧

(平成27.5.1現在)

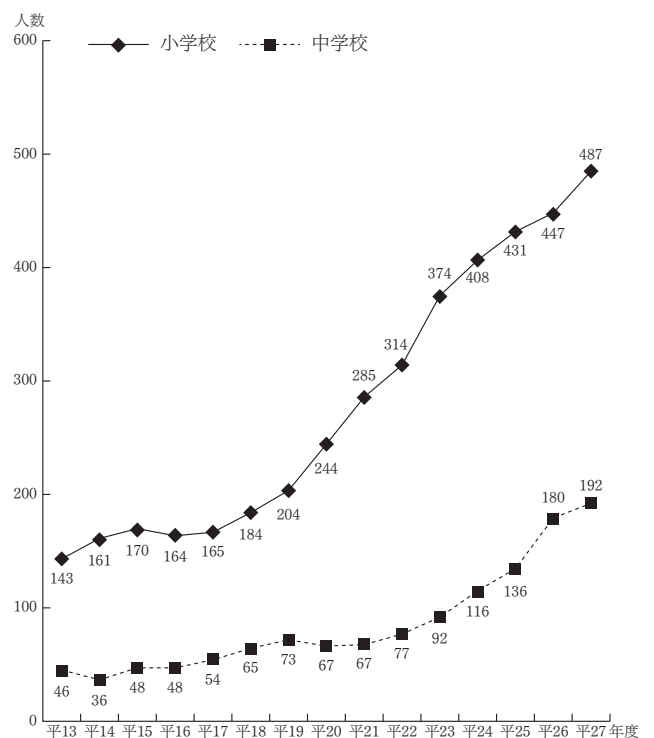
学校名	学級数	種 別					児 童 数					新・増設
		知的	自・情	難聴	肢体	病弱	知的	自・情	難聴	肢体	病弱	
金池	2	1	1				4	3				
長浜	2	1	1				2	1				自情新設
中島	3	1	1	1			3	6	3			
春日町	2	1	1				4	6				
大道	4	1	1	1	1		6	3	3	2		
西の台	2	1	1				3	3				
南大分	5	2	2			1	10	10				自情増設
城南	2	1	1				3	5				
荏隈	2	1	1				3	5				
豊府	3	1	2				6	10				
八幡	1	1					4					
滝尾	4	2	2				9	13				
下郡	3	1	1	1			7	6	3			
森岡	2	1	1				2	5				
東大分	2	1	1				6	4				
日岡	3	2	1				10	3				知的増設
桃園	2	1	1				5	3				
津留	3	1	2				4	10				
舞鶴	2	1	1				3	6				
明野西	2	1	1				4	3				
明野東	2	1	1				4	5				
明野北	2	1	1				7	3				
三佐	2	1	1				2	3				
鶴崎	2	1	1				2	6				
別保	5	3	2				18	10				知的増設
明治	3	2	1				10	3				
明治北	3	2	1				11	5				
高田	2	1	1				5	4				
川添	1	1					2					知的新設
松岡	2	1	1				4	2				自情新設
戸次	2	1	1				4	2				
吉野	2	1	1				2	2				自情新設
判田	2	1	1				3	1				
東植田	2	1	1				6	5				
植田	2	1	1				4	5				
賀来	3	2	1				10	4				
敷戸	2	1	1				3	3				
はばたき分校	2		2					3				自情新設
鴛野	2	1	1				3	3				
宗方	2	1	1				7	2				
横瀬	3	1	1		1		2	1		1		自情新設
横瀬西	2	1	1				2	5				
寒田	3	2	1				9	3				知的増設
田尻	2	1	1				2	1				
大在	4	3	1				19	7				
大在西	4	2	2				10	9				自情増設
丹生	2	1	1				3	2				
小佐井	1	1					4					
坂ノ市	2	1	1				6	4				
佐賀関	1	1					1					
野津原東部	1		1				0	2				自情新設
野津原中部	1	1					2					知的新設

(3) 中学校特別支援学級設置校一覧

(平成27.5.1現在)

学校名	学級数	種 別					生 徒 数					新・増設
		知的	自・情	難聴	肢体	病弱	知的	自・情	難聴	肢体	病弱	
碩田	2	1	1				4	1				
上野ヶ丘	3	1	2				2	10				自情増設
王子	2	1	1				4	7				
大分西	2	1	1				2	3				
南大分	3	2				1	9					知的増設
城南	2	1	1				2	1				
滝尾	2	1	1				5	7				
城東	2	1	1				4	6				
原川	2	1	1				5	1				自情新設
明野	2	1	1				6	6				
鶴崎	2	1	1				4	8				
大東	2	1	1				5	2				
東陽	2	1	1				6	6				
戸次	1	1					6					
吉野	1	1					1					知的新設
二豊学園分校	1	1					1					
判田	1	1					2					
植田	2	1	1				3	1				
植田東	3	1	2				2	10				自情増設
はばたき分校	2		2					5				自情新設
植田西	2	1	1				2	2				
賀来	2	1	1				8	4				
大在	3	2	1				11	5				
坂ノ市	2	1	1				2	5				
神崎	1	1					2					知的新設
佐賀関	1	1					2					
野津原	1	1					2					

3 特別支援学級在籍者の推移



4 特別支援学級の運営

教育関係 15名 特別支援学校校長・教諭
小中特別支援学級設置校
校長・教諭

(1) 特別支援学級の概要

① 特別支援学級（知的）

知的発達が遅れのある子どもを対象に学級を編成し、指導内容を工夫し、健康な体づくり、基本的な生活習慣の定着、身辺自立及び社会生活等に必要な学習内容の理解や表現などを中心に指導している。

② 特別支援学級（自閉症・情緒）

緘黙や自閉などの傾向の子どもを対象に、各教科等の指導のほか、集団生活を円滑にすすめるために、情緒の発達を促すなど、個に応じた指導を行っている。

③ 特別支援学級（難聴）

聴覚に障がいのある子どもを対象に、音やことばの聞き取り、聞き分けなど聴覚を活用することに重点をおいた指導など、ことばに関する指導を個別に行っている。

④ 特別支援学級（肢体不自由）

四肢体幹に障がいのある子どもを対象に、各教科等の指導のほか、歩行や筆記などに必要な身体の動きの指導など、個に応じた指導を行っている。

⑤ 病院内学級（病弱）

長期療養が必要で入院している子どもを対象に、病院内において医師との密接な連携のもとに学校教育を行っている。

(2) 特別支援学校との交流教育

- ① 盲学校と金池小学校・上野ヶ丘中学校
- ② 聾学校と大道小学校・上野ヶ丘中学校
- ③ 大分支援学校と大在西小学校・大在中学校
- ④ 新生支援学校と宗方小学校・植田中学校

5 就学指導

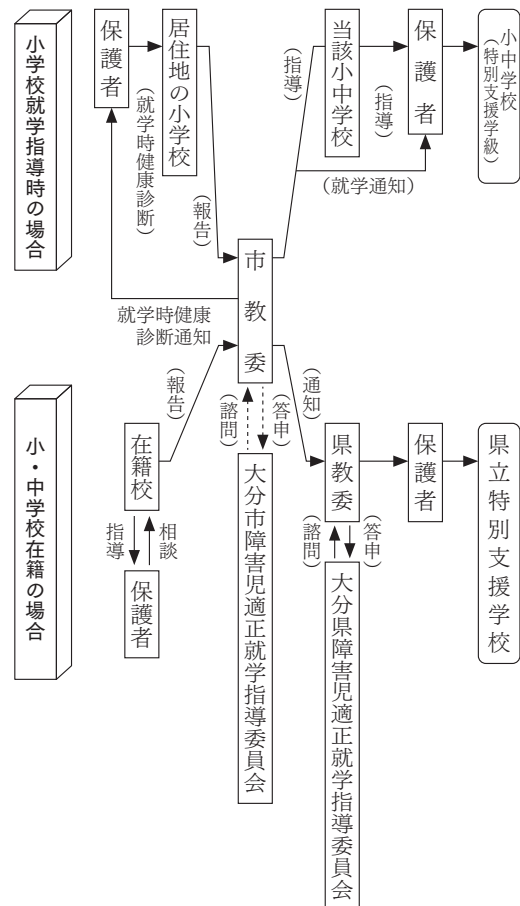
障がいのある児童生徒の適正な就学を図るため、大分市障害児適正就学指導委員会を設置し、障がいの種類及び程度を医学的、心理学的、教育的な見地から総合的に調査し、適切な教育的処遇の判断により、就学指導を進めている。

(1) 適正就学指導委員会委員の構成（委員20名）

専門医等	2名	精神科医
心理学	1名	心理学者
福祉関係	1名	児童相談所の職員
保健関係	1名	保健所職員

(2) 就学指導の経過

障がい児就学指導の経過図



6 障がい幼児保育

幼稚園においては、本年度、13園に特別支援学級（13学級40名）を設置し、障がい幼児の全面発達を促す指導を行っている。

なお、障がいの比較的軽い幼児で集団保育になじむものは、通常の学級に受け入れて指導している。

幼稚園における障がい幼児数・特別支援学級数の推移（平成27.5.1現在）

年度 平成	22	23	24	25	26	27
幼児数 学級数	22	23	24	25	26	27
障がい幼児数	35 (25)	36 (30)	40 (33)	43 (25)	47 (26)	60 (40)
特別支援学級数	15	14	12	10	10	13

（ ）は特別支援学級に入級した幼児数

健康教育

1 平成27年度 主要な事業

(1) 学校保健・安全

① 健康管理

定期健康診断及び事後措置を適正に実施することにより、疾病の早期発見早期治療に努め、健康の保持増進を図るとともに、健康意識の向上と行動の実践化をめざす。

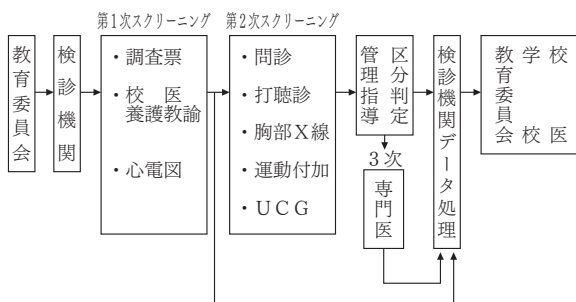
ア 検診・検査項目

番号	学年 検診・検査項目	小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3
1	内科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	眼科検診	○	←アンケートにより抽出→	○	← ” →	○	← ” →	○	← ” →	○
3	耳鼻咽喉科検診	〃	←アンケートにより抽出→	○	← ” →	○	← ” →	○	〃	〃
4	歯科検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	心臓検診	○	←経過観察者のみ→				○	← ” →	○	← ” →
6	腎臓検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	すこやか検診					○				
8	蟻虫卵検査	○	○	○						
9	結核検診	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	視力検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	聴力検査	○	○	○		○		○		○
12	身体測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○

イ 検査システム・検査内容

心臓検診

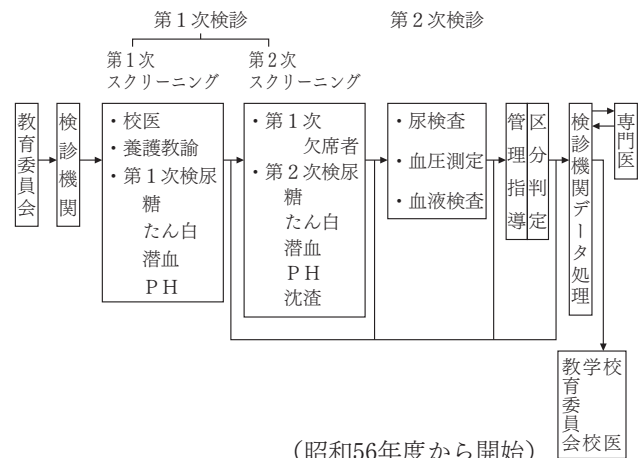
- 対象者 小学校1年生・中学校1年生・経過観察者
- システム



(昭和56年度から開始)

腎臓検診

- 対象者 幼稚園児・小学校中学校全学年
- システム



(昭和56年度から開始)

すこやか検診

- 対象者 小学校5年生
- 検査内容

肥満度 総コレステロール HDLコレステロール 中性脂肪 動脈硬化指数 GPT 赤血球数 ヘモグロビン ヘマトクリット (MCV MCM MCHC) 白血球数 血小板数

蟻虫卵検査

- 対象者 幼稚園児・小学校1・2・3年生

② 健康・安全教育の充実

各教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間等と関連を図りながら、学校教育活動全体を通し、健康教育の一環としての健康・安全教育の充実に努める。

ア 望ましい生活習慣づくりのための指導の充実
家庭との連携の下、健やかな体と豊かな心をはぐくむための望ましい生活習慣の形成を目指した指導の充実に努める。

イ 性に関する指導の充実

生命尊重、人間尊重、男女敬愛の精神に基づき、家庭、地域社会の理解のもと、児童生徒の発達段階を踏まえた性に関する指導の充実に努める。

ウ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育

(ア) 児童生徒の発達段階に応じた喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育の充実に努める。

(イ) 学校医・学校薬剤師並びに関係機関と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催する。

エ 保健指導の充実

平成22年10月1日から導入した「感染症情報

収集システム」を活用し、感染症の予防ならびに感染拡大防止に努めるとともに、日常の健康観察の充実を図ることにより、児童生徒の心身の状況を把握し、必要に応じ児童生徒、保護者に対し適切な指導助言を行う。

オ 健康相談活動の充実

保健室機能を活用し、地域の医療機関その他の専門機関等と連携することにより、多様化する心身の健康問題に対処するとともに、個に応じた健康相談活動の充実を図る。

カ 保健安全教育の充実

学校における保健安全教育ならびに管理体制の充実を図るため、「学校保健安全研修会」を開催する。

3年間で、全教職員を対象に、「学校危機管理研修会」を実施し、学校における更なる危機管理体制の充実を図る。

③ 学校保健の向上と推進

ア すこやか検診

小学校5年を対象に、生活習慣病予防のための血液検査を実施し、その後の保健指導に役立てるとともに、生活習慣の改善を図る必要のある児童とその保護者を対象にすこやか教室を開催する。

イ 学校保健委員会

平成22年度に作成した「学校保健委員会マニュアル」を活用し、学校、保護者、学校医等が連携し、地域や学校の実態に即した児童生徒

の健康づくりを図るための学校保健委員会の充実に努めている。

ウ 学校保健小委員会

地域保健委員会の中の一委員会として設置され、各専門分野の協力を得ながら、児童生徒の健康診断結果から学校保健の諸課題及び健康教育等について検討協議し、学校保健の推進を図っている。

エ 大分市学校保健会

大分市内の公立小中、高校、特別支援学校と学校医等関係機関との連携をとりながら、学校保健の向上と推進を図る。

さまざまな観点から、子どもの健康問題等についての研修会や講演会を開催し、学校保健の現状と課題について共通理解を図り、会報紙発行等活発な活動が展開されている。

オ 学校保健検討委員会

児童生徒等の健康課題に適切かつ効果的に対応するため、関係機関との連携のもと、課題解決に向けた対応や事務手続きの統一化などを行うことを目的に設置した。

平成26年度は「内科検診の手引き」を作成し健康診断の充実に努めている。



すこやか教室

④ 資料

ア 平成26年度 児童生徒体位比較表

大分市教育委員会

学 年		小 学 校						中 学 校			
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
身長 cm	男	市	115.6	122.2	127.3	132.9	138.3	144.6	151.7	158.9	164.6
		県	115.6	122.5	127.4	133.1	138.5	144.5	152.6	159.2	164.3
		全国	116.5	122.4	128.0	133.6	138.9	145.1	152.5	159.7	165.1
身長 cm	女	市	115.3	121.2	127.1	133.3	137.6	146.4	151.2	154.6	156.6
		県	114.8	121.0	126.7	133.4	139.2	146.9	151.7	154.7	156.1
		全国	115.5	121.5	127.4	133.4	140.1	146.8	151.8	154.8	156.4
体重 kg	男	市	21.2	24.0	26.6	30.2	33.6	37.9	43.7	48.7	54.1
		県	21.4	24.1	27.0	30.4	33.5	37.9	44.8	49.4	53.9
		全国	21.3	24.0	27.0	30.4	34.0	38.4	44.0	48.8	53.9
体重 kg	女	市	20.9	23.3	26.2	30.0	34.0	39.0	43.8	47.6	50.1
		県	20.9	23.2	26.5	30.4	33.5	40.1	44.7	47.8	50.0
		全国	20.8	23.4	26.4	29.8	34.0	39.0	43.6	47.2	50.0
座高 cm	男	市	64.0	67.3	69.8	72.1	74.5	77.3	80.9	84.5	87.9
		県	64.2	67.5	69.7	72.4	74.6	77.3	81.4	84.8	87.6
		全国	64.8	67.6	70.2	72.6	74.9	77.6	81.3	84.9	88.1
座高 cm	女	市	64.0	66.7	69.5	72.3	75.6	78.9	81.7	83.5	84.4
		県	63.9	66.7	69.3	72.6	75.3	79.4	81.9	83.6	84.6
		全国	64.4	67.2	69.9	72.6	75.8	79.3	82.1	83.8	84.9

大分市は、平成26年度大分市学校保健調査より。県及び全国は、文部科学省 平成26年度 学校保健統計調査速報より

健康教育

イ 平成26年度 大分市児童生徒疾病状況

(人)

項目		性別		男									女								
		学年		小学校						中学校			小学校						中学校		
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3		
在籍総数		2,317	2,241	2,139	2,242	2,312	2,303	2,161	2,156	2,171	2,130	2,178	2,111	2,038	2,147	2,142	2,153	2,067	2,099		
受検者数		2,308	2,231	2,128	2,238	2,297	2,295	2,136	2,003	2,114	2,126	2,167	2,102	2,033	2,138	2,138	2,137	2,030	2,053		
栄養 要注意	肥満傾向	16	21	15	46	45	65	0	0	2	9	23	17	23	18	24	3	1	0		
	栄養不良	0	0	0	3	2	4	0	0	0	0	0	3	1	5	0	0	0	0		
せき柱異常		86	84	101	93	90	82	67	76	75	82	80	103	96	109	93	80	103	78		
胸郭異常		2	2	2	1	1	2	2	1	5	2	1	0	1	3	0	1	2	1		
目	矯正視力測定者	71	66	76	159	257	315	329	443	526	66	77	121	163	292	400	520	669	821		
	裸眼視力	B(1.0未満～0.7以上の者)	429	328	309	293	254	225	237	203	216	450	351	367	313	299	256	240	205	190	
		C(0.7未満～0.3以上の者)	118	154	199	225	271	269	211	260	219	132	179	242	300	294	354	238	242	201	
		D(0.3未満の者)	21	36	77	95	120	133	141	171	181	13	51	78	108	158	139	153	145	128	
	1.0未満の者の計	568	518	585	613	645	627	589	634	616	595	581	687	721	751	749	631	592	519		
伝染性眼疾患		1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0		
その他の眼疾・異常		118	1	0	139	2	2	115	3	2	88	1	1	117	0	1	99	0	1		
目の疾患その他計		119	1	0	140	2	2	115	3	2	88	1	1	118	0	1	100	0	1		
伝染性皮膚疾患		2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0		
アトピー性皮膚炎		42	44	38	49	56	40	46	15	10	31	31	39	36	45	48	41	17	11		
心臓疾患		15	9	10	6	6	1	12	11	11	22	7	11	4	11	2	20	12	14		
腎臓疾患		12	16	8	9	7	4	31	31	24	10	17	15	13	17	11	18	11	8		
ぜんそく		36	31	40	34	48	67	31	31	24	28	16	28	26	35	25	18	11	8		
寄生虫病の者		21	11	22							13	17	8								
その他の疾患・異常		22	26	5	18	6	16	22	21	20	12	16	12	11	6	6	22	18	19		
歯	受検者数	2,296	2,213	2,112	2,216	2,281	2,277	2,105	2,084	2,084	2,118	2,156	2,091	2,027	2,111	2,120	2,046	2,057	2,076		
	う歯	処置完了者	517	629	650	668	656	555	465	449	538	479	548	622	632	599	531	492	474	526	
		未処置のある者	790	810	825	930	798	715	549	539	571	654	809	776	774	693	616	520	525	604	
		計	1,307	1,439	1,475	1,598	1,454	1,270	1,014	988	1,109	1,127	1,348	1,393	1,397	1,287	1,141	1,012	999	1,130	
	歯列・咬合・顎関節異常		53	79	104	115	106	115	57	65	58	62	90	105	100	90	122	77	94	88	
	歯肉炎・歯周炎		27	71	73	78	66	111	78	85	108	18	85	61	78	58	101	40	59	76	
要観察歯(C ₀)のある者		274	295	318	400	385	417	317	372	344	279	322	362	462	443	492	308	424	419		
結核 検診	精密検査受診者	3		1	1		3	1	1	1	3	4	0	0	0	0	0	0	0		
	異常者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

平成26年度 児童生徒定期健康診断調査より

(2) 学校給食

大分市では、改正された「学校給食法」に基づき、食育の推進を図るとともに、小学校は単独校調理場方式、中学校は共同調理場方式を基本に、「安心、安全、あたたかい」学校給食の提供に努めている。

① 食育の推進

ア 食に関する指導

学校における食育の推進を図るため、家庭及び地域社会との連携のもと、健康教育の一環としての食に関する指導を充実し、生涯を通して健全な食生活を実践しようとする資質や能力の育成に努めている。

イ 地産地消事業

関係機関と連携した地元産食材の「年間使用計画」を作成し、「学校給食地産地消推進会議」を開催する中で、毎月19日の「食育の日」前後を「おおいた産給（サンキュー）の日」と定め、市内産食材を使用した学校給食を実施している。

ウ 元気いっぱい！おおいたっ子食育推進事業

学校における「食育」の一環として、「元気いっぱい！おおいたっ子食育標語」を募集することで、子どもたちの食に関する意識・関心を高めるとともに、啓発用リーフレット等を作成・配付し、学校・家庭・地域において「早寝、早起き、朝ごはん」の取組が積極的に行われるよう呼びかけている。

② 施設・設備の整備・充実

平成20年9月に稼動した東部共同調理場と平成22年9月に稼動した西部共同調理場では、最新鋭の設備機器を備え、HACCPの考え方に基づく衛生管理システムを導入し、市内の小中学校33校に学校給食を配送している。

その他の給食施設は、老朽化や耐震補強などの校舎の施設整備計画等を考慮するなかで、計画的な施設の整備を推進している。

なお、学校給食に関する施設の現状は、下記のとおりである。

ア 単独校

現在、単独校方式による給食は、小学校53校で実施している。

イ 共同調理場

共同調理場名	場 所	連絡先	設置日
東部	大字海原916-3	521-7832	H20.9.1
西部	大字光吉467-12	568-0555	H22.9.1

現在、上記2共同調理場で、小学校6校、中学校27校の給食を実施している。

ウ ドライシステム

(ア) 単独校

- 小佐井小学校（平成11年2月）
- 下郡小学校（平成13年4月）
- 大在西小学校（平成17年4月）
- 大道小学校（平成24年1月）
- 坂ノ市小学校（平成24年1月）
- 南大分小学校（平成25年1月）
- 春日町小学校（平成26年1月）
- 鶴崎小学校（平成27年4月）

(イ) 共同調理場

- 東部共同調理場（平成20年9月）
- 西部共同調理場（平成22年9月）

エ 食器等

これまで、アルマイト食器を使用していたが、平成13年度に強化磁器食器を1校（新設小学校）に導入した。

さらに、平成16年度からは小学校に順次、強化磁器食器を導入している。

東部・西部共同調理場の関係校33校も、強化磁器食器を使用している。

オ その他

単独校調理場では、昭和55年5月から石けん洗剤を使用している。

③ 学校給食の充実

ア 学校給食実施状況（平成27年5月1日現在）

区分	調理方式	学校数	児童生徒数	栄養教諭	学校栄養職員	給食調理員
小学校	単独校調理場方式	53	25,927	5	23	209
	共同調理場方式	6	449			
	その他	1	3			
中学校	共同調理場方式	27	12,621	1	6	
	その他	2	18			
合 計		89	39,018	6	29	209

※東部・西部共同調理場は、調理業務を委託しているため、調理員数には含めていない。

イ 学校給食の形態

(ア) 学校給食の開始

小学校では昭和23年から、中学校では昭和38年から、完全給食を実施している。

(イ) 米飯給食

食事内容の多様化を目的に、米飯給食を導入している。

- 昭和53年9月から 週1回実施
- 昭和56年10月から 週2回実施
- 昭和63年12月から 週3回実施

(ウ) 現状

週5日 完全給食（米飯3回、パン2回）

(エ) 平成27年度学校給食費（月額平均）

区分	金額(円)
小学校	4,646
中学校	4,800

ウ 学校給食食物アレルギーへの対応

東部・西部共同調理場の関係校を対象に、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づく「代替食」による食物アレルギー対応給食の提供を行っており、対応給食を希望する児童生徒には、専用の容器等で配送している。

また、単独校調理場の小学校についても、平成26年1月に「食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、原則として「除去食」による対応給食の提供を行っており、対象児童は専用の容器やトレイ等を使用している。

エ 献立作成

「学校給食実施基準」に定める「児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準」に基づき、献立作成を行っている。

栄養教諭・学校栄養職員未配置校では、市教育委員会の栄養士が献立を立案し、献立委員会で審議、承認された後、各校に配布している。

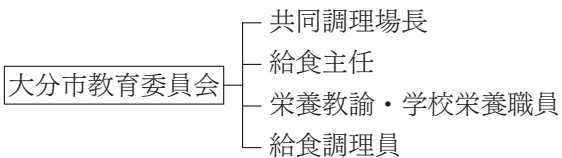
栄養教諭・学校栄養職員配置校では、学校ごとに創意工夫して、献立を作成している。

各校では実情に応じ、限られた予算や子どもたちの嗜好・食事摂取基準・食材の安全性・季節・伝統料理等を考慮し、各校独自の献立を実施している。

さらに、地域の食文化に接するため、だんご汁やとりめし、やせうま等の郷土料理を献立に取り入れたり、にら、みつば、ごぼう等の地域の食材を取り入れるなど、地産地消に努め、地域性豊かな給食を実施している。

オ 献立委員会

(ア) 組織



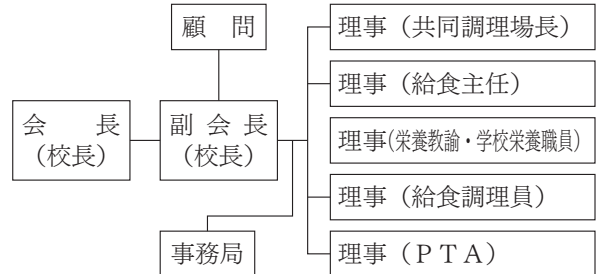
(イ) 内容

市教育委員会で立案した献立について、指導の徹底、作り方、内容の検討を行い、実施献立の反省をもとに給食指導の充実を図っている。

カ 大分市学校給食研究会

校長、共同調理場長、給食主任、栄養教諭・学校栄養職員、給食調理員、PTAのそれぞれの代表者で構成する研究団体である。

○ 組織



7月に総会を開催し、年間事業計画等の審議や給食指導などの実践発表を行っている。

キ 学校給食ポスター展

学校給食週間の事業として、昭和44年から児童生徒の「学校給食ポスター展」を行っている。

平成26年度出展数は399点、来場者は3日間で1,040名以上であった。

ク 学校給食試食会

児童生徒の保護者を対象に学校給食試食会を開催し、学校給食への理解を図るとともに、学校と家庭との連携を深めることを目的として、各学校毎に実施している。



平成26年度学校給食ポスター展会場風景

青少年教育

1 平成27年度 主要な事業

(1) 生徒指導の充実について

- ① 家庭、学校、地域社会、関係諸機関との緊密な連携による信頼関係を基調とした生徒指導体制の充実を図る。
- ② 問題行動の早期発見・即時対応と実働的な危機管理体制の確立による児童生徒一人一人の心に寄り添った具体的・継続的な指導を行う。
- ③ 問題行動の実情に応じて適切な措置を行うことにより、他の児童生徒の教育を受ける権利の保障に努める。
- ④ 関連事業

ア 大分市小中学校生徒指導連絡会

各学校の生徒指導担当教員、関係機関による年4回の連絡会を開催し、各学校における生徒指導上の諸問題についての情報交換や事例研究、専門家による講演や研修等を通して指導力の向上を図るとともに、生徒指導の充実・推進に努める。

イ 大分市生徒指導研究会

市内小中学校の校長、生徒指導担当教員で組織され、生徒指導に関する実践上の諸問題について研究し、一人一人の児童生徒の能力・適性を生かし、自己実現を目指す生徒指導の充実・深化を目的とする。また、各学校や支部間並びに関係機関や諸団体との連携を密にし、校外生活における指導の充実を図る。

(2) いじめ・不登校等への対応について

- ① いじめや不登校等の問題については、早期発見及び適切かつ迅速な対処を基本に、教職員の資質の向上を図るとともに、関係機関とも連携協力し、児童生徒への一層充実した指導・援助や支援に努める。
- ② いじめ・不登校等、複雑多様化する問題に対応するため、エデュ・サポートおおいた（教育相談・特別支援教育推進室）をはじめとした相談体制の充実強化を引き続き図る。
- ③ 関連事業

ア 大分市小中学校教育相談担当者研修会

学校における教育相談体制の充実を図ることにより、いじめ・不登校等の諸問題の解決に資するための研修会を年3回開催する。

イ いじめ・不登校等対策協議会

○全市的ないじめ・不登校等の生徒指導上の問題行動についての状況分析と今後の対応について、医師・学識経験者・臨床心理士等の専門的

な見地からの意見を聞き、各学校への指導に資することを目的に年3回開催する。

- 小中学校における不登校児童への対応の充実と小中学校の連携を目的に、「小中連携支援シート」等の活用方法について検討する。

ウ スクールソーシャルワーカー活用事業

教育と福祉の両面に関して専門的な知識・技術を有している社会福祉士が、課題を抱える不登校児童生徒の環境に働きかけ、関係機関とネットワークを構築するとともに、保護者、教職員等に包括的な支援を行い教育相談体制の整備を図る。

(3) 青少年の健全育成・子どもの安全確保等、家庭・地域の教育力向上の取組について

- ① 大分市青少年健全育成連絡協議会や大分市青少年補導員連絡協議会との連携

ア 健全育成活動

- 1校区1特色活動の推進
- 各地区・校区における善行表彰
- 「こども連絡所」の維持・拡充
- すこやか大分っ子サポートパトロールへの支援

イ 社会環境浄化活動

- 環境実態調査の実施
- 有害環境の浄化活動

ウ 広報啓発活動

- 「家庭の日」（毎月第3日曜日）の推進・啓発
- 広報車による広報活動の実施

エ 補導活動

- 中央補導
 - ・午後補導（月10回）・夜間補導（月4回）
- 地区補導
 - ・校区の計画により月2回以上実施
 - ・すこやか大分っ子サポートパトロール
- 特別補導
 - ・地域行事にあわせて実施

- ② 「家庭の日」推進事業の開催

「家庭の日」の趣旨の理解と実践を図ることを目的として、昭和54年より実施してきた「家庭の日」推進大会を継続・発展させ、幅広く「家庭の日」の啓発とその推進を図るために「家庭の日」推進事業として「大分市『家庭の日』心育て講演会」及び「家族ふれあい宿泊自然体験事業」を実施する。

ア 「大分市『家庭の日』心育て講演会」

予定期日 平成27年10月24日（土）

予定場所 ホルトホール大分 大ホール

講演内容 親子・家族の絆について



H26年度の大分市「家庭の日」心育て講演会

イ 「家族ふれあい宿泊自然体験事業」

予定期日 平成27年12月19日（土）
～20日（日）1泊2日

場 所 大分市立のつはる少年自然の家

募集人数 中学生以下の子どもを含む
家族80名

事業内容 家族ふれあい宿泊自然体験活動

③ 子どもの安全見守りボランティア活動支援事業

幼児児童生徒を極力一人にしないという観点から、保護者や地域の協力を得ながら、安全な登下校方策を策定するとともに、地域のボランティアの方々の協力を得て「あいさつ」や「声かけ」等を行いながら、安全な登下校を見守る体制の構築を図る。

○ ボランティアとして保護者や地域の方々の協力を得て、登下校時における通学路のパトロールを実施する。

○ 見守り体制を示すことにより、犯罪抑止効果が期待できることから、見守りやパトロール等に参加する人や車両にタスキやマグネットシート等を貸与し、活用する。

※ボランティア登録者数31,271名(平成27年3月末現在)



下校時の見守り活動

(4) 学校問題解決支援事業について

① 目的

学校に係る問題について、保護者及び地域住民からの相談、苦情等に対し、専門的見地からの指導助言等による適切かつ迅速な対応を行うことにより、当該問題の解決が長期化・複雑化することを防止し、学校の本来の役割である子どもたちの学びと育ちの保障を実践するため、大分市学校問題解決支援チームを設置する。

② 構成

「チーム」は、弁護士、医師、臨床心理士からなる専門委員及び教育委員会各課担当職員からなる常任委員で構成する。また、定例会の資料作成及び保護者・地域からのチームへの直接相談を受ける担当として、校長OB・警察官OBからなる2名の事務局員（嘱託職員）を配置する。

③ 活動内容

ア 保護者、地域住民からの学校における学習活動、生徒指導の問題に係る苦情等への専門性をいかした対応策の検討

○学校、保護者への具体的な指導・支援

○学校と保護者の関係修復に向けた働きかけ

イ 月1回の定例会議を開催し、対応策を検討



定例会議

2 エデュ・サポートおおいた

所在地 大分市碩田町三丁目5番11号
 相談電話 533-7744(FAX538-3778)

(1) 重点事業

- ① いじめや不登校等の教育相談、障がいのある子どもの就学や教育に関する相談等、幼児・児童生徒・保護者・教職員の様々な悩みや相談に適切に対応する。
- ② 学校に行けない子どもたちの“心の居場所”教育支援教室「フレンドリールーム」及び「一尺屋オレンジルーム」で体験活動を重視した指導援助を行う。
- ③ 不登校をはじめとした生徒指導上の諸問題に対応するため、社会福祉士をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校に派遣する。
- ④ 家にこもりがちな不登校の子どもたちの家庭に、訪問相談員を派遣する。

(2) 事業内容

- ① 教育相談
 - ア 相談形態 電話・面接・訪問・巡回相談
 - イ 相談時間
電話受付（月曜～金曜）9：00～17：30
（土曜）9：00～16：45
来所相談（月曜～土曜）9：00～17：00（事前予約制）
- ② 教育支援教室「フレンドリールーム」

ア 支援方針
 不登校状態にある児童生徒に対し「心の居場所」としての役割を果たし、カウンセリングや体験活動等のきめ細やかな支援、家庭への適切な働きかけ等を行うことにより、学校復帰や社会的自立をめざすよう支援する。

- イ 活動日、時間及び活動内容
- 個別支援 月～金曜日 9：00～17：00
1週間に1回～1ヶ月に1回45分
カウンセリングや遊戯療法
 - 集団支援 月・水・金曜日 10：00～15：00

活動内容	
10：00	朝の会・学習活動
11：15	共同活動（自主活動）
12：00	昼食
13：00	自主活動（共同活動）
14：30	自主活動（共同活動）
15：00	清掃・帰りの会

- ウ 学校及び家庭との連携
- 担任連絡会
 - 保護者との面談・保護者会

- ③ 訪問相談
 - ア 訪問相談員 教育・心理・福祉領域を学んでいる大学生
 - イ 訪問時間 月曜日～金曜日 10：00～17：00
1回につき1～2時間
（訪問頻度や1回の時間は本人の状態や希望にあわせて選択）
- ④ スクールソーシャルワーカーの活用
 - ア 派遣校 不登校児童の多い小学校で、原則スクールカウンセラーが配置されていない学校
 - イ 内容
○いじめや不登校等の課題を抱える児童・保護者・教職員の相談を受ける。
○児童が置かれている家庭状況、生活環境、家族、友人、先生、地域への働きかけや関係機関とのネットワークの構築、及び学校内における教育相談体制の整備充実を図る。
- ⑤ 啓発活動
 - ア 親の会
○実施日 年4回
○内容 グループカウンセリング、研修
 - イ 教育センター通信によるお知らせ
 - ウ 相談員による公立幼稚園・小中学校への訪問

(3) 教育相談・特別支援教育推進協議会

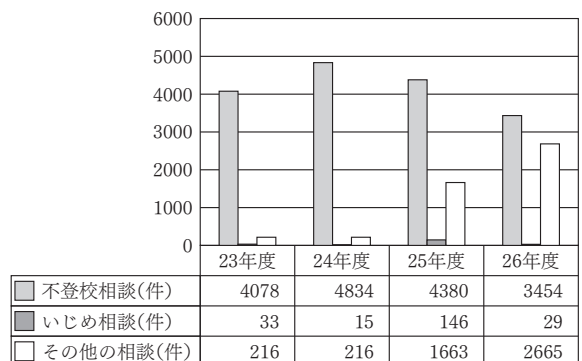
「エデュ・サポートおおいた」の運営にかかわる諸施策の推進及び幼児、児童生徒の指導・援助活動の充実を図る。

推進協議会委員

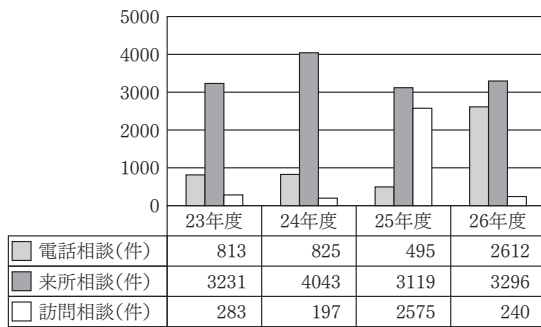
	職業等
医療関係者	小児科病院長
学識経験者	大学教授
学識経験者	大学教授
学識経験者	大学講師（社会福祉士）

(4) 相談件数の推移

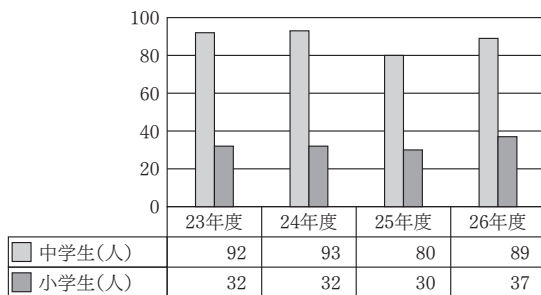
① 主訴別相談受付状況



② 相談方法別受付状況



③ フレンドリールーム利用状況



(5) 一尺屋オレンジルーム

所在地 大分市大字一尺屋2368-1
電話 575-8241
問合せ先 エデュ・サポートおおいた
電話 533-7744

① 開所の目的

不登校児童生徒の社会的自立に向けた指導援助を行う教育支援教室「フレンドリールーム」の活動を広げるため、平成17年度より、教室外活動の場として休校中の一尺屋小学校を改築し、一尺屋オレンジルームとして開所した。

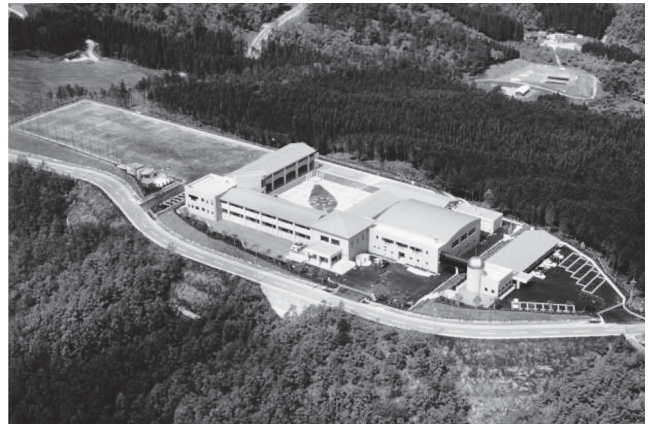
② 主な活動内容(予定)

活動内容	実施時期
地域の人との交流活動	7月・10月
宿泊体験	7月
菜園活動	年間
スポーツ活動	年間
調理活動	年6回
魚つり	6月・7月



地域の人との交流活動

3 大分市立のつはる少年自然の家



所在地 大分市大字荷尾杵1097番地の26
電話 097-589-2211
FAX 097-589-2221

(1) 施設の概要

大分市立のつはる少年自然の家は、大分市の南西約30km、市内霊山から障子岳、御座ヶ岳、鎧岳を経て神角寺に至る山岳地帯の標高約680mに位置している。眺望に恵まれ、東は四国、南は祖母・傾山、北は由布・鶴見岳から九重連山、西は阿蘇まで望むことができる。

周辺には、大分市から豊後大野市にわたる4,475haの広大な「県民の森」があり、「青少年の森」「平成森林公園」「神角寺展望の丘」のゾーンがあり、その中央に本施設がある。

- ① 宿泊定員 256人
- ② 敷地面積 28,289㎡
- ③ 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- ④ 建物延面積 5,327.58㎡

(2) 設置目的

大分市立のつはる少年自然の家は、恵まれた自然環境の中で、組織的・計画的に一定の教育目標を持って行われる自然体験活動をとおして、情操や社会性を豊かにし、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的として平成6年5月に設置された。また平成18年4月より、生涯学習の場として、広く成人団体や家族利用も開始した。

(3) 教育目標及び期待される成果

- ① 自然体験活動を通して、生命や自然の尊重、環境の保全への関心や理解を深める。
- ② 宇宙や自然の美しさ、雄大さに感動し、自然に親しむ心や豊かな感性を育てる。
- ③ 集団宿泊体験を通して規則正しい生活習慣を身につけるとともに、友情・規律・協力・奉仕の精

神を養う。

- ④ 野外活動などを通して、心身をたくましく鍛えらるとともに、自ら計画・実践し、創造することで自主性、協調性、社会性を育てる。
- ⑤ 自然への興味・関心を高め、自然を観察し、論理的な思考を行うことで、学力の向上に寄与する。
- ⑥ 平成森林公園などの周辺施設を活用した大分市民の健康づくり活動の拠点として協力することで、心身をリフレッシュし、健康・体力を維持増進することにも貢献する。

(4) 利用案内

- ① 利用できる人(大分市・豊後大野市大野町の住民)
 - ア 学校行事として利用する小学校、中学校及び特別支援学校の児童、生徒並びにその指導者
 - イ 少年団体及びその指導者
 - ウ 児童及び生徒並びにその家族
 - エ その他少年自然の家を利用することが適当と認められる青少年、成人等
- ② 休業日
 - ア 毎週月曜日
 - イ 国民の祝日に関する法律に規定する休日(その日が土曜日または日曜日に当たるときを除く)
 - ウ 年末年始(12月29日から翌年1月3日)
- ③ 利用期間、利用時間
 - 少年自然の家の宿泊研修は、1回の利用期間を3泊4日以内とし、日帰り研修は、午前9時から午後5時まで
- ④ 入所の手続き
 - ア 利用予定の月の6ヶ月前の月初めから10日前までに電話で申し込む
 - イ 申込代表者は利用日の1ヶ月前を目安に活動内容の打合せを行う
- ⑤ 必要経費
 - ア 食事代 朝360円 昼500円 夜710円
 - イ シーツクリーニング代 180円



素晴らしい眺めとシャンデリアのある食堂

ウ 施設使用料

- 中学生以下 無料
- 高校生以上 1人1泊510円 日帰り250円

(5) 施設の紹介

- ① 屋内施設
 - ア 宿泊室30(収容人員8人、101、102号室にスロープあり)
 - イ リーダー室4(収容人員4人)
 - ウ 食堂(収容人員252人)
 - エ 天体観測室及び天体ドーム(400mm反射式望遠鏡・100mm屈折式望遠鏡)
 - オ 体育室(バレーボールコート2面の広さ)
 - カ 多目的ホール、研修室、和室、談話図書コーナー、ラウンジ、屋上展望台、保健室、事務室
 - キ 浴室(大2、リーダー用2、障がい者用1)
- ② 屋外施設
 - ア 集いの広場
 - イ グラウンド(50m×120m少年用サッカーコート1面)
 - ウ ピロティ
- ③ 周辺環境
 - 平成森林公園(香りの広場、香りの森、桜の園、野鳥の森、ふれあいの森、育成の森、全国植樹祭記念広場)他



400mm反射式望遠鏡・100mm屈折式望遠鏡

主な活動

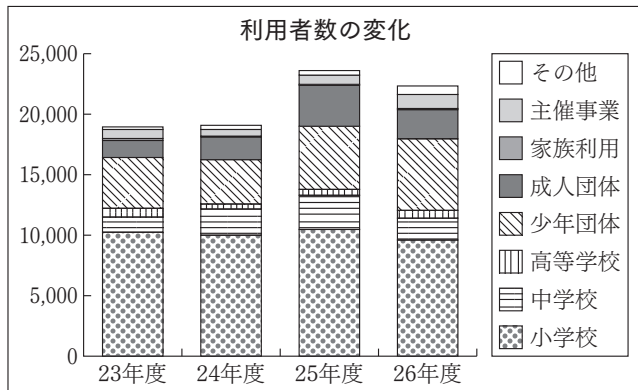
〈野外活動〉	〈屋内活動〉
登山	室内ハイキング
ウォークラリー	スポーツ活動
ネイチャーゲーム	レクリエーション活動
源流探検	〈制作活動〉
〈自然観察〉	ホットボンド工作
天体観測	竹箬作り
バードウォッチング	
動植物観察	



登山活動



源流探検活動



利用者数の変化

	23年度	24年度	25年度	26年度
小学校	10,268	10,003	10,480	9,598
中学校	1,229	2,145	2,812	1,802
高等学校	719	418	508	663
少年団体	4,232	3,664	5,218	5,890
成人団体	1,389	1,897	3,396	2,448
家族利用	148	22	46	70
主催事業	758	607	752	1,141
その他	212	297	363	739
合計	18,955	19,053	23,575	22,351

4 いまいち山荘



所在地 大分市大字今市1099番地の5

電話・FAX 589-2041

開所 平成7年4月

(1) 設置の目的

豊かな自然環境を生かし、青少年の健全育成及び社会教育の推進を図る。

(2) 利用案内

① 利用できる人

ア 大分市内に住所又は所在地を有する個人又は団体

イ 教育委員会が支障ないと認めた、市外に住所又は所在地を有する個人又は団体

② 休業日

ア 毎週月曜日（その日が国民の祝日に関する法律で定めた休日に当たるときはその日以降の最近の休日でない日）

イ 休日の翌日（その日が土曜日又は日曜日に当たる時は除く）

ウ 年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)

③ 利用手続き

利用希望日の6ヶ月前から予約又は申込を受け付ける。

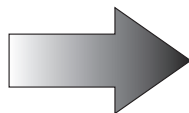
人権・同和教育

1. 平成27年度 主要な事業

(1) 人権・同和問題職員研修の推進

職員一人一人が、同和問題をはじめ様々な人権問題について正しく理解し、認識を深め、市内幼稚園・小・中学校、教育委員会各職場における人権・同和教育をより実効性のあるものとするために、年間を通して組織的・計画的に人権・同和問題職員研修を実施する。

4月・・・職員研修計画書の作成
各職場で研修を実施
3月・・・職員研修報告書の作成



・管理職が講師やアドバイザーに
・少人数による研修
・同和問題について学習を深める

(2) 「大分市人権・同和教育推進連絡協議会」の活動の推進

① 概要

- ・設 立 1977（昭和52）年度、事務局は大分市教育委員会人権・同和教育課
- ・構 成 「学校教育部会」「社会教育部会」「地域部会」「企業部会」の4部会で構成
- ・主な事業 講演会の開催、年4回会員研修、会員の県外視察研修、各団体の推進状況の交換、横断幕による市民啓発、市内中心部での啓発活動（8・12月）

② 加入団体の促進

平成25年度・・・94団体 ⇒ 平成26年度・・・96団体 ⇒ 平成27年度・・・99団体

(3) 「地区人権教育推進協議会・地区人権尊重推進協議会」の活動の推進

① 概要

地域が主体となって、人権が尊重される住みよい地域づくり、いわゆる「人権のまちづくり」に取り組んでいくことを目的とした組織

- ・現在設立されている人権協（平成23年をもって市内全地区に設置された）

【名 称】	【評議員数】	【発 足 年】
1. 南大分地区人権教育推進協議会	58名	（平成2年10月発足）
2. 大在地区人権教育推進協議会	54名	（平成11年8月発足）
3. 大南地区人権尊重推進協議会	51名	（平成14年2月発足）
4. 野津原地区人権教育推進協議会	43名	（平成17年1月発足）
5. 坂ノ市地区人権教育推進協議会	35名	（平成17年3月発足）
6. 佐賀関地区人権教育推進協議会	45名	（平成17年4月発足）
7. 西部地区人権教育推進協議会	71名	（平成20年2月発足）
8. 城東原川地区人権教育推進協議会	74名	（平成20年3月発足）
9. 南部地区人権教育推進協議会	67名	（平成20年3月発足）
10. 鶴崎地区人権教育推進協議会	57名	（平成20年3月発足）
11. 明野地区人権尊重推進協議会	65名	（平成20年11月発足）
12. 大分中央地区人権尊重推進協議会	42名	（平成22年2月発足）
13. 植田地区人権尊重推進協議会	102名	（平成23年3月発足）

- ・主な事業 講演会の開催、評議員研修、地区懇談会、評議員の県外視察
横断幕や立て看板、チラシによる市民啓発、会報の発行等

② 地区懇談会の拡充

各地区人権協毎に実施している少人数による地区懇談会の回数増と内容の充実を図る

2. 学校教育

(1) 教職員研修

- ① 基本研修・・・対象者別の人権・同和教育研修を行い、職務遂行に必要な知識・技能の習得を図る

研 修 名	対 象 者	内 容
初任者研修	初任者	講義・演習・協議
5年目研修	5年目教諭	講義
10年経験者研修	11年目教諭	講義・演習・協議
臨時講師研修	臨時講師	講義
学校事務職員研修	小・中学校事務職員	講義

- ② 専門研修・・・人権・同和教育の視点に立った講義や講演を通して、指導者としての資質の向上を図る

研 修 名	対 象 者	内 容
人権・同和問題校長研修	校長	講演
人権・同和問題教務主任等研修	教務主任等	講演
人権・同和教育実践講座	小・中学校教諭	講演・演習 (※)
人権・同和教育推進校校長研修	人権・同和教育推進校校長	研究協議
人権教育主任研修	人権教育主任	講演・研究協議
人権・同和問題学習講座	小・中学校教諭等	講演

(※) 過去の講師名

年度	講 師 名	職 名
19	松 村 智 広	反差別・人権研究所みえ主任研究員
20～22	住 本 健 次	仮説検証授業研究会会員
23	神 野 ちどり	東大阪市立枚岡東小学校校長
	永 田 忠 道	大分大学教育福祉科学部准教授
24	園 田 久 子	福岡県人権研究所理事
	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
25	明 石 一 朗	大阪府貝塚市立東小学校校長
	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
26	島 袋 純	琉球大学教授
	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
27	永 田 忠 道	広島大学大学院教育学研究科准教授
	桑 原 敏 典	岡山大学大学院教育学研究科教授

(2) 「大分市人権・同和教育研究会」との連携

① 概要

- ・昭和52年発足、現在会員数2,446名
- ・研究主題 人権意識を高め、部落問題をはじめとするあらゆる差別の解決を志向する教育の創造と実践

② 主な事業

- ・人権・同和教育研修会・・・各学校(園)の人権教育主任で構成、年3回開催
- ・夏期研修会・・・夏季休業中に開催、各学校(園)の教職員や保護者約500名が参加
- ・実践交流会・・・幼稚園、小学校、中学校にそれぞれ拠点校(園)を定め、9月から11月に開催し、実践の交流を図る。

(3) 人権・同和教育推進モデル校

人権・同和教育の指導方法等の在り方についてモデル校を指定し、実践的な研究を行う。さらに、その研究成果を大分市内の各学校に広げることにより、市内各小中学校における人権・同和教育の一層の推進を図る。

(4) じんけんハンドブック『明るい未来のために』

- ・発 行 毎年1回
- ・配布対象 小学校6年生・中学校2年生

3. 社会教育

(1) 市民啓発講演会

① 企業・行政職員対象

年度	講師名	所属・職名等
19	田中 昭紘	(財)大阪生涯職業教育振興協会理事 会長
20	武石 博	福岡市長尾校区おやじの会会員
21	角岡 伸彦	ノンフィクションライター
22	渡辺 律子	ハイパーネットワーク社会研究所 研究企画部長
23	竹内 良	元(株)JFEスチール人権啓発室室長 東京人権啓発企業連絡会専務理事
24	北口 末広	近畿大学教授
25	稲積謙次郎	福岡県人権施策推進懇話会会長
26	中山 洋一	シンガーソングライター
27	中倉 茂樹	徳島県人権エンタメ集団「友輝」

② P T A・行政職員対象

年度	講師名	所属・職名等
19	川口 泰司	山口県人権啓発センター事務局長
20	内田美智子	助産師 九州思春期研究会 事務局長
21	佐藤 剛史	九州大学助教
22	坂本 義喜	熊本県内 食肉加工センター 職員
23	園田 雅春	大阪教育大学教授
24	中山 洋一	シンガーソングライター
25	中倉 茂樹	徳島県人権エンタメ集団「友輝」
26	明石 一朗	関西外国語大学教授
27	劇団 「一人ぼっち」	福岡市人権啓発講師団 福岡市長尾校区おやじの会会員

(2) 地区公民館での人権講座・講演会（平成27年度）

地区公民館	事業内容
大分中央公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
大分西部公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権教育講演会」
大分南部公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
南大分公民館	「暮らしの中の人権講座」「子どもの人権教室」「人権を考える講演会」 「人権・同和問題専門講座」「みなみおおいたコミュニティーひろば」
明治明野公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権のまち明野フェスタ」「人権講演会」
鶴崎公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
大南公民館	「大南人権セミナー」「人権・同和問題専門講座」「人権教育講演会」
植田公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
坂ノ市公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権講演会」
大在公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」 「人権教育講演会」「じんけん子ども会議」
大分東部公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権子どもアニメ劇場」「人権講演会」
野津原公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「夏休み子ども人権教室」「人権講演会」
佐賀関公民館	「暮らしの中の人権講座」「人権・同和問題専門講座」「人権教育講演会」

※上記以外に校区公民館とも連携し、人権・同和問題を学ぶ教室や講座を開く

(3) 各種団体との連携

- ① 大分市人権・同和教育推進連絡協議会の企画・実施（※平成27年度主要な事業参照）
- ② 地区人権教育推進協議会・地区人権尊重推進協議会への指導・助言（※平成27年度主要な事業参照）
- ③ 人権フェスティバル実行委員会への参画
- ④ 大分市P T A連合会との連携・・・「草の根じんけん懇談会」の実施

(4) 行政職員対象研修会

- ① 公民館長・主事研修会・・・年1回
- ② 社会教育指導員研修会・・・年10回

4. 人権啓発

(1) 啓発委員会

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を解決するための効果的な啓発のあり方を検討するために設置

- ・ 人権・同和問題に関する有識者等で組織
- ・ 年8回開催
- ・ 学習資料「じんけん」及び啓発資料「みんなのねがい」について

(2) 啓発活動

- ・ 8月・・・横断幕、のぼり、人権標語募集、街頭啓発
- ・ 12月・・・横断幕、街頭啓発、人権パレード、人権フェスタ

(3) 啓発資料

① 学習資料「じんけん」

- ・ 発行 毎年1回
- ・ 配布対象 小・中学校1年生保護者
- ・ 配布時期 4月

② 「みんなのねがい」

- ・ 発行 毎年2回
- ・ 配布対象 市内全戸
- ・ 配布時期 10月・3月

③ 「じんけんハンドブック『明るい未来のために』」

- ・ 発行 毎年1回
- ・ 配布対象 小学校6年生児童・中学校2年生生徒
- ・ 配布時期 4月

④ 「人権・同和教育シリーズ」

- ・ 掲載 毎月1回（年12回）、市報15日号に掲載
- ・ 配布対象 市内全戸

⑤ 「じんけんカレンダー」

- ・ 発行 平成28年3月（平成28年度用）
- ・ 配布対象 幼稚園、小・中学校、各教育機関・施設



スポーツ振興

1 主要な事業

(1) 生涯スポーツの推進

① 総合型地域スポーツクラブ

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」スポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現と地域コミュニティづくりを目指して「総合型地域スポーツクラブ」の創設・育成に努めている。

クラブ名	設立年月日
NPO法人七瀬の里Nクラブ (野津原地区)	H16.4.29
ひしのみクラブ (金池、荷揚、長浜、中島、住吉校区)	H19.3.25
NPO法人川添なのはなクラブ (川添校区)	H19.3.31
NPO法人わいわい夢クラブ (東大分校区)	H19.4.28
NPO法人賀来衆倶楽部 (賀来校区)	H20.3.23
NPO法人おおみちふれあいクラブ (大道校区)	H20.3.30
みんなの明治クラブ (明治地区)	H23.3.26
OZAI元気クラブ (大在地区)	H23.3.26
明ゆうクラブ (明野地区)	H23.3.26
西の台あいあい倶楽部 (西の台校区)	H24.3.24
わさだ夢クラブ (植田校区)	H24.11.1
判田すこやか倶楽部 (判田校区)	H25.3.16
NPO法人滝尾百穴クラブ (滝尾地区)	H26.3.2

② 大分市スポーツフェスタ

広く市民にスポーツを行う機会を提供することで、スポーツに親しみながら心身の健康づくりと体力の増進に努めるきっかけとするとともに、世代を超えた交流を推進するために実施する。

③ 校区・地区体育協会

43校区・地区の体育協会が構成され、各種スポーツ事業の企画・運営にあたり、スポーツ推進委員等と協力しながら、スポーツの普及を図っている。

④ スポーツ推進委員

43校区・地区から選出された209名で構成され、各種スポーツ実技指導やスポーツ事業への協力などを通して、スポーツの振興にあたっている。研究大会にも参加し、指導力の向上を図っている。

⑤ 大分市主催事業

各校区・地区の生涯スポーツの振興と他校区・地区との親睦・交流を図るため各種スポーツ行事等を実施。

ア 第30回ブロック別女性バレーボール大会

市内5ブロックで、49チーム518名が参加して実施。

	1位	2位	3位
Aブロック	明治A	明治B	大在・別保
Bブロック	桃園	滝尾A	東大分A・東大分B
Cブロック	中島A	WINSOUT	ワンダフル
Dブロック	南大分	城南	荏隈・春日町
Eブロック	富士見	眠グリーンハイツ	スマイル

イ 第39回校区・地区対抗軟式野球大会

21校区・地区21チーム約600名の参加で実施。

1位 滝尾 2位 西の台 3位 寒田・大在

ウ 第38回校区・地区対抗卓球大会

34校区・地区52チーム520名の参加で実施。

A級 1位 明野A 2位 坂ノ市A
3位 大在A・別保A

B級 1位 滝尾A 2位 寒田A
3位 東大分A・春日

C級 1位 植田 2位 鶴崎A
3位 金池B・敷戸

エ 第16回校区・地区対抗シニア卓球大会

23校区・地区34チーム277名の参加で実施。

A級 1位 明治A 2位 金池A
3位 寒田A・南大分A

B級 1位 東大分 2位 西の台B
3位 敷戸・明野B

オ 第38回校区対抗ナイターソフトボール大会

38チーム約1,000名の参加で実施。

1位 東大分 2位 大在西B
3位 明治北A・明野西A

カ 第14回校区・地区対抗夢ボール大会

24チーム192名の参加で実施。

1位 宗方 2位 敷戸 3位 松岡・鶴崎

キ スポーツ教室

・中高年スポーツ教室

住吉・・・ミニバレー 17名参加

東大分・・・卓球 16名参加

明治・・・夢ボール 30名参加



スポーツ推進委員研修会

スポーツ振興

- ・青少年スポーツ教室
日岡・・・ドッジボール 34名参加
東大分・・・バレーボール 16名参加
大在・・・ソフトテニス 30名参加
賀来・・・タグラグビー 30名参加
荷揚・・・野球 19名参加
- ・体力テスト
長浜、宗方、横瀬、大在、南大分の5校区・地区で実施。

⑥ 県民すこやかスポーツ祭

だれもが気軽に、自主的に参加できるスポーツ大会を開催し、地域・世代間交流を図ることを目的に実施。大分県内の会場において、32種目が開催された。

⑦ 校区・地区体育協会事業

ア 運動会、体育祭

5月、10月を中心に23の校区・地区体協で実施。どの校区・地区においても積極的に市民が参加し、世代を超えた交流が行われている。中でも、明野・明治地区、大在校区は、2,000人以上の参加を得て盛大に開催されている。

イ 球技大会

バレーボール、ミニバレーボール、ソフトボール等を中心に多くの校区・地区で実施され、多くの市民がスポーツを楽しんでいる。

ウ その他

少年少女スポーツ大会、ニュースポーツ大会、駅伝大会等が実施されている。

⑧ スポーツ少年団活動

少年期よりスポーツを愛好することは、スポーツ体験を通して心身ともに健全な育成が図られ、「体づくり」、「心づくり」、「仲間づくり」ができ、生涯にわたってスポーツに親しむきっかけづくりとなり、その基礎を培うものである。

ア 大分市全国交流大会

大分市スポーツ少年団に登録の全団が一堂に

会し、レクリエーション活動を通して他団体との交流を深め、お互いの親睦と友情の輪を広げるため実施している。

※平成26年度は雨天のため中止

イ ボランティア活動(清掃活動チャレンジデー)

清掃奉仕活動を通して自然環境に対する関心を高め、勤労の喜びを体験するため実施。

(平成26年度参加申し込み)

・指導者、母集団 1,265名

・団員 1,934名

ウ 国際交流活動

8月1日～8月18日の18日間、ドイツのバイエルン州に、北島亜恵さんと渡部愛美さん(ともに敷戸育泳会)を日本スポーツ少年団の代表として派遣した。

エ 研修会・講習会

各種研修会・講習会を開催し、指導者の指導力向上を図るとともに、リーダースクールに積極的に参加し、中堅となる少年リーダーとしての資質の向上を図っている。

・指導者、育成母集団研修会130名参加

・認定員養成講習会107名参加

・シニアリーダースクール(静岡県)1名参加

・ジュニアリーダースクール48名参加

(のつはる少年自然の家)



スポーツ少年団活動(指導者・育成母集団研修会)

【平成26年度 各競技別加入状況（H27.3.31現在）】

《資料》

	競技名	団数	男子 団員数	女子 団員数	指導者	計
1	野 球	48	1,155	76	329	1,560
2	サ ッ カ ー	43	1,264	89	179	1,532
3	バレーボール	23	56	210	61	327
4	ミニバスケット	21	317	246	88	651
5	空 手 道	19	198	93	49	340
6	フットベース	3	0	36	8	44
7	ハンドボール	7	75	63	20	158
8	ソフトボール	10	127	28	54	209
9	バドミントン	9	128	245	30	403
10	新 体 操	3	0	135	16	151
11	体 操	2	35	55	14	104
12	少林寺拳法	3	21	5	6	32
13	水 泳	3	41	48	17	106
14	シ ン ク ロ	1	0	3	3	6
15	陸 上	3	158	123	37	318
16	剣 道	2	42	14	13	69
17	卓 球	2	13	9	8	30
18	な ぎ な た	1	0	10	8	18
19	合 気 道	1	27	14	4	45
20	ド ッ ジ	1	11	5	5	21
	合 計	205	3,668	1,507	949	6,124

＜新規登録団体＞

- ・横瀬西SFC
- ・少林寺拳法 大分碩田
- ・東植田ブルーサンダース

(2) 競技スポーツの振興

大分市体育協会に属する51の競技団体を中心に、県民体育大会や県内一周駅伝大会等への参加をはじめ、各競技団体主催の大会等をとおして競技力の向上を目指している。

① 各種大会及び成績

ア 第67回大分県民体育大会

- ・期 日 平成26年9月13日(土)～15日(月)
- ・会 場 久大ブロックを中心に県下各会場
- ・総合成績 優勝 得点435.5点
連続35回 通算60回

・優勝競技と優勝回数

種 目 名	連続	通算	種 目 名	連続	通算
陸 上	6	42	山 岳	3	20
卓 球	2年ぶり	42	柔 道	5年ぶり	28
体 操	8	32	剣 道	7年ぶり	26
バスケット	17	39	ライフル射撃	7	10
弓 道	8	26	ソフトボール	3年ぶり	12
自 転 車	8	35	ス キ ー	2年ぶり	20
ソフトテニス	6	48	ゴ ル フ	10	21
水 泳	2	41	ラグビーフットボール	2	47
軟式野球	2	22	サ ッ カ ー	2	25
空 手	2年ぶり	10	ウエイトリフティング	2	10
カ ヌ ー	2年ぶり	19	レスリング	2	2

イ 第57回県内一周駅伝競走大会

- ・期 間 平成27年2月23日(月)～27日(金)
- ・会 場 県内各地 39区間 391.3km
- ・総合成績 優勝 20時間51分42秒
6年連続 通算37回

(区間賞25個)

福島 弘樹 (日本文理大学)

1日目3区・3日目2区・4日目1区

難波 祐樹 (大分東明高校職)

1日目4区・3日目7区・5日目5区

大竹 宏和 (日本文理大学)

1日目6区・3日目1区

平田 洋一 (九州電力)

1日目8区・5日目10区

宇都 寿哉 (大分市消防局)

2日目2区・4日目7区

神志那優輝 (大分市消防局)

2日目4区

畑山 修生 (日本文理大学)

2日目6区(区間新)・3日目4区(区間新)

生橋 直樹 (博愛病院)

3日目3区

河崎 彰史 (日鉄住金)

3日目5区

村山 知之 (オーソリティ)

3日目8区

宮本 剛志 (大分市消防局)

4日目3区・5日目1区(区間新)

増田 悠大 (日本文理大学)

4日目4区・5日目2区

金澤 健 (大分県庁)

4日目5区(区間新)・5日目4区

後藤 航大 (東植田小学校職)

4日目6区

スポーツ振興

② 市民栄誉賞・市長表彰

県大会などの予選による全国への代表権を獲得し、全国規模の大会で優勝するなど、優れた成績・成果をあげた団体・個人を顕彰している。

【平成26年度市長表彰受賞者】

《資料》

1	野中 雅浩 大分工業高等学校	第29回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会 男子105kg級
2	清田 栞那 大分雄城台高等学校	シンガポール・ナショナルエージグループ選手権 女子15歳～17歳100mバタフライ
3	菅野 遼 明野中学校	第37回JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 男子200m自由形
4	廣道 純 プーマジャパン株式会社	インチョン2014アジアパラ競技大会 陸上競技男子800メートルT53
5	川野 尚美 大分雄城台高等学校	JOCジュニアオリンピックカップ 日本ジュニア・ユース陸上競技選手権大会 第30回日本ジュニア陸上競技選手権大会 女子砲丸投
6	瓜生 陽 城東中学校	第27回全国少年フェンシング大会 フルーレ団体戦
7	小野 知大 坂ノ市中学校	第45回ジュニアオリンピック陸上競技大会 Aクラス男子3000m

(3) スポーツ施設の整備

大分市営陸上競技場の耐震補強工事及びシャワー室の改修工事を行った。

また、日吉原テニスコートの人工芝張替工事、南大分プールの貯水槽改修工事を行った。

なお、社会体育施設の料金並びに利用者は、次のとおりである。

(施設の使用料金)

球場・グラウンド	1時間	1面	310円	
小・中学校グラウンド	1時間	1面	50円	
夜間照明	1時間	1回	1,600円	
(西部スポーツ交流ひろば第1G)	1時間	1回	1,130円	
(西部スポーツ交流ひろば第2G)	1時間	1回	1,600円	
テニスコート	1時間	1面	160円	
ナイター	1時間		210円	
ソフトボール場	1時間		310円	
体育館	1時間	全面	430円	
(日吉原)		半面	210円	
(田中)	《照明》	全面	430円	
		半面	210円	
河川敷グラウンド			無 料	
南大分スポーツパーク	体育館	1時間	全面	1,510円
			半面	750円
	《照明》	全面	1,510円	
		半面	750円	
プール	1人 1回	大人	160円	
		(回数券あり) 高校生	70円	
		幼・小・中学生	40円	
夜間照明 (グラウンド)	2/3点灯以上		2,280円	
	1/2点灯以上2/3点灯未満		1,600円	
	1/2点灯未満		1,130円	
日吉原レジャー プール	1人1回	大人	520円	
	(回数券あり)	高校生等	420円	
		小・中学生	320円	
		幼児	100円	
温水プール	1人1回	大人	温水 320円	
	(回数券あり)	平常	160円	
		高校生等	温水 160円	
		平常	70円	
		幼・小・中学生	温水 70円	
		平常	40円	

(施設利用状況)

平成26年度

区 分	施 設 名	施 設 の 内 容(※鍵の受渡場所)	利用者数
野 球 場	舞鶴球場	2面バックネット2基ナイター設備8基	10,100㎡ 64,701人
	桃園球場	1面バックネット1基	7,220㎡ 12,596
	松栄山球場	1面バックネット1基	13,000㎡ 6,264
	松原球場	東西各1面バックネット各1基	東8,530㎡ 西7,878㎡ 12,457
	日吉原球場	1面バックネット1基ナイター設備、放送設備	8,889㎡ 12,502
	野津原球場	第1球場、1面バックネット1基ナイター設備6基 第2球場、1面バックネット1基	12,600㎡ 6,000㎡ 12,686 2,820
ソフト場	向原ソフト場	1面バックネット1基	5,600㎡ 1,884
多目的運動広場	鶴崎公園グラウンド	1面バックネット1基ナイター設備4基	6,016㎡ 11,349
	七瀬川公園グラウンド	1面バックネット1基、サッカーゴール2組	14,000㎡ 14,405
	西部スポーツ交流ひろば	バックネット2基、サッカーゴール4組、ナイター設備	22,388㎡ 49,466
	鶴崎スポーツパークグラウンド	1面バックネット1基	8,908㎡ 6,165
	南大分スポーツパーク内グラウンド	(野球、ソフト、サッカー)、ナイター設備8基	12,848㎡ 65,362
	田中グラウンド		34,555
	野津原グラウンド	サッカーゴール1組	11,200㎡ 7,526
	国分多目的運動広場	1面バックネット1基	8,387㎡ 8,170
	大分東部公民館市民運動広場	サッカーゴール1組	8,313㎡ 15,230
	日岡グラウンド	2面バックネット2基ナイター設備6基	17,816㎡ 7,997
弁天島グラウンド	1面	8,530㎡ 11,835	
大在東グラウンド	2面	27,998㎡ 11,626	
学 校 開 放 ナ イ タ ー 設 備	大在中学校	1面バックネット1基ナイター設備4基	1,137
	戸次中学校	1面バックネット1基ナイター設備4基	1,924
	植田西中学校	1面バックネット1基ナイター設備4基	1,826
	田尻小学校	1面バックネット1基ナイター設備6基	4,807
陸上競技場	市営陸上競技場	メインスタンド4,441人、芝生スタンド11,500人、第1種公認全天候ウレタン舗装400m9コース、合宿設備、雨天練習場、トレーニングルーム	102,882
相 撲 場	駄原相撲場	収容人員200人	(※駄原管理棟) 250
弓 道 場	鶴崎弓道場	近的5人立	(※鶴崎公民館) 1,718
	日吉原弓道場	55㎡、近的5人立	(※日吉原体育館) 60
プ ー ル	桃園公園プール	屋外鋼板製25m×12m	1,702
	向原公園プール	屋外鉄筋コンクリート製 大プール25m×12m、小プール	1,915
	三佐伸よしプール	屋外アルミ製 流水プール450㎡、小プール95㎡	8,010
	家島西児童公園プール	屋外鉄筋コンクリート製 大プール25m×11.5m、小プール23㎡	1,648
	大在公園プール	屋外アルミ製 大プール1,300㎡、小プール304㎡	20,120
	南大分温水プール	移動屋根式、鋼板造、大プール25m×12m、小プール13m×5m	64,067
	市営温水プール	25mプール公認コース(8コース) 幼児用プール、観客席310席	120,677
	植田ふれあい公園プール	屋外ステンレス製、大プール25m×13m、小プール13m×5m	5,796
日吉原レジャープール	流水プール、ウォータースライダー、大プール25m×12m、子供プール	37,920	
テニスコート	駄原テニスコート	10面 放送設備、更衣室、人工芝コート	(※駄原管理棟) 86,241
	日岡テニスコート	4面 人工芝コート	(※大分東部公民館及び市営陸上競技場) 17,234
	桃園テニスコート	3面 人工芝コート	(※大分東部公民館及び市営陸上競技場) 13,914
	舞鶴テニスコート	4面 人工芝コート、ナイター設備	(※市営陸上競技場) 72,623
	日吉原テニスコート	3面 人工芝コート	(※日吉原体育館) 9,489
	向原テニスコート	2面 人工芝コート	(※大分東部公民館及び市営陸上競技場) 10,095
	南大分スポーツパークテニスコート	2面 クレーコート	(※南大分体育館) 7,771
鶴崎スポーツパークテニスコート	5面 人工芝コート	24,117	
ラ グ ビ ー	駄原球技場	15,270㎡本部席鉄筋平屋建、収容人員15,000人、更衣室	9,760
柔 剣 道 場	コンパルホール	305㎡、鉄筋コンクリート造	27,526
体 育 館	日吉原体育館	1,793㎡、鉄骨造	37,962
	コンパルホール	体育室1,685㎡、トレーニングルーム、卓球室、幼児体育室、体力相談室	115,917
	南大分体育館	体育室3,790㎡、トレーニングルーム、オリエンテーション室、体力測定室	114,923
	大分東部公民館市民体育館	1,401㎡鉄骨造	41,088
田中体育館	802㎡鉄骨造	4,969	

生涯学習

1 平成27年度 主要な事業

(1) 生涯学習支援体制の整備

① 生涯学習情報の提供について

ア 「まなびのガイドブック（人材編）」の更新
市民の多様な学習活動を支援するため、豊かな経験や知識、技能を有する市民を「生涯学習指導者」と位置づけ（生涯学習指導者登録制度）、分野別に指導内容、指導対象などの情報を提供する。

イ 「まなびのガイドブック（施設編）」の更新
市民の生涯学習推進のため、市内各施設の情報を提供する。

ウ 生涯学習ポータルサイト「まなびのガイド」の公開

大分市の生涯学習に関する様々な情報を提供するインターネット・サイト。トピックス、イベント、教室・講座、指導者、教材、団体・サークル、施設などが簡単に検索できる。また、大分市の文化、教育、歴史、美術、建物・建築、地理・自然、観光、生活に関する画像や動画などのデジタル資料を納めた「まなびのデジタル資料館」を有する。

<http://www.manabi-oita.jp>

② 豊の都市校区ひとづくり推進事業

あいさつに一言をプラスして会話へと広げ、人と人との絆を深めることで、地域ぐるみの子育てに取り組む機運の醸成を図る「あいさつOITA+1運動」を展開する。子どもを中心とした地域の人々に積極的にあいさつ・声かけをする取り組みを全市的に展開することで、地域ぐるみの子育てのネットワークを構築する。

平成27年度は、「あいさつOITA+1運動」で高まった地域ぐるみの子育ての機運を、自主的

な地域の子育てネットワークの再構築へとつなげていくための地域支援を推進する。

③ 大分市子どもの読書活動の推進

本市では、国や大分県が策定した計画を踏まえ、「大分市子どもの読書活動推進計画」を策定し、行政、学校、保育所（園）・幼稚園、地域・家庭が相互に連携、協力しながら、子どもの読書活動を推進している。

平成27年度は、第2次計画の最終年度にあたり、これまでの計画における取組の成果と課題を踏まえ、新たに大分市における子どもの読書活動を総合的かつ計画的に推進するために「大分市子どもの読書活動推進計画（第三次）」を策定する。

(2) 地域子ども教育の推進

① おおいたふれあい学びの広場推進事業

地域住民や団体・グループ等が、自己の学習成果や経験・伝承をいかして、学校を中心とした身近な場所で、子どもの体験活動を中核とした事業に取り組み、子どもと地域住民の交流を図ることにより、子どもの社会性を養うとともに地域で子どもの体験活動を支えていこうとする体制作りを推進する。

○平成26年度 のべ参加人数 30,877人

地区公民館主体型 37校区

地域主体型 27校区

② 体験・楽習・すこやか講座事業

地区公民館エリアの各種団体と連携・協力して子どもの体験活動の充実をめざすとともに、地域ぐるみの青少年の健全育成の推進を図り、新たな地域づくりを進める。



あいさつOITA+1運動



体験・楽習・すこやか講座事業

【平成27年度「体験・楽習・すこやか講座事業」実施計画一覧】

公民館	事業名	期 日	内 容	実行委員加入団体
大分中央	わくわく体験教室	平成27年 11月29日(日)	○グラウンド・ゴルフ大会 ○カレーライス会食	老人会、青少年健全育成連絡協議会、生涯学習推進担当者、地域ボランティア他
大分西部	わくわく ワンダーランド	平成27年 8月22日(土)	○竹工作 ○郷土料理 ○国際交流活動	老人会、青少年健全育成連絡協議会、PTA協議会、わくわくボランティア、中学生、担当教師、地域指導者
大分南部	N A N B U せせらぎスクール	平成28年 1月23日(土)	○環境学習・自然保護運動・地域調べなどの活動の発表会	ふるさとの河川浄化推進連絡協議会(自治委員連絡協議会、ふるさとづくり運動推進協議会、青少年健全育成協議会、各校区の河川を守る団体、老人会、小中学校、PTA、大学)、NPO法人せせらぎの会
南大分	みなみおおい たこあげ大会	平成27年 12月12日(土)	○たこづくり ○たこあげ大会 ○豚汁などを食べながらの三世代交流	老人クラブ、青少年健全育成連絡協議会、PTA協議会、畑中パソコンクラブ、自治会、地域ボランティア
大分東部	子どもフェスタ 2015	平成27年 10月18日(日)	○子どもの広場 (昔の遊び体験・木工作体験) ○子ども玉入れ大会 ○読み聞かせ	自治委員協議会、城東原川地区公民館連絡協議会、老人会、小中学校PTA、青少年健全育成連絡協議会、体育協会、民生児童委員、子ども会代表
明治明野	とびだせ! 明明 わくわくランド	平成27年 8月22日(土)	○缶めし作り ○カレー作り ○野外活動(ポイントラリー)	明野スカウト会 明治地区婦人会 明野地区婦人連絡会 地域指導者
鶴 崎	昔のあそび体験	平成27年 10月24日(土)	○コマ回し ○メンコ ○ゴム跳び ○おはじき ○おてだま ○たこあげ ○水鉄砲 ○竹とんぼ	鶴崎地区PTA協議会、鶴崎地区地域婦人団体連合会、小さな親切運動鶴崎支部、鶴崎おどり保存会、鶴崎地区老人クラブ連合会、鶴崎地区青少年健全育成連絡協議会、鶴崎芸能文化協会、鶴崎地区ふるさとづくり運動推進協議会、鶴崎地区クリーン運動推進協議会、鶴崎地区自治会連合会、大分海洋少年団、鶴崎地区校区公民館、鶴崎地区小中学校
大 南	体験合宿 in 大南	平成27年 10月10日(土)、 11日(日)	○野菜収穫体験 ○伝統文化体験 ○飯盒体験 ○国際交流活動 ○歴史探訪	青少年健全育成連絡協議会、公民館事業運営協力者、生涯学習推進担当者、戸次校区食生活改善推進協議会、戸次校区ふるさとづくり運動推進協議会
植 田	わさだっ子 科学教室	平成27年 10月31日(土)	○おもしろ科学実験	植田地区教育懇話会、植田地区社会教育連絡協議会
坂ノ市	第20回日吉原 ふるさと コンサート	平成27年 8月29日(土)	○作詞・作曲コンクール表彰式 ○オペラコンサート ○出演者と来場者による唱歌の合唱	坂ノ市地区小中学校、坂ノ市地区小中学校PTA、坂ノ市地区青少年健全育成協議会、地域音楽指導者、大分東高校
大 在	21Cのびのび 大在っ子体験塾	平成27年 7月8日(水) ~11日(土)	○3泊4日の通学合宿 ○ものづくり ○食事作り ○飯盒体験 ○伝統文化体験 ○ボランティア活動	地区ふるさとづくり運動推進協議会、地区青少年健全育成協議会、地区婦人会、地区公民館、大在小PTA、大在西小PTA、地区芸能文化協会、地区老人クラブ連合会、楽寿会、校区ボランティアの会、地区民生委員協議会、大在ライオンズクラブ、大在小、大在西小
佐賀関	関崎シーサイド ウォーキング	平成28年 2月27日(土)	○自然の中でウォーキング ○ネイチャーゲーム ○海岸清掃 ○唱歌	社会教育関係団体、地元有志
野津原	野津原郁々堂 (いくいくどう)	平成27年 11月5日(木)	○肥後街道ウォーキング	野津原地区小・中学校長、生涯学習推進担当者、野津原ボランティアガイド・地域協力者

(3) 家庭教育の充実

① 家庭教育支援事業

近年の少子化、核家族化、価値観の多様化等の社会変化に伴い、過保護や過干渉、育児不安の広がりや、しつけへの自信喪失など家庭教育力の低下が指摘されている。このため、家庭教育に関する学習機会の提供や、子育てに関わる指導者の養成などを通じて、家庭教育の充実を図る。

ア 「絵本の広場」

1歳6か月児健康診査と3歳児健康診査における本との出会いを通して、親子の絆づくりを支援するために、良書等の情報を提供するとともに読み聞かせの意義や方法についての学習の場を提供する。

(3歳児健康診査については中央保健センターのみ実施)

イ 「乳幼児家庭教育学級」

子育てに対する悩みや不安を持つ親が増加する中、地域で子どもを育てるためのネットワークづくりを推進し、子どもの発達や心理、遊び等について学習する機会を提供して、家庭教育力の充実を図る。

- 地域の親または子ども同士の交流を通して、情報交換や仲間づくりをする。
- 子どもの発達や子育てのあり方について学習する。
- 地域の実情やニーズに合わせ、公民館や近隣の公園等地域の施設を活動場所とする。

平成26年度 乳幼児家庭教育学級事業参加状況

公民館	学 級 名	回数	参加人数
大分中央	スマイル子育てひよこの森	10回	31人
大分西部	ママとぐうちょきばあ	12回	29人
大分南部	すくすく子育て広場	11回	25人
南 大 分	にこにこクラブ	10回	54人
大分東部	にこにこひよこクラブ	10回	28人
明治明野	カンガルーポケット	10回	26人
鶴 崎	子育て広場“めだかクラブ”	10回	25人
大 南	子育てネットクラブ	15回	20人
植 田	天使の子育て・すなっぴーきっず	80回	101人
坂ノ市	子育てサポート“ポケット”	8回	18人
大 在	すくすく食育講座	9回	12人
佐 賀 関	ぶりっ子くらぶ	10回	16人
野津原	おやこのじかん	8回	41人

ウ 「子育て講演会」

就学時健康診断や小学校入学説明会等、親などが参加する様々な機会を活用して、家庭教育や親のあり方などについての学習の場を提供する。

エ 「思春期講演会」

中学1年生を持つ保護者を対象に、思春期の子どもの心理や成長、家庭のあり方などについての学習の場を提供する。

オ 「家庭教育学級開設」

互いに支えあう明るい家庭づくりが求められている中、人間形成の基礎を培う家庭の教育力の向上を図るため、親等が家庭や子育てのあり方等についての学習や情報交換・交流の場として家庭教育学級を開設するように支援する。

学級開設状況(平成27年6月11日現在)

幼稚園	小学校	中学校	その他	合計
9	38	12	19	78

(小・中合同1、幼・小合同1)

カ 「家庭教育学級講師派遣事業」

家庭教育学級に対し、学習を深めるために必要な講師を派遣し、学級への学習機会の提供を行う。

○本年度対象学級63学級

キ 「大分市子育て支援者スキルアップ講座」

子育て支援に関する学習を通じて、地域で活躍する子育て支援者のスキルアップを図る。



乳幼児家庭教育学級

ク 「家庭教育学級リーダー研修会」

家庭教育学級のリーダーに対する研修会を実施し、学級の運営やリーダーのあり方等の学習を通して、家庭教育の重要性を認識するとともに、家庭教育リーダーとして資質の向上を図る。

○参加対象者

家庭教育学級のリーダー・子育てグループ等のリーダー



家庭教育学級リーダー研修会

講師 樋口 了一 氏

日時 平成27年11月28日（土）

場所 大在公民館

講師 野村 真波 氏

日時 平成27年11月29日（日）

場所 大南公民館

講師 野村 真波 氏

ウ ホルト会場

○人権講演会

講師 金澤 泰子 氏 金澤 翔子 氏

日時 平成28年2月25日（木）

場所 ホルトホール大分

エ 人権作品コンクール

○市内の小・中・高等学校・特別支援学校の児童生徒を対象に、身の回りにある人権問題について考える機会とする。

内容としては、「人権作文、人権標語、人権ポスター」を募集し、優秀作品は、「人権作品集」としてまとめる。

(4) 社会人権・同和教育の推進

① おおいた人権フェスティバル2015

すべての人の基本的人権が尊重され、様々な文化や多様性を認め合う共生社会を実現するため、行政と市民が一体となって、「人々の相互理解と参加交流の促進」を目的に啓発事業を実施し、あらゆる差別の解消を図る意欲と実践力を持った市民を育成する。

実施計画

〔基本目標〕

「思いやりとやさしさのある地域社会の実現」

ア 中央会場

○差別をなくす市民啓発講演会

講師 井沢 元彦 氏

演題 「－差別意識のルーツを探る－
ケガレと日本人」

期日 7月24日（金）

場所 ホルトホール大分 大ホール

○お楽しみ映画上映会

作品名 「メアリーと秘密の王国」

期日 7月25日（土）

場所 ホルトホール大分 大ホール

イ 地区会場

○人権講演会

日時 平成27年11月27日（金）

場所 南大分公民館



おおいた人権フェスティバル2014

(5) 学習機会の充実

① 成人記念集会

新成人に祝福と激励を送り、地域社会を担う一員としての自覚を促す。また、若者の希望や意見を集会の企画運営に取り入れることにより、成人の自己啓発の場とする。



成人記念集会

② 陶芸祭・たけのこチャレンジ!

ア 陶芸祭

陶芸の楽しさを多くの市民に実感していただくとともに、市民交流を図るために第19回陶芸祭を開催する。

○本年度予定 平成27年10月18日(日)
実施場所 河原内陶芸楽習館と河原内くすのきホール

○陶芸祭2014 平成26年10月19日(日)実施
参加者数・・・約800人

イ 春だ、陶芸とたけのこチャレンジ!

自然豊かな河原内で、親子が一緒になってたけのこ掘りと器づくりに挑戦し、楽しい思い出を作る。

○平成27年度参加者数
13家族34人
平成27年4月19日(日)実施

③ 伝統芸能ふれあい教室

子どもたちに「伝統芸能」を鑑賞・体験する機会を提供し、豊かな感性と文化や伝統を大切にする心を育む。

○参加団体

大分県日本舞踊連盟 大分市民謡連盟
大分県三曲協会 能を楽しむ会
筑前琵琶大分旭会 大分市民踊連盟
琴城流大正琴振興会大分支部
おおいた洋舞連盟 淡窓伝光霊流大分詩道会
大分県長唄連盟

○実施期間

平成27年9月～平成27年11月

○実施予定校数

市内小・中学校23校



伝統芸能ふれあい教室

④ 生涯学習いきいき講演会

大分市社会教育振興大会と連携して講演会を実施し、市民の生涯学習を促進する。

○期日 平成27年11月14日(土)

場所 大分西部公民館

講師 松井 猛 氏

演題 「地域からの芸術・文化の発信
～地域の“つながり”を大切に～」

※県内の社会教育や地域づくりの分野で実績をあげている講師による講義等を通して、社会教育関係団体の活性化を図っている。

2 社会教育関係団体の育成

(1) 目標

- ① 青少年の健全育成の推進
- ② 地域におけるボランティア活動の推進

(2) 少年団体

団体名	会員数等	活動内容
大分市子ども会育成連絡協議会	69単位会 4,193人	リーダー研修会 救急法講習会 緑化運動 陶芸教室 市子連の船
大分海洋少年団	1団 39人	洋上訓練 陸上訓練 奉仕活動

現況

平成26年度は、約2万3千人の子どもたちが子ども会に所属し、お見知り会、廃品回収、レクリエーション、餅つき大会等、それぞれの地域の特色のある活動や行事に参加した。子どもたちは集団活動を通して、社会の一員としての必要な知識や技能、態度を学ぶことができる。また、子ども会活動を支える地域住民、団体、学校の連携が図られることで、地域の絆が深まり、地域ぐるみでの子育ての推進が期待される。各地区公民館においては、「子ども会ジュニアリーダー育成事業」、「子ども会育成指導者研修会」等を実施し、子どもの健全な育成に寄与する子ども会活動への支援を行ない、その活性化を図っている。

(3) 女性団体

① 大分市地域婦人団体連合会

地域に根付いた活動を続けている。昭和25年4月10日設立以来、婦人会活動の活性化を図り、広い視野で時代の変化に対応しながら、健康に努め、学習・実践しながら心の通い合う地域づくりをめざしている。

② 大分市生活学校

昭和41年に組織され、環境問題・高齢者問題等地域に根ざした実践を続け、多くの成果を挙げている。

身近な生活課題を持ち調査研究・実地見学・対話集会などを軸に積極的な活動を進めている。

(4) P T A

① 大分市P T A連合会

大分市内小・中・特別支援学校の86団体をはじめ、大分大学教育福祉科学部附属小・中学校を含む88団体で組織され、専門部活動や研修が盛んである。

② 地区P T A協議会

中央地区、西部地区、南大分地区、滝尾・明野地区、城東・原川地区、鶴崎地区、東部・佐賀関地区、大南地区、東植田地区、植田地区の10ブロックで組織され、地区ごとに課題別による分科会を中心に積極的に研修を進めている。

③ 基本方針

ア 行動スローガン

「自ら学び、考え、行動するP T A～子どもの成長とともに学ぶP T A活動～」

イ 重点目標

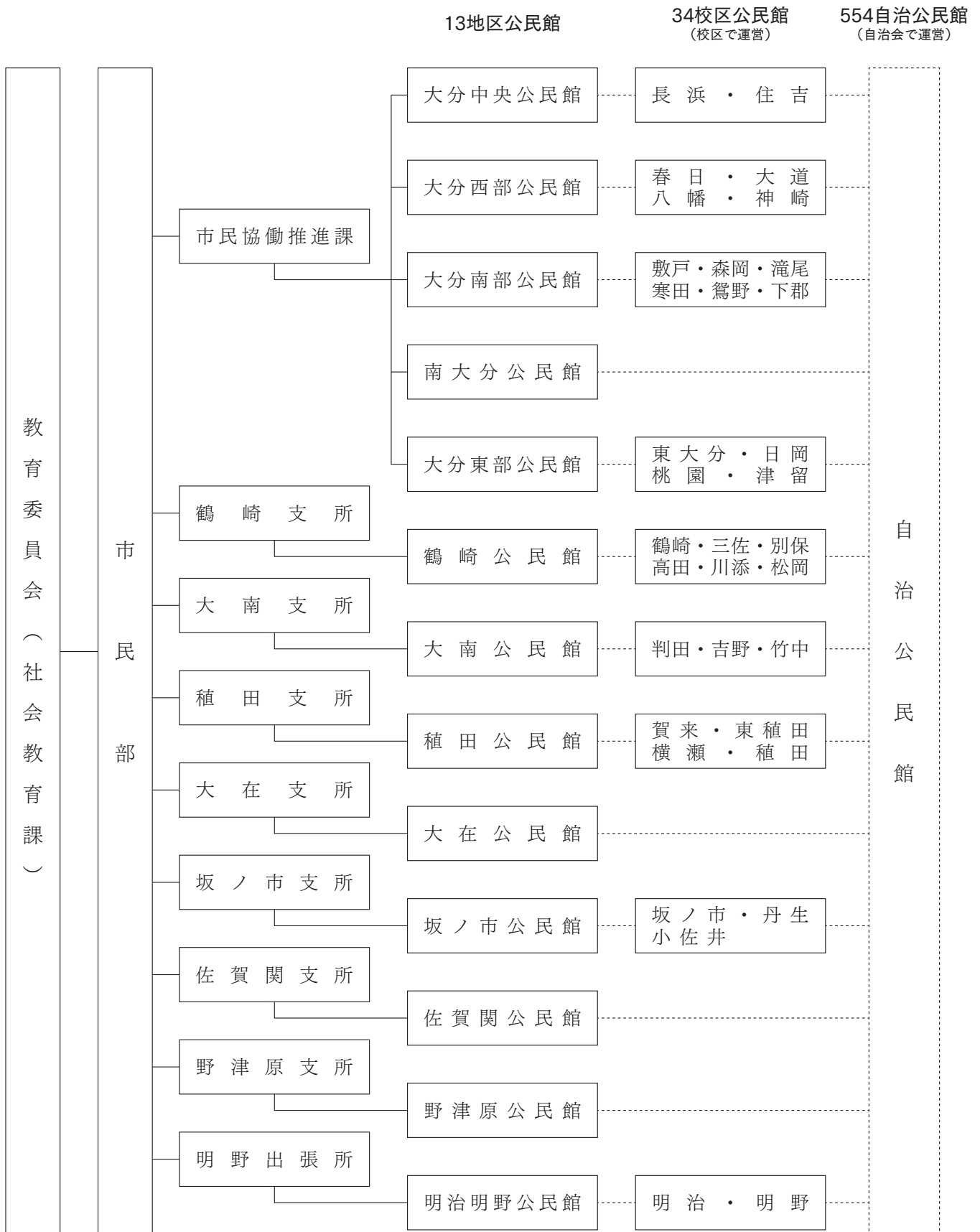
- (ア) 地区P T A協議会、単位P T Aとの連携を密にし、活動を活性化する。
- (イ) 各専門部は具体的な目標を掲げ、関係機関と連携・協力して活動する。
- (ウ) 教育環境の改善に努め、社会の変化に即したP T A活動を推進する。
- (エ) いじめ・不登校・児童虐待等の問題や人権・同和問題についての研修を推進する。
- (オ) 大分市教育委員会をはじめ、関係機関・団体との連携・協議を密にする。

3 公民館

生涯学習機能を有する地区公民館に、市民部の地域まちづくり支援に関する事業などを加え、市民協働の地域まちづくりの一層の推進を図るため、平成21年度から地区公民館の管理運営を市民部が補助執行することとした。

公民館における生涯学習機能は、それぞれが有機的に結びつきながら、その役割を果たしている。また、市民部が進める「地域づくり」も学習と実践を通じて一体的かつ継続的に展開されるものであり、「生涯にわたって学び続ける」生涯学習と切り離して考えられるものでない。これからも社会教育課は、市民部（市民協働推進課）と連携をとりながら、公民館の生涯学習機能を引き続き支援していく。

大分市の公民館



地区公民館利用状況

※世帯数、人口は平成27年4月末現在

名称	住所	世帯数	人口	利用延べ人数						
				H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
大分中央	〒870-0021 大分市府内町1-5-38 TEL: 097-538-0100 FAX: 097-538-2121 E-mail: tyuokomin@city.oita.oita.jp	20,413	38,455	96,460	97,407	97,323	100,486	102,735	104,158	99,995
大分西部	〒870-0819 大分市王子新町5番1号 TEL: 097-543-4938 FAX: 097-545-3159 E-mail: seibukomin@city.oita.oita.jp	20,970	45,323	116,459	90,791	87,427	90,963	73,260	88,417	89,499
大分南部	〒870-0946 大分市大字曲1113番地 TEL: 097-568-0055 FAX: 097-568-0046 E-mail: nanbukomin@city.oita.oita.jp	23,033	53,036	98,391	96,178	89,095	93,936	90,107	83,922	100,007
南大分	〒870-0855 大分市大字豊饒76番地の1 TEL: 097-544-6688 FAX: 097-544-6689 E-mail: minamikomin@city.oita.oita.jp	20,570	45,135	101,517	103,944	109,001	90,806	84,964	74,885	83,188
大分東部	〒870-0918 大分市日吉町3番1号 TEL: 097-556-8818 FAX: 097-556-8819 E-mail: tobukomin@city.oita.oita.jp	23,375	46,996	94,730	94,406	95,650	81,201	80,202	80,566	90,221
明治明野	〒870-0165 大分市明野北4丁目7番8号 TEL: 097-553-3838 FAX: 097-553-3849 E-mail: meimeikomin@city.oita.oita.jp	20,194	49,067	140,016	134,481	127,154	143,733	135,711	139,641	130,089
鶴崎	〒870-0103 大分市東鶴崎1丁目1番7号 TEL: 097-527-2671 FAX: 097-522-3280 E-mail: turusakikomin@city.oita.oita.jp	21,817	52,527	72,803	66,550	70,069	65,141	64,246	74,854	75,325
大南	〒879-7761 大分市中戸次4491-2 TEL: 097-597-0259 FAX: 097-597-6605 E-mail: dainankomin@city.oita.oita.jp	10,892	27,648	58,874	58,786	55,907	56,334	32,330	48,418	59,907
植田	〒870-1155 大分市大字玉沢789番地 TEL: 097-541-0017 FAX: 097-541-0014 E-mail: wasadakomin@city.oita.oita.jp	25,908	59,937	107,545	106,802	108,544	104,366	107,094	114,135	105,257
坂ノ市	〒870-0309 大分市坂ノ市西1丁目10番6号 TEL: 097-592-0735 FAX: 097-593-2908 E-mail: sakaitikomin@city.oita.oita.jp	7,551	18,361	67,006	62,370	57,975	60,140	60,287	65,350	63,425
大在	〒870-0268 大分市政所1丁目4番18号 TEL: 097-592-0304 FAX: 097-592-4256 E-mail: oozaikomin@city.oita.oita.jp	12,563	27,864	97,122	80,587	85,677	82,121	76,796	90,348	76,706
佐賀関	〒879-2201 大分市大字佐賀関1407番地の27 佐賀関市民センター内 TEL: 097-575-2557 FAX: 097-575-2595 E-mail: saganosekikomin@city.oita.oita.jp	4,655	9,559	31,458	54,855	44,799	36,212	41,563	31,463	36,540
野津原	〒870-1203 大分市大字野津原2885 TEL: 097-588-0043 FAX: 097-588-1550 E-mail: notuharukomin@city.oita.oita.jp	2,100	4,609	22,776	24,817	25,376	27,288	28,331	27,413	30,801
合計		214,041	478,517	1,105,157	1,071,974	1,053,997	1,032,727	977,626	1,023,570	1,040,960

(2) 公民館類似施設

① 校区公民館

市内59小学校区52連合自治会に34館あり、住民に密着した生涯学習機会の提供や地域づくりの拠点として、大いに活用されている。

② 自治公民館

市内に688の自治会があり、554の自治公民館がある（平成27年4月1日現在）。

※世帯数・人口については、本庁地区の校区未定分は大分中央に、鶴崎地区の校区未定分は鶴崎に、植田地区の校区未定分は植田に加えている。

4 大分市情報学習センター



所在地 大分市大石町1丁目3組

電話 545-8616

FAX 545-5065

URL : <http://www.manabi-oita.jp/omc/>



(1) 施設の趣旨

大分市は、民間による日本初のADSLサービス開始等、地方にありながら情報通信の世界で独自の文化を発信してきた。その中で、大分市情報学習センターは、大分市の情報学習の中核施設として、時代の要請や市民ニーズに応えながら情報学習の文化を発信している。

一方、新しい情報端末の登場やインターネットサービスの充実等ICTの普及・発達は、快適で便利な生活をもたらす反面、ワンクリック詐欺や悪意のある書き込み等の社会問題を引き起こしており、市民が等しく安心安全にICTを利活用できるように、情報モラルの向上に重点を置いた情報教育を推進していく必要が生じている。

そこで、平成26年度より、指定管理者制度を導入し、時代の変化に即した第2世代のICT講習として、情報モラル教育を中心に情報リテラシーの向上・情報格差軽減を目指し、「まなびの循環」を図りながら各種事業を充実させている。

(2) 事業の重点

- ① 情報モラル・情報リテラシーの向上
 - ア 初心者向けICT講習の実施
 - イ ソーリンくんネット安心安全教室の実施
- ② 情報格差の軽減
 - ア 指定管理者による市民教室の開催
 - イ ITボランティア養成講座第12期の実施によるiの手メンバーの増員及びスキルアップ
 - ウ ライブラリー業務の活性化
 - エ インターネット体験コーナーの運営

- ③ 生涯学習情報の提供
 - ア 生涯学習指導者（人材情報）や生涯学習情報の内容の充実と管理の徹底
 - イ 動画配信コンテンツの拡充
- ④ その他
 - ア 施設の特性を生かした自主事業の実施

(3) 指定管理者制度の導入

- ① 目的
 - 民間活力の活用により、市民サービスの向上と施設利用増を図る。
- ② 指定管理者
 - 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
- ③ 指定期間
 - 平成26年4月1日～平成29年3月31日

(4) 施設の特徴

昭和54年5月に「大分市視聴覚センター」として開所し、平成18年4月に現在の名称に変更。大分市南大分地区に位置し、敷地面積3,093㎡、延床面積2,2280㎡の鉄筋コンクリート造り地下1階地上2階建。大分市出身磯崎新氏による設計で、定員30名のPC室、定員350名でd t s音響設備や250インチスクリーンを有し、防音機能があるAVホール、音楽練習や撮影・録画・編集・インターネット配信ができるスタジオ等を有し、大分市内の他施設にはない特徴的な施設。平成26年4月より有料貸館化を実施。

(5) 利用案内

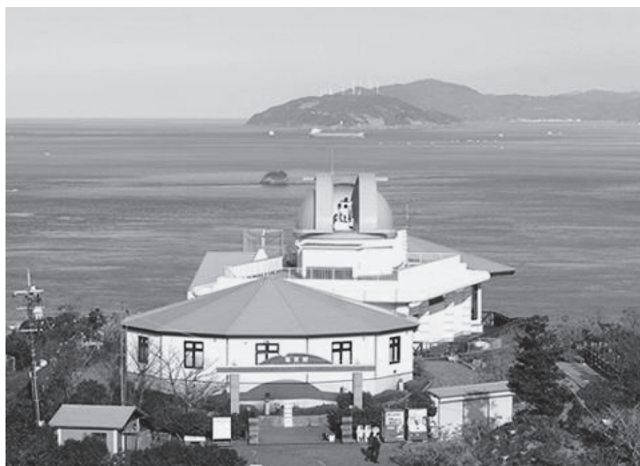
貸館は年末年始をのぞき、年間利用可能（要事前予約）

- ① 開館時間
 - 月～土 午前9時～午後9時30分
 - 日 午前9時～午後7時
- ② 休館日
 - 月曜日（祝・休日の振替は火曜日。ただし、第1週は火曜日）
 - 国民の休日（その日が日曜日の場合は開館）
 - 年末・年始（12月28日～1月4日）
- ③ 市内利用者料金（市外利用者は別途）

区分	使用料(1時間)	摘要
AVホール	600円	1 使用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその使用時間が1時間未満のときは、1時間とします。
スタジオ	200円	
マルチメディアルーム	200円	
情報サロン	100円	2 冷房期間中は、左記により算定した使用料の4割に相当する額（その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）を加算します。
研修室1	200円	
研修室2	100円	
研修室3	100円	
コンピュータ室	200円	

5 大分市関崎海星館

所在地 大分市大字佐賀関4057-419
 電話 097-574-0100
 FAX 097-574-0555
 URL <http://www.kaiseikan.jp>
 E-mail star@kaiseikan.jp



関崎海星館から豊後水道を望む



60cmニュートン・カセグレン式反射望遠鏡
 (望遠鏡で天体観察をする親子)

(1) 施設の趣旨

- ① 本館をとりまく大自然を背景に、市民に“ふれあいの場”を提供することにより、ゆとりとやすらぎを満喫することができ、生きがいにあふれた人生を創造することに寄与する。
- ② 本館の機能を活用した宇宙の観察や観測の場を提供することにより、宇宙の神秘に驚嘆し、天文に興味・関心をいだき、新たな体験と知識に基づいた心豊かな人生の創造に寄与する。

(2) 指定管理者制度の導入

- ① 目的
民間事業者の有するノウハウを活用することにより、市民サービスの向上と入館者増を図る。
- ② 指定管理者
大分エージェンシー株式会社
- ③ 指定期間
平成26年4月1日～平成29年3月31日

(3) 施設の特徴

口径60cm、肉眼の7300倍の集光力を持つ海星館の望遠鏡で、月や惑星、果てしなく広がる宇宙の彼方の星雲・星団を心ゆくまでウォッチングできる。

お昼は、太陽観察専用望遠鏡で、迫力ある太陽プロミネンスや黒点の観察ができる。

また展望室からは、東は四国佐田岬、北は国東半島や姫島まで、視界300度のパノラマが堪能できる。

(4) 利用案内

- ① 開館時間

月・水・木	午前10時～午後6時
金・土・日・祝日	午前10時～午後10時
夏休み期間(休館日なし)	午前10時～午後10時
- ② 休館日
 火曜日(祝日の場合は一番近い平日)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 但し、元日は初日の出観覧会(6時～9時)開催
- ③ 料金
 入館は無料。
 天体観測室は観覧料が必要。

観覧料	一般	420円
	(10名以上の団体)	330円
	高校生	210円
	(10名以上の団体)	170円
	中学生以下	無料
	障がい者	手帳をお持ちの方は全額免除

6 エスペランサ・コレジオ

所在地 大分市東鶴崎1丁目1番5号
 電話 522-3415
 FAX 522-3412



書道コース

(1) 設置の趣旨

本校は、生涯学習の重要な分野である勤労青少年等の学びの場である。大分市内在住か在勤・在学（高校生を除く）する人に「青春を豊かに価値あるものに」をモットーとして、組織的・計画的に幅広い学習機会を提供し、その実現を図ろうとするものである。現在では勤労青少年を中心として職業能力向上や学校行事で青年の社会参加活動をサポートしている。

(2) 指導重点目標

- ① 豊かな人間性と青年としての主体性の確立
- ② エスペランサ・コレジオの学生としての自覚と行動
- ③ 自己目標の達成と継続に向けた各種国家・検定試験での資格取得とスキルアップ
- ④ 入学式・講演会・ボランティア活動・修了式等の学校行事への出席・協力・役割分担
- ⑤ ボランティア活動や差別をなくす運動月間、人権週間に向けた活動等を通したリーダーの育成と仲間づくりの推進

(3) 平成27年度教育計画

生涯学習の一般的内容	本校の具体的教育内容
①職業に関する知識、技術の向上や資格取得に関する教育	○資格取得コース ファイナンシャルプランニング技能士3級・2級、日商簿記3級・日商簿記2級、建設業経理士2級、二種電気工事士・一種電気工事士・電験三種、社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士、色彩検定3級・2級、日商PC検定試験(データ活用・文書作成)3級、CAD利用技術者試験2級
②実生活や仕事に役立つとともに、資格取得も可能とする教育	○実用コース 和洋裁・服飾ソーイング、調理A、調理B、ステップアップ英会話、ボールペン字4級・3級
③教養の向上、健康・情操の陶冶に関する教育	○趣味コース 陶芸、書道、ピラティス ○講演会(5月) 「今、期待される青年とは」 講師 おおいた産業人財センター ジョブカフェおおいた 渡邊 義範 チーフ相談員 ○人権・同和問題講演会(12月)
④市民意識、社会連帯意識に関する教育	○ボランティア活動(地域貢献活動)8月 ○歳末助け合い運動協賛 12月
④国際理解に関する教育	○国際理解(ステップアップ英会話)

(4) 平成27年度学生数(5月1日現在)

校時	課程	コース	人数		
1校時	資格取得 実用	F P 技能士 A	13		
		和洋裁	14		
		ボールペン字	5		
2校時	資格取得 実用 趣味	簿記 I	11		
		簿記 II	8		
		電気 I	7		
		電気 II	17		
		社労士 I	16		
		社労士 II	6		
		行政書士	15		
		学生数			323

校時	課程	コース	人数
2校時	資格取得 実用 趣味	F P 技能士 B	16
		宅建	18
		カラーコーディネーター	20
		ワード	5
		エクセル	14
		C A D	12
		服飾ソーイング	14
		調理 A	20
		調理 B	20
		ステップアップ英会話	20
		陶芸	19
		書道	8
		ピラティス	25



ワードコース

(5) 年度別試験合格者数

試験	二種電気工事士	一種電気工事士	電験三種	日商簿記3級	日商簿記2級	建設業経理士2級	F P 技能士
S 43~H 23年合格者数	353	145	三種25 理論42 電力30 機械28 法規37	460	238	102	2級 6 3級37
H 24年	4	3	理論5 電力3	6	8	5	3級16
H 25年	3	2	三種1 科目合格6	7	7	8	2級 2 3級13
H 26年	1	0	電力1	9	3	8	2級 7 3級17

試験	C A D 利用技術者試験2級	3級データ3級試験	日商PC検定試験3級	日商PC検定試験3級	カラーネーター	色彩検定	引主建物取	宅地建物取	ボールペン字	T O E I C
H 16~H 23年合格者数	18	21	/	/	/	/	3	/	/	701~601~700 1 501~600 15 301~500 15
H 24年	3	5	8	/	/	/	0	/	/	501~600 2 301~400 1
H 25年	1	7	6	/	/	/	0	/	/	501~600 1 301~400 1
H 26年	0	4	4	3級2 2級1	3級3 2級3	/	1	4級3 3級2	/	/

7 河原内陶芸楽習館

所在地 大分市大字河原内3863番地の2
 電話 596-1070
 FAX 596-1077



(1) 施設の趣旨

初歩から本格的な陶芸技術の習得まで、専門スタッフの指導により、市民の幅広い学習需要に応えるとともに、陶芸を通じて地域の活性化や文化の振興を図り、新たな文化ゾーンの創造をめざす。

(2) 施設の概要

構造	木造平屋建
延床面積	126㎡
登り窯	1基 (7.5㎡)
灯油窯	1基 (0.5㎡)
電気窯	2基 (1.9㎡、0.4㎡)
電動ろくろ	6台
作業台	5台

(3) 講座

- ① 定期講座 (平成27年5月～平成28年3月まで)
 ア 短期入門コース (年3回各10回、16人)
 ・ ・ 日曜日午後1時～4時



陶芸祭

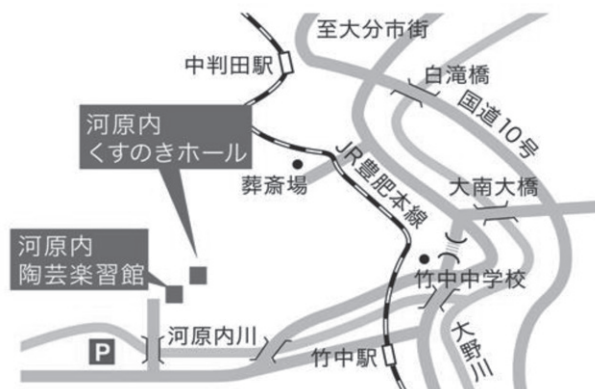
- イ 通年入門コース (全40回)
 Aコース (10人) ・ ・ 水曜日午後1時～4時
 Bコース (16人) ・ ・ 土曜日午後1時～4時
 Cコース (16人) ・ ・ 日曜日午前9時～正午
 ウ 経験者コース (全40回)
 Aコース (16人) ・ ・ 水曜日午前9時～正午
 Bコース (16人) ・ ・ 土曜日午前9時～正午
 エ 電動ろくろコース (6人、全40回)
 ・ ・ 水曜日午後1時～4時
- ② 体験学習講座 (要予約)
 費用 ・ ・ ・ 1人1回520円
 実施日 ・ ・ ・ 原則火曜日、金曜日
 対象 ・ ・ ・ 5人以上30人程度までの団体



講座の様子

(4) 利用案内

- 開館時間 午前9時～午後5時
 休館日
 ・ 月曜日・木曜日 (ただし、窯焚き等により変更する場合有)
 ・ 年末年始 (12月29日～1月3日)



8. 大分市民図書館

本館所在地 大分市金池南1丁目5番1号
 電話 097-576-8241
 FAX 097-544-5615
 分館所在地 大分市府内町1丁目5番38号
 電話 097-538-3500
 FAX 097-538-3744



市民図書館2階おはなしの部屋

(1) 基本方針

- ① 市民ニーズに、応えるため様々な資料の収集と蔵書の充実をめざす。
- ② 図書館の利用促進を図る。
- ③ きめ細かな図書館サービスの充実をめざす。
- ④ 事業を中心とした図書館活動の充実をめざす。

(2) あゆみ

昭和49年6月 「大分移動図書館の設置及び管理に関する条例」公布
 8月 移動図書館車運行開始
 昭和53年8月 移動図書館センター（鶴崎）開館
 昭和61年6月 コンパルホール市民図書館オープン
 大分地域広域市町村圏（野津原町・挾間町・庄内町・湯布院町、佐賀関町）へ配本開始
 平成3年8月 利用者開放端末利用開始
 平成6年2月 ひまわりコーナー（視聴覚障がい者・高齢者）オープン
 平成8年7月 図書館法に基づく図書館として整備、「大分市民図書館」となる
 平成9年5月 B D S（資料無断持出防止装置）稼働開始
 平成14年4月 大分市民図書館ホームページ開設
 インターネット予約受付開始
 利用者開放端末（調べ学習用）設置
 平成15年4月 地区公民館図書室を図書館情報シス

テムとネットワーク化
 平成17年5月 市町村合併により佐賀関・野津原地区公民館図書室を図書館情報システムとネットワーク化
 10月 移動図書館センター（鶴崎）閉館
 平成17年11月 鶴崎・植田市民行政センター図書室開館
 図書館情報システムとネットワーク化
 平成19年4月 文部科学大臣賞を受ける
 平成20年4月 移動図書館車運行廃止
 市内34校区公民館での予約図書受け取りサービス開始
 平成21年2月 図書館ボランティア（図書の配架・書架整理・修理、事業の協力等）開始
 平成23年度 I C連携準備：図書館全資料へI Cタグ貼付
 平成24年度 大分駅南複合施設（ホルトホール大分）内市民図書館開館準備
 平成25年4月 窓口業務委託開始
 平成25年7月 ホルトホール大分内に新図書館を開設し、本館とし、コンパルホール内図書館を分館に位置付ける
 I C連携サービス開始（自動貸出機・自動返却機・自動出納閉架書庫導入）

(3) 利用案内

- ① 開館時間及び休館日
 開館時間 午前9時～午後9時
 休館日 毎月第2・第4月曜日
 （祝日の場合は、翌日以降直近の平日）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 蔵書点検のための特別整理期間
- ② 図書の貸出
 個人貸出対象 大分市・由布市に在住する者
 大分市に通勤・通学する者
 貸出冊数 一人10冊以内
 貸出期間 15日以内
 団体貸出対象 大分市に所在する、5名以上の構成員である団体
 貸出冊数 1回に200冊以内
 貸出期間 3ヶ月以内
- ③ ホームページ
 利用内容 図書館案内（利用方法等）
 蔵書検索（新着図書・インターネット予約）

お知らせ（行事案内等）

アドレス <http://www.library.city.oita.oita.jp/>

(4) 利用状況 平成26年度分

総利用者数 1,040,856
貸出冊数 1,394,167
貸出者数 347,176

(5) 平成27年度事業計画

① 子どもの読書週間事業

ア 絵本作家の講演会

日時 4月29日(水)祝日 午後2時～3時30分
場所 コンパルホール3階多目的ホール
内容 絵本作家長谷川義史氏を迎えて命の大切さ家庭のありがたさを語ってもらう講演会を行います。

イ 「DANパネ団の元気いっぱいパネルシアター」

日時 5月5日(火)祝日
午前10時30分～11時30分
場所 コンパルホール1階文化ホール
出演 DANパネ団
内容 大分市内外で活躍をしているDANパネ団による歌って踊ってのパネルシアター上演会

② 環境月間連携事業

ア 「環境絵本の読み聞かせ」事業

日時 6月中の土日
本館 午後2時～2時30分
分館 午前11時～11時30分
内容 市民図書館読み聞かせボランティアによる環境に関する絵本・紙芝居の上演。

イ リサイクルイベント

日時 6月21日(日) 午前10時～12時
場所 市民図書館2階会議室
内容 身近にある物を使い、環境について考える「牛乳パックを使って、マジックキューブをつくろう」

③ 夏休み企画

ア 図書館探検ツアー

日時 夏休み中の木曜日 午前11時 午後2時
場所 市民図書館バックヤード

イ 調べる学習コンクール受賞作品展示展と関連講座

展示期間 7月20日～8月31日
場所 市民図書館2階
講座日時 8月2日(日) 午前10時～12時
場所 市民図書館2階会議室

ウ 「紙芝居を作ろう」事業

日時 8月23日(日) 午前10時～午後4時
場所 コンパルホール4階 美術工芸室

エ 「夏の夜の不思議なお話」

日時 7月25日(土) 午後7時～9時
場所 ホルトホール大分小ホール
内容 市民図書館大人のための朗読会&大分のえんどうクラブ第7回おはなしいっぱいコラボレーション企画

④ 第26回秋の読書週間事業

ア 文化講演会

イ 「楽しい読み聞かせ」事業
ウ 高校生作品展
エ 「子どもの読書川柳」事業

⑤ 冬休み事業

ア 「冬の星座と宇宙の不思議」事業
イ ビブリオバトル

⑥ 図書館独自事業

ア 赤ちゃんにおはなしを届ける事業2周年記念講演会

日時 9月13日(日) 午前10時～12時
場所 ホルトホール大分409会議室

イ 紙芝居の世界へようこそ

○紙芝居展示

展示期間 10月1日～16日
場所 市民図書館2階

○紙芝居上演講座

講座日時 10月9日(金) 午前10時～12時
場所 市民図書館2階会議室

ウ ホルトホール大分内の各機関との連携する事業企画

⑦ 年間通常事業

ア 図書館読み聞かせボランティアによる絵本・紙芝居等の読み聞かせ

イ 学校図書館支援としての司書派遣

ウ 館内での季節に関する書籍展示テーマ別書籍特設展示

芸術文化

1 芸術・文化振興

○主な事業

① 第41回大分市民音楽祭

平素から音楽活動を行っている団体に発表と鑑賞の機会を提供し潤いと安らぎのある市民生活を実現するために大分市民音楽祭を開催する。

実施日 平成28年2月21日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

昨年度実績

実施日 平成27年2月22日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

出演団体数 19団体

出演者数 316人

入場者数 1,029人



大分市民音楽祭

② 第22回大分市芸能まわり舞台

芸能活動に取り組む市民に、発表と鑑賞の機会を提供することにより、伝統文化を継承し多様な豊かな文化を創造する市民の育成をめざすとともに参加団体相互の情報交換と親睦を図る。

実施日 平成28年2月7日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

昨年度実績

実施日 平成27年2月8日(日)

場所 ホルトホール大分 大ホール

出演団体数 9団体・子ども舞台

入場者数 1,374人



芸能まわり舞台

③ 第50回記念大分市美術展

美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様な豊かな文化を創造する市民の育成をめざす。

会期 平成28年3月4日(金)～3月27日(日)

場所 大分市美術館

昨年度(26年度)実績

会期 平成27年3月6日(金)～3月29日(日)

場所 大分市美術館

出品数 513点



市美展

2 文化財

(1) 平成26年度文化財主要事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちのすぐれた生きざまを学びとり、あるいは環境のたくみな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そしてこれの子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨にのっとり、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

① 埋蔵文化財発掘調査

駅周辺総合整備事業、区画整理事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等にもなう事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる、平成26年度の調査成果は次表のとおりである。

	遺跡名・回数	時代
1	大友氏遺跡第31次	戦国
2	大友氏遺跡第32次	戦国
3	中世大友府内町跡105次	戦国
4	中世大友府内町跡106次	戦国
5	中世大友府内町跡107次	戦国
6	中世大友府内町跡108次	戦国
7	中世大友府内町跡109次	戦国
8	古国府遺跡第20次	中世
9	横尾遺跡153次	中世～近世
10	羽田遺跡13次	縄文～中世

② 文化財保存整備事業

ア 文化財保存修理事業

- (ア) 国指定史跡大分元町石仏保存整備事業
事業者 大分市
大分元町石仏環境調査及び保存整備実施設計の策定。石仏本体の脱塩処理を実施した。
- (イ) 国指定重要文化財後藤家住宅管理事業
事業者 大分市
平成26年8月19日付けで後藤家住宅の管理団体に大分市が指定されたため、事業主体が大分市となった。
全面差茅工事を実施、表面約1/2の茅を交換した。



後藤家住宅（保存修理後）

- (ウ) 国指定重要文化財柞原八幡宮
保存活用計画策定事業
事業者 宗教法人 柞原八幡宮
保存活用計画策定の検討を実施した。
- (エ) 県指定史跡府内城跡宗門櫓保存整備事業
事業者 大分市
府内城宗門櫓の詳細調査と修理基本設計を行い、地盤調査を実施した。
- (オ) 市選出無形民俗文化財羽田神楽
伝承基盤整備事業
事業者 大分社 羽田神楽
神楽で使用する大蛇の胴体および衣装を新調した。
- イ 文化財の指定（平成26年度）
 - (ア) 大友氏遺跡追加指定
上原館跡の一部を追加指定した。
 - (イ) 市指定有形文化財
 - ・猪野遺跡出土銅矛
所有者 大分市教育委員会
平成27年3月9日指定
弥生時代中期の中広型銅矛。大分県下では唯一の発掘調査により出土した銅矛。



猪野遺跡出土銅矛

- ・木造釈迦如来坐像
所有者 宗教法人 長興寺
平成27年3月9日指定
南北朝時代ごろ慶派の流れをくむ仏師の作
と考えられる。



木造釈迦如来坐像

④ 文化財愛護活動

郷土の文化財に愛着をもち、研さんを深めながら保護、継承等に努力し、地域づくりへの貢献を目的としている以下の各団体に指導・助成を行っている。

団 体 名			
愛護少年団	丑 殿 常 行 国 分 宮 苑 森 岡 本 神 崎	愛護団体	大在地区文化財同好会
	坂ノ市地区郷土史愛好会		
	大南地区文化財同好会		
	鶴崎地区文化財研究会		

(2) 各種委員会の開催

- ① 大分市文化財保護審議会
大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。年2回開催。
平成26年度は、文化財行政の報告および計画、市指定文化財の指定基準および指定について審議した。
- ② 高崎山管理委員会
国指定天然記念物「高崎山の猿生息地」の適正管理を行い、高崎山全体のより適正な保存管理運営を行なうことを目的とする。
平成26年度は、高崎山ニホンザル個体数適正化事業について協議した。
- ③ 大分元町石仏調査委員会
2回の調査委員会を開催し、環境調査の内容について協議を行った。

- ④ 史跡大友氏遺跡整備基本計画検討委員会
2回の検討委員会を開催し、整備基本計画の構成および整備手法等について協議した。
- ⑤ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会
大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。
平成26年度は、5月17日（金）に選考委員会を開催、6団体に助成を行なった。

(3) 普及・愛護の啓発活動

- ① 大友氏遺跡情報発信事業
ア 「大友宗麟公」副読本活用
大友宗麟公の副読本を市内の小学校（60校）配布。6年生社会科で副読本を活用を実施し、郷土大分の歴史に関する学習をする。
配布 小学校6年副読本「府内から世界へ大友宗麟」6月末に完成し配布。
活用 7月2日舞鶴小学校および住吉小学校にて大分市小学校社会科研究会研究授業を実施した。
- イ キリシタン・南蛮文化交流首長サミット
「キリシタン・南蛮文化交流協定協議会」に参加している6首長とJR九州大分支社長によるサミットを平成26年5月24日に実施。
- ウ ザビエルサミット
観光課と連携し「ザビエルサミット～『聖フランシスコ・ザビエル』を活かした観光フォーラム」を開催。上智大学川村教授の講演等を行った。
- エ 「大友氏遺跡フェスタ2014」
大友氏遺跡の現地説明会と市民対象のセミナーの実施、生活文化展での体験ブースを開設した。平成26年10月4日・5日開催。
- オ 地域の特性を活かした史跡等総合活用支援推進事業
 - ・「おおいた文化遺産」の刊行
史跡解説や文化遺産の内容を記載した冊子
 - ・文化遺産探索学習会の開催
史跡や遺跡、建造物等大分市内に残る文化遺産を訪ねる学習会を開催。
 - ・文化財説明板製作設置
大分市全域の文化財や史跡の案内板のうち17ヶ所のパネルを再製作し、3ヶ所を新たに製作した。

(4) 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館						
所在地	〒870-0101 大分市鶴崎381番地の1						
電 話	097-521-4893						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）						
概 要	<p>鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。</p> <p style="text-align: center;">平成26年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,333人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>318人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,651人</td> </tr> </table>	大 人	5,333人	小 人	318人	合 計	5,651人
大 人	5,333人						
小 人	318人						
合 計	5,651人						

施設名	池見家住宅						
所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内						
電 話	なし（問合せは文化財課へ）						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/3）						
概 要	<p>江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。平成3年佐野植物公園内に移築復元。</p> <p style="text-align: center;">平成26年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>大 人</td> <td>5,616人</td> </tr> <tr> <td>小 人</td> <td>2,757人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>8,373人</td> </tr> </table>	大 人	5,616人	小 人	2,757人	合 計	8,373人
大 人	5,616人						
小 人	2,757人						
合 計	8,373人						

施設名	海部古墳資料館
所在地	〒870-0303 大分市大字里646番地の1
電 話	097-524-2300 FAX 097-524-2301
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始（12/28～1/4）

概 要	<p>国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。平成12年4月開館。</p> <p style="text-align: center;">平成26年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>団 体</td> <td>4,161人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>12,694人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>16,855人</td> </tr> </table>	団 体	4,161人	個 人	12,694人	合 計	16,855人
団 体	4,161人						
個 人	12,694人						
合 計	16,855人						

施設名	大友氏遺跡体験学習館						
所在地	〒870-0843 大分市大字大分4257番地の1						
電 話	097-544-5011 FAX 097-544-5011						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 但し毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土・日曜日の場合開館） 年末年始（12/28～1/4）						
概 要	<p>国指定史跡「大友氏遺跡」の内容と発掘調査への理解を深めてもらうために、設置した施設。調べ学習の資料や、体験学習のメニューを揃え、研修室では、40名が活動を行える。平成20年4月開館。</p> <p style="text-align: center;">平成26年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>団 体</td> <td>8,069人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>1,782人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9,861人</td> </tr> </table>	団 体	8,069人	個 人	1,782人	合 計	9,861人
団 体	8,069人						
個 人	1,782人						
合 計	9,861人						

施設名	帆足本家酒造蔵						
所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次4381番地の1						
電 話	097-597-4649 FAX 097-597-4649						
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/4）						
概 要	<p>江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。（大分市指定文化財）</p> <p style="text-align: center;">平成26年度入館者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>団 体</td> <td>1,479人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>3,760人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,019人</td> </tr> </table>	団 体	1,479人	個 人	3,760人	合 計	5,019人
団 体	1,479人						
個 人	3,760人						
合 計	5,019人						

文 化 財

(5) 指定・選択文化財

平成27年4月1日現在

① 国指定

ア 重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
太 刀	八 幡	柞原八幡宮	昭25.8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
太 刀	〃	〃	〃	銘 源国(以下一字並年号不明) 長さ 108cm	〃
薙 刀 直 し 刀	〃	〃	〃	銘 表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅 造 仏 像	〃	〃	〃	社伝 阿弥陀如来立像金剛仏 重さ11.25kg 像高30.3cm	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大 山 寺	昭50.6.12	榿材 像高 87.7cm	平安時代
後 藤 家 住 宅	杵ヶ原	個人所有	昭50.6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造り 茅葺	江戸時代
白壇塗 浅葱系威腹巻付 兜・大袖・小具足	八 幡	柞原八幡宮	昭55.6.6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平3.6.21	文保2(1318)康俊作 榿材寄木造 像高 303.8cm	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八 幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料(213通) 元和7年	平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸
帆 足 家 伝 来 田能村竹田関係資料	美術館	大 分 市	平6.6.28	紙本墨画淡彩花卉図外25点	江戸時代
柞原八幡宮	八 幡	柞原八幡宮	平23.6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拝殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治

イ 史跡

豊 後 国 分 寺 跡	国 分	大 分 市	昭8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭58.9.8 昭61.5.28)	奈良時代
大 分 元 町 石 仏	元 町	〃	昭9.1.22	日羅または仁間の作と伝えられる 保存修理 昭46, 52, 53, 61年以降	平安時代
高 瀬 石 仏	高 瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千 代 丸 古 墳	宮 苑	〃	昭9.5.1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
築 山 古 墳	本神崎	八 幡 神 社	昭11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
古 宮 古 墳	三 芳	大 分 市	昭58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	終末期古墳(7世紀)
亀 塚 古 墳	里	〃	平8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
大 友 氏 館 跡	頭 徳	〃	平13.8.13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする戦国大名・大友氏の拠点方二町(200m四方)	戦国時代
横 尾 貝 塚	横 尾	〃	平21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

ウ 天然記念物

柞原八幡宮のクス	八 幡	柞原八幡宮	大11.3.8	自生のクス 樹高約30m 幹囲約18.5m	
高崎山のサル生息地	神 崎	大 分 市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	
オオサンショウウオ	神 崎	(株)マリス	昭27.3.29	広島市安佐動物公園より譲渡	特別天然記念物

エ 無形民俗文化財(選択)

鶴 崎 踊	鶴 崎	鶴崎おどり会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	
-------	-----	--------	-----------	---------------------	--

オ 登録文化財

大分銀行赤レンガ館(旧二十三銀行本店・旧府内会館)	府内町	(株)大分銀行	平8.12.20	鉄筋コンクリート造2階建 スレート及び瓦葺葺	大正2年(1913)
太田缶詰工場主屋	白 木	個人所有	平11.6.7	木造2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年(1908)
太田缶詰工場土蔵	〃	〃	平11.6.7	切妻造の2階建て 外壁漆喰仕上げ	〃
太田缶詰工場石倉	〃	〃	平11.6.7	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に2つ出入口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17.7.12	木造平屋建一部二階建 瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅 「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造、棧瓦葺、木造2階建 通り土間をもつ商家建築の形式	明治39年(1908)
帆足家分家住宅 「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造、棧瓦葺、木造平屋建 南側に広縁をとり中庭を望む 門及び塀は棧瓦葺	明治中期
帆足家分家住宅 「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの上に建つ海風壁	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積みの上に建つ海風壁 棧瓦葺の板塀及び門	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」湯殿及び風呂	〃	〃	〃	湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接して建つ寄棟及び入母屋の屋根、共に棧瓦葺	〃
帆足家分家住宅 「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積みの基壇の上に四方に柱を立て、切妻造、棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む	〃

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
帆船「足家分家住宅」松石不老館」殺物蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 引戸口2箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ	明治22年
帆船「足家分家住宅」松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、木造平屋建 下屋北側2間半分を壁で囲む 切石積みの上に建つ	〃
帆船「足家分家住宅」松石不老館」裏二階	〃	〃	〃	寄棟棧瓦葺木造2階建裏木戸中央に1間幅の観音開きの木戸口	明治中期
帆船「足家分家住宅」松石不老館」住門	〃	〃	〃	間口は2.7m、棟門の形式棧瓦葺、木造両脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける	〃
帆船「足家分家住宅」松石不老館」住門	〃	〃	〃	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を真壁造、漆喰塗り2箇所格子窓、棧瓦葺屋根	〃
帆船「足家本家」住主住宅	中戸次	個人所有	平18.11.29	木造2階建 一部平屋 入母屋造 棧瓦葺 南側中央式台玄関を設け 西側に一段高い座敷	慶応元年(1865年)
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	土蔵造2階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二階1室外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁	大正期
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	土蔵造2階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室二階1室外壁漆喰ぬり腰を海鼠壁	大正5年頃
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	木造2階建 寄棟造棧瓦葺 南側に洋室 東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風	大正5年(1916)
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺 南側に廊下 北側中央に八畳座敷 書院風のつくり	昭和12年(1937)
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	質蔵と洋館の間に建つ 二間幅の棟門 木造 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖塀	江戸末期
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	主屋式台玄関の西側 間口一間 木造腕木門 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖壁	江戸末期
帆船「足家本家」住主住宅	〃	〃	〃	主屋南側の庭の南側と西側を開き、質蔵北西隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺 大規模な七間堂	嘉永2(1849)
浄土寺庫裏	〃	〃	〃	木造2階建寄棟造妻入棧瓦葺 床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	〃	〃	〃	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関	江戸末期
浄土寺大弁才天石宮	〃	〃	〃	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造	明治44年(1911)
浄土寺一伯公廟	〃	〃	〃	木造平屋建 入母屋造妻入棧瓦葺 松平忠直の墓碑を安置する	江戸後期 大正14・昭和49移築
浄土寺表門	〃	〃	〃	木造 左右袖塀付 本堂正面に建つ四脚門	明治後期 昭和26改修49移築
浄土寺北門	〃	〃	〃	木造 瓦葺 柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす	大正14年(1925) 昭和49年移築
植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平22.5.20	木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持送り 市内中心部に残る数少ない商家	安政元年(1854)頃
植木家住宅離れ	〃	〃	〃	入母屋造棧瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る	昭和4年(1929)
植木家住宅離れ控えの間	〃	〃	〃	庇の意匠が数寄屋風 渡り廊下が付随する	昭和4年(1929)

② 県指定

ア 有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八 幡	柞原八幡宮	昭35.3.22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる 文明2年(1470)	室町時代
詫摩文書	大分市歴史資料館	個人所有	〃	合計11巻 286点の文書 嘉永元年(1169)～慶長16年(1611)	平安時代末期～江戸時代初期
都甲文書	大分県立先哲史料館	個人所有	〃	合計4巻 90通	平安～江戸時代
刀	森	個人所有	昭43.3.29	豊州高田庄 藤原行長 慶長五年	戦国時代
刀	野津原	個人所有	昭40.3.9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
刀	府内町	個人所有	昭43.3.29	銘 平鎮教 長さ 81.6cm	戦国時代(永禄年間)
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44.3.22	檜材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
木造不動明王立像	八 幡	柞原八幡宮	昭45.3.31	〃 〃 像高78.8cm	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高76.9cm	〃
紙本著色由原八幡宮縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増老阿含経	〃	〃	〃	11紙 縦34cm、横64.2cm 文和4年(1355)に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	銘 元和八年中川秀征(岡藩2代藩主)寄進	江戸時代初期
紙本著色厭図六曲屏風一双	上野丘	円寿寺	昭46.3.23	土佐派の画風春隻と秋隻(各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本著色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
刀	横 尾	個人所有	昭49.3.19	銘 藤原統行 平成16年6月21日所有者変更による	
太 刀	羽 屋	個人所有	昭51.3.30	銘 豊後国行平 (豊後刀の逸品である)	鎌倉時代
安 藤 家 刀	横 尾	個人所有	昭54.5.15	銘 豊州高田住大和太極藤原貞行 平成16年6月21日所有者変更による	

文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
中間石幢	志津留	共有	昭55.4.8	造立者の墨書銘あり 応永6年(1399)造立	室町時代
万年橋	寒田	西寒多神社	昭55.4.8	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
金剛宝戒寺木造 釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57.3.30	檜材 寄木造 像高161.6cm	鎌倉時代
豊後国諸検地帳	大分県立 先哲史料館	県教委	〃	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲資料館	安土桃山時代~江戸時代初期
太刀	坂ノ市	個人所有	昭63.3.15	「豊州之住人直宗作 応永十八年〇月十五日」銘	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平9.3.25	檜材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期~南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10.3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平10.3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本著色阿弥陀如来迎図	森町	専想寺	平11.3.23	1幅	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	1軀	鎌倉時代
巴形銅器	埋蔵文化財 センター	県教委	〃	考古資料	弥生時代
教尊寺(7棟)	〃	教尊寺	平11.3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存	江戸時代
刀	常行	個人所有	平13.4.3	銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
刀	森町	個人所有	平13.4.3	銘文 平長盛平成19年7月24日 所有者変更で臼杵市より	室町時代
木造聖観音菩薩坐像	八幡	大山寺	平14.3.29	樟材一木造 像高 273.5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永興	臨濟寺	〃	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18年5/18所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16.3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造 檜皮葺	〃
早吸日女神社社家 (小野家住宅)	〃	〃	〃	入母屋造 棧瓦葺	〃
長湯横穴墓出土 群像	埋蔵文化財 センター	県教委	平17.3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
木造地藏菩薩立像 (愛宕地蔵)	青石	妙蔵寺保存会	平17.3.30	像高81.5cm、材質檜、寄木造、彫眼、漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本著色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18.3.31	縦212.3cm 横214.5cm	鎌倉時代
木造聖徳太子二歳立像	勢家	法専寺	平18.3.31	桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm	鎌倉時代
銅造如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	平19.3.30	総高16.3cm像高15.1cm銅鑄造製 鍍金あり	飛鳥~白鳳
大志生木宝篋印塔	十谷	西岡神社	平21.3.17	應安六年癸丑六年(1373)の銘。「塔供養」と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	大分市海部 古墳資料館	共有	平24.3.13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。	古墳時代中期
先哲史料館稲葉家文書	大分県立 先哲史料館	県教委	平26.2.14	白杵藩主稲葉家に伝えられた文書。	江戸時代

イ 史跡

丑殿古墳	賀来	丑殿神社	昭30.5.28	横穴式石室 家形石棺(昭47年保存施設)	古墳時代後期
脇蘭室墓	鶴崎	大分市	昭32.3.26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34.3.20	銘 延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代
府内城跡	大手町 大分市	大分市	昭38.2.15	石垣、土堀、堀、櫓2、櫓跡1	江戸時代
曲石仏付双塔 (五輪塔)・磨崖連碑	曲	共有	昭41.3.23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される(昭47年補修)	平安時代末期~室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪双塔	口戸	個人所有	昭44.3.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期~室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴崎	大分市	昭45.3.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩屋寺石仏	古国府	円寿寺	〃	国指定解除物件	鎌倉時代~室町時代
参勤交代道路	今市	大分市	昭47.3.21	幅2.1m 長さ660mの石畳	江戸時代
蓬萊山古墳	庄ノ原	共有	昭56.3.31	前方後円墳 全長60m	古墳時代前期
毛利空桑墓	常行	共有	昭62.6.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭36.3.14指定後地番誤記判明昭62.6.29再指定	江戸時代
小牧山古墳群	松岡	大分市	平23.2.29	方墳3 円墳2 前方後円墳1 保存状態良好	古墳時代

ウ 無形民俗文化財(選択)

賀来神社卯酉の神事	賀来	共有	昭33.3.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択 「賀来の市」	
鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり会	昭56.3.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

エ 天然記念物

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
高島のピロウ自生地	高 島	大 分 市	昭30.5.27	1 株	
高島のウミネコ営巣地	”	”	”	400羽程度 5月～8月中旬に営巣	

③ 市指定

ア 有形文化財

熊野権現縁起絵巻	津 守	熊野神社	昭49.1.9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
神 庫	寒 田	西寒多神社	”	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修 (西寒多神社境内)	室町時代
鳥 居	王 子 町	王 子 神 社	”	寛政8年(1796) 2月建立(王子神社境内)	江戸時代
刀 (大・小)	府内町	個人所有	”	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
刀	歴史資料館	大 分 市	”	表銘 豊府家土神丸盛利行年七十才作 裏銘 天保9年戊戌2月 日任望角幸安殿 天保9年(1838)	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円 寿 寺	昭51.8.24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉時代～室町時代
大般若経本附納函	”	”	”	寛正4年(1463) 寄進	室町時代
御 城 下 絵 図	歴史資料館	大 分 市	昭56.8.1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国 分	国 分 寺	”	桜材 寄木造 像高 106.2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金 池	万 寿 寺	昭56.8.1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
紙本着色隠元・木庵・即非三幅対像附絹本淡彩蘆葉達磨図	田 室	長 福 寺	昭62.3.20	黄蘗宗三禅師肖像画と達磨図 寛文元年(1661)製作	江戸時代
波奈之丸屏風(厳島神社図)	歴史資料館	個人所有	平2.7.16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東 鶴 崎	劔 八 幡 社	平3.3.27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三 佐	野 坂 神 社	”	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	”
府内藩校遊焉館絵図	歴史資料館	弥 栄 神 社	平6.2.28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆 足 本 家 酒 造 蔵	中 戸 次	大 分 市	平11.3.23	酒造過程のわかる木造建築物	明治～大正
脇 指	府内町	個人所有	平16.3.31	銘文 表 豊州藤原友行 裏 貞治七年三月日(1368)	南北朝時代
刀	森 町	個人所有	平16.3.31	銘文 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年九月吉日(1655)	江戸時代初期
刀	永 興	個人所有	平16.3.31	銘文 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 [府内國重]とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来座像	太 田	個人所有	平17.3.31	桧材 寄木造 像高68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵 良	西 福 寺	”	桧材 寄木造 像高65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本 町	福 城 寺	”	桧材 一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今 市	安 楽 寺	”	銅製の像 像高26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	”	丸山八幡神社	”	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
木造地藏菩薩立像(愛宕地藏)	本神崎	八 幡 神 社	”	像高96.8cm、台高36.5cm、材質檜、寄木造、玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大 平 文 書	大 平	個人所有	”	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される	江戸時代～明治時代
若林文書・系図	一尺屋	個人所有	”	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐 賀 関	早吸日女神社	平17.9.27	寛永17年(1640)6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	”	”	”	文政10年(1827)以降、元の半分の規模で現在地に移築 大正4年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	”	”	”	宝暦13年(1763)6月細川重賢建立 嘉永3年(1850)改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期
熊本藩船佐賀関入港船絵馬	”	”	”	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西 谷 橋	大 平	大 分 市	”	文政7年(1824)甲申3月白杵大野の石工、新左エ門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵 良	西 福 寺	平17.3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本 町	福 城 寺	”	大永6年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	”	”	”	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入 蔵	個人所有	”	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺 石 幢	摺	個人所有	”	総高226cm 八角形	戦国時代
原 村 石 幢	原 村	個人所有	”	安山岩製 総高269cm	室町時代後半
地 福 寺 宝 塔	福 宗	地 福 寺	”	2基並立 向かって右184cm、左176cm	室町時代中期
地 福 寺 石 幢	”	”	”	明和8年(1771)の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
永富家逆修碑(3基)	新 町	個人所有	”	生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乘妙典一字一石塔	竹 屋	個人所有	”	総高215cm 享保12年(1727)の銘	江戸時代

文 化 財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
霊山寺山門	岡 川	霊山寺	平19.8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	江戸時代
常楽寺文書	岡 川	常楽寺	平19.8.12	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富少式頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平19.8.12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鉢	横 尾	水分神社	平20.12.4	完形品と残欠2個 精巧な錫上がりで埋納されていた 北部九州で鑄造	弥生時代中期末～ 弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈	歴史資料館	銅戈・大分市教委 石戈・個人所有	〃	銅戈は、細形銅戈で我が国初期鑄造品 石戈は、遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土 青銅破鏡	歴史資料館埋蔵文化財センター	大分市教委	〃	漢鏡	弥生時代後期～後期終末
原田家宝篋印塔	福 宗	個人所有	平22.12.17	総高147cm 安山岩製 四方仏の尊影を浮き彫りにしている。	室町時代
大分市内出土 青銅器	歴史資料館	大分市教委	〃	青銅製ヤリガンナ、小銅鐸	弥生時代中期～後期
「天長九年尼寺」 「尼寺」墨書土器3点	歴史資料館	大分市教委	平23.12.19	豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を推定する資料。	平安時代
伝名辺山谷出土銅矛	歴史資料館	大分市教委	平26.3.11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたと思われる中広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
猪野遺跡出土銅矛	歴史資料館	大分市教委	平27.3.9	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松 岡	長興寺	平27.3.9	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる。	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期

イ 史跡

大友頼泰墓	岡 川	常楽寺	昭49.1.9	五輪塔 高さ176cm 大友氏三代延享元年(1744)以降H19/6/4所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹 生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽 田	共 有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永 興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平7.2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前 田	個人所有	平17.3.31	材質すべて角閃石安山岩 完形41基	戦国時代～江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太 田	地福寺	〃	地蔵尊「火防(ひぶせ)の地蔵さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～ 江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

ウ 無形民俗文化財

柞原太鼓	八 幡	保存会	昭54.6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
深山流伊与床神楽	端 登	神楽社	平12.6.16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下 原	保存会	平18.3.7	勇壮な神楽であり、活発に活動している。また、伝承も計画的に行われている。	明治時代～

エ 無形文化財

廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者2名	平23.12.19	長いヒゴを使用した、青物系の竹細工技術。大分県在来の古い技術。	
-----------	-----	-------	-----------	---------------------------------	--

オ 無形民俗文化財(選択)

羽田神楽	羽 田	大分社	平17.9.27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる(選択)	昭和45年～
------	-----	-----	----------	------------------------------------------	--------

カ 有形民俗文化財

鰯網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17.9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鰯網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている(342点)H19/2/8大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

キ 天然記念物

オオイタサンショウウオ および生息地	岡 川	霊山寺	昭49.1.9	希少種とされている (霊山寺境内)	
ヤマフジ	寒 田	西寒多神社	〃	枝張り 東西約24m、南北約5mの範囲で広がる(西寒多神社境内)	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m 樹冠の広がり東西約33m南北45m(八幡神社境内)	
柞原八幡宮の森	八 幡	柞原八幡宮	平2.9.12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

3 大分市歴史資料館

大分市大字国分960番地の1
 電話 549-0880
 FAX 549-5766

(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、特別展やテーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に出向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室（移動講座）」を推進する。

更に、大友氏関係及び各時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和62年4月 開館
 敷地面積 4380.00㎡ 建築面積 1889.60㎡
 延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

(3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（1/10）、市内の石仏案内。

② 常設展示室

第1展示室 大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第2展示室 大友宗麟と中世、近世の府内。

民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年3回テーマに沿って展示。

④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史等ミニ展示コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史等の展示コーナーを設置。

⑤ 豊後国分寺跡の巡見

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を追体験しながらの散策が楽しめる。

(4) 企 画 展（平成27年度）

① 第34回特別展

「日本犬聞録 -イヌと人の歴史-」

会期 10月23日（金）～11月23日（月）

（開館日数：28日）

内容 「人類の友」とも呼ばれる犬は、銅鐸や埴輪、さまざまな書物にも登場し、狩猟犬や番犬、支配者階級のステータスシンボルやペットとして飼われたり、人々の信仰の対象として崇拝されるなど、身近な存在であった。

本展示では、日本各地の遺跡からの出土品や犬に関わる作品・資料等から、犬と人とのつきあいの歴史を紹介する。



犬形土製品
 （中世大友氏館跡）

② テーマ展示（平成27年度）

第1回「郷土の宝箱 -収蔵指定文化財-」

会期 4月18日（土）～6月28日（日）

内容 17年ぶりの公開となる「波奈之丸屏風」など、資料館所蔵・寄託の市指定有形文化財を展示し、大切に守り継がれてきた本市のお宝を通して、連綿と続く郷土の豊かな歴史や文化を紹介する。

第2回「戦時下の暮らしと戦後復興」

会期 7月18日（土）～9月27日（日）

内容 市内に残された資料から、統制下にあった戦時中の暮らしと、家族によせる思いや今なお語り継がれる大分空襲、そして戦後復興について紹介する。

第3回「中世豊後府内の職人たち」

会期 1月16日（土）～4月3日（日）

内容 中世の職人の姿を窺うことができる『七十一番職人歌合』や、中世府内町跡からの出土品を通して、府内のまちに住む人々の日常生活を支えた職人たちに光を当て、活気に満ちた中世豊後府内のまちの様子を紹介する。

③ まちかど歴史展示館

大分の歴史や地域特有の文化財を紹介するため、市民学芸員や地域住民と協働して移動展示を行う。

今年度は各地域にある支所や中学校を巡回して、大友宗麟公に関連したパネルや資料等を展示する。

歴史資料館

(5) 各種講座（平成27年度）

講座名	期間（開催日時）	定員	内 容	備考
ふるさとの歴史再発見 ・考古のコース	4月～6月 計6回	70名	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見 ・歴史のコース	7月～9月 計6回	70名	郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・民俗・文化史のコース	11月～12月 計4回	70名	大分の民俗と文化について	有料
ふるさとの歴史再発見 ・古文書のコース	1月～3月 計5回	70名	中・近世文書の解説	有料
ふれあい歴史体験講座 （親子と一般）	原則毎月第1・3土曜日 午前9時30分～ 午後2時～ の2回	各70名	管玉丸玉作り/土笛作り/勾玉作り/粘土は にわ作り/和風作り/土偶作り/土の鈴作り/ かご編み/土面作り/折り紙雛作り/織り物	有料
			七夕飾り	無料
昔のおもちゃで遊ぼう （親子と一般）	5月5日（火）こどもの日 午前9時～午後4時	なし	資料館隣の広い史跡公園で、手作りの おもちゃ（竹馬、コマ、お手玉等）で 遊ぶ	無料
勾玉作り教室 （親子と一般）	7月25日（土）、26日（日） 10月24日（土）、25日（日） 午前9時～午後1時～	なし	事前申し込み不要で、好きな時間に勾 玉作りを体験する	有料
夏休みジュニア歴史探険 （小4～中学生）	8月3日（月） 午前9時30分～午後3時30分	30名	小中学生を対象に、市内の史跡をめぐ る歴史探険などの活動を実施する	有料
歴史教育研修 （小中学校教職員対象）	7月31日（金） 8月7日（金）、20日（木） 12月25日（金） 午前9時～12時	応募	館内見学/体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など	無料
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後2時～	各70名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各1回開催	無料

(6) 利用状況

① 利用者数

年 度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平成22年度	9,440	13,467	8,023	11,527	42,457
平成23年度	7,181	11,437	8,268	14,954	41,840
平成24年度	7,196	14,010	7,138	14,681	43,025
平成25年度	7,346	14,230	8,731	15,351	45,658
平成26年度	9,105	14,355	8,306	13,949	45,715

② 利用状況（平成26年度）

区分	観覧者		講座室利用者		移動 講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大 人	4,965	4,140	939	6,018	1,349	17,411
中高生	116	408	0	10,594	3,355	28,304
小学生	1,342	12,489				
合 計	6,423	17,037	939	16,612	4,704	45,715

③ 各種講座参加者数（平成26年度）

講座名	延回数	参加者数	
ふるさとの 歴史再発見	考古のコース	6回	276人
	歴史のコース	5回	212人
	民俗・文化史のコース	4回	133人
	古文書のコース	5回	270人
ふれあい歴史体験講座	18回	1,078人	
昔のおもちゃで遊ぼう	1回	375人	
勾玉作り教室	4回	797人	
ジュニア歴史探険	1回	22人	
展示解説講座	4回	94人	
合 計	48回	3,257人	

④ 企画展入館者数（平成26年度）

名 称	期 間	入館者数
第33回特別展 「変幻自在を極める －縄文・弥生のかごと木工芸－」	10月24日（金）～11月24日（月） （開館日数 28日間）	5,211人
記念講演 「実験考古学が明らかにした縄文人と弥生人の生活」	11月9日（日）	58人
テーマ展示Ⅰ 「おおいたに学ぶ 物見遊山の旅」	4月19日（土）～6月29日（日） （開館日数 61日間）	4,536人
テーマ展示Ⅱ 「化けた！出た！道具のおぼけ」	7月12日（土）～9月28日（日） （開館日数 67日間）	4,926人
テーマ展示Ⅲ 「掘った！出た！市内の遺跡」	1月10日（土）～3月29日（日） （開館日数 67日間）	4,022人
まちかど歴史展示館	4月9日（水）～27年3月20日（金） 市内15か所に設置	23,075人

(7) 調査研究（平成26年度）

- ① 平成26年度（第33回）特別展調査
平成26年度の特別展「変幻自在を極める－縄文・弥生のかごと木工芸－」の予備調査を新潟県胎内市教育委員会、鳥取県埋蔵文化財センターなどで行った。
- ② 平成27年度（第34回）特別展調査
平成27年度の特別展「日本犬聞録－イヌと人の歴史－」の予備調査を栃木県立博物館、品川区立品川博物館、大阪府立弥生文化博物館などで行った。
- ③ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査
資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(8) 資料収集（平成26年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。平成26年度の主な収集資料は以下のとおりである。

- ① 購入資料
 - ・ホンディウス「中国図」 1枚
 - ・『永代節用無尽蔵』 揃2冊
 - ・『御飾書』 2冊
 - ・「筑紫將軍大友家系図」 1点
- ② 寄贈資料
 - ・歩兵47連隊入隊時の写真及び軍関係写真アルバム(1冊) など
 - ・陸軍省及び大本営陸軍部主要職員在籍期間一覧表コピー など
 - ・大分連隊写真集(1冊) など
ほか10件

(9) 刊行物（平成26年度）

- ① 資料館ニュース NO.106～108号
- ② 平成26年度（第33回）特別展図録・ポスター・チラシ
- ③ 平成27年度 大分市歴史資料館総合案内
- ④ 伝統文化ガイドブック
『おおいた 春夏秋冬 暮らしの行事』
- ⑤ 資料館展示リーフレット
- ⑥ 体験学習リーフレット

(10) 利用案内

- 開館時間 午前9：00～午後5：00
（入館は午後4：30まで）
- 休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12月28日～1月4日）
- 観覧料 大人 200円（団体150円）
高校生 100円（団体50円）
中学生以下 無料
*団体は20名以上
*特別展開催中は別料金になることがある
- 講座室 第1講座室 1時間 150円
第2講座室 1時間 100円
*一室として利用することも可
*冷暖房を使用する場合は4割増しとする
- 交通機関 JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分

4 大分市美術館

所在地 大分市大字上野865番地

電話 554-5800

FAX 554-5811



(1) 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘子どものもり公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ美術館」として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できるコレクション展（常設展）やさまざまな分野の優れた美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人まで幅広く楽しめる生涯学習施設としての美術館運営をめざしている。

また、特色ある地域の美術文化情報を広く発信するとともに、開かれた美術館として市民との協働による運営を推進する。

(2) 施設の概要

平成11年2月	開館
敷地面積	129,837㎡（公園全体）
建築面積	6,570.65㎡
延床面積	9,036.48㎡
展示室面積	2,097.81㎡
構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨 鉄筋コンクリート造2階建

(3) 収集方針

- ① 豊後南面をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

(4) コレクション展（常設展）（平成27年度）

展示室1～4では、コレクションを中心とした企画により、年間4回（展示室2は6回）の展示を行う。

展示室1 福田平八郎や高山辰雄など、近代・現代の日本画を中心に紹介する。

展示室2 近世の絵画や田能村竹田、帆足杏雨などの豊後南画等を紹介する。

展示室3 佐藤敬など、近代・現代の洋画等を紹介する。

展示室4 生野祥雲斎の竹工芸作品を中心に紹介する。

展示室1～4 [サマー企画] アート・ワンダーランド2015を開催し、全室共通のテーマのもとに所蔵作品を紹介する。



展示室1

会 期	展示室 1	展示室 2	展示室 3	展示室 4
平成27年 4月1日(水) ～4月12日(日)	紅葉・雪景を描く	梅花をめぐる絵画	戦後美術の一段面— 吉村益信、井上佐之 助ほか	磁器・陶器の美—河 合誓徳を中心に—
4月16日(木) ～7月5日(日)	大分発アヴァンギャルド 芸術都市の水脈 ～田能村竹田からネオ・ダダまで～			
7月8日(水) ～9月27日(日)	[サマー企画] アート・ワンダーランド2015			
9月29日(火) ～28年1月11日(月)	高山辰雄 1950年代の風景画を 中心に	清風之美 —煎茶席の絵画 ～11月15日(日) 11月17日(火)～ 江戸の風景—浮世絵 などにみる	パリへ渡った画家た ち—佐藤敬を中心 に	茶器の美とそのこ ろ
28年 1月13日(水) ～4月10日(日)	大分の南画・日本画・ 版画 大正から昭和前期を 中心に	寿(ことほぎ)の絵画 ～2月14日(日) 田能村竹田 2月16日(火)～	秋山庄太郎 冬から 夏へ—《花逍遥— 366日》より	工芸の新しい感性— 河合誓徳と生野徳三 —

(5) 特別展 (平成27年度)

展 覧 会 名	会期・開館日数	内 容
大分発アヴァンギャルド 芸術都市の水脈 ～田能村竹田からネオ・ダ ダまで～	4月16日(木)～ 7月5日(日) 72日間	大分は、大友宗麟の時代にいち早く南蛮文化を摂取するなど、進取の気 風に富む土地柄である。美術においても、豊後南画の隆盛や日本画の福 田平八郎、高山辰雄、洋画の佐藤敬など先進的な芸術家を育ててきた。 本展では、江戸時代後期の田能村竹田から戦後の前衛美術を代表するネ オ・ダダまで、芸術都市大分に流れるアヴァンギャルドの水脈を当館の コレクションにより紹介する。
水戸岡鋭治 デザインワンダーランド 駅弁からななつ星まで	7月11日(土)～ 9月27日(日) 76日間	水戸岡鋭治は近年J R九州の駅舎や車両のデザインを手掛けているデザ イナー、イラストレーターである。大分県内を走る特急ソニック(青・ 白)、ゆふいんの森号、クルーズトレイン「ななつ星in九州」は水戸岡の デザインで、今春オープンしたJ Rおおいたシティ、大分銀行宗麟館や 県内を走る新しい観光列車「スイーツ列車」のデザインも担当している。 本展は斬新なデザインで注目を集めている水戸岡鋭治のこれまでの活動 の全貌を紹介する。
平成27年度市町村立美術館 活性化事業 第16回共同巡回展 北海道立近代美術館・札幌 芸術の森美術館コレクショ ンによる エコール・ド・パリ パリに咲いた異邦人の夢	10月3日(土)～ 11月8日(日) 34日間	一般財団法人地域創造の市町村立美術館活性化事業として開催する展覧 会。北海道立近代美術館と札幌芸術の森美術館が所蔵する作品約60点に より、ルソー、ローランサン、ユトリロ、モディリアアーニに代表される 1920年代を中心にパリで活躍した「エコール・ド・パリ」の作家たちの 作品を紹介する。
郷土在住作家展IX 利光敏郎展・石川賢展	11月14日(土)～ 12月6日(日) 20日間	「郷土在住作家展」の第9弾。白日会を中心に活動している洋画家の利 光敏郎(1934～大分市在住)、創元会を中心に活動している洋画家の石川 賢(1938～大分市在住)を同時に紹介する。
第64回高文連 美術・書道・写真 中央展	12月10日(木)～ 12月20日(日) 8日間	大分県内高等学校(公立・私立)で学ぶ生徒たちが制作した作品(美術・ 書道・写真)を紹介する展覧会。
第67回大分県立芸術緑丘高 等学校美術制作展	12月22日(火)～ 12月27日(日) 5日間	県内で唯一美術専門コースを持つ大分県立芸術緑丘高等学校美術科で学 ぶ生徒が制作した作品を紹介する。
篠山紀信展 写真力	28年1月8日(金)～ 2月21日(日) 40日間	写真家・篠山紀信は、1950年代後半から今日にいたるまで、「今」を敏感 に感じ取りながら写真界の第一線を走り続け、時代の先端を撮り続けて きた。 本展では、ジョン・レノンとオノ・ヨーコ、三島由紀夫、吉永小百合、 山口百恵からAKB48、そして、東日本大震災で被災された方々など、 「時代の写し鏡」である篠山が50年以上にわたって撮り続けてきたポ ートレート約100点を迫力の巨大プリント作品も含め展示する。篠山の「写 真力」を体感できる展覧会である。
第50回記念 大分市美術展	28年3月4日(金)～ 3月27日(日) 22日間	日本画、洋画・版画、彫刻、工芸、デザイン、書、写真の7部門の作品 を公募して紹介する展覧会。50回記念のため、特別大賞を設けるほか、 運営委員による公開講座などの記念事業を実施する。

大分市美術館

(6) 各種講座・講演会（平成27年度）

講演会

講座名	期日・期間	定員	内容
芸術都市の水脈 講演会	5月10日(日)・5月24日(日)	100人	大分の美術や所蔵品に関する講演等
水戸岡鋭治 トーク&サイン会	7月11日(土)	250人	特別展関連講演会
エコール・ド・パリ 実技講座・音楽会	10～11月(5回)	150人	特別展関連事業(実技講座・音楽会)
利光敏郎展作家トーク	11月21日(土)	80人	作家講演会
石川賢展作家トーク	11月28日(土)	80人	作家講演会
篠山紀信展 写真力 講演会	1～2月	100人	特別展関連講演会

芸術・文化講座

講座名	期日・期間	定員	内容
ワタシがつくる、竹のネックレス	5月30日(土)	20人	竹工芸講座及び竹ネックレスづくり
ワイヤーで描くパリの風景	10月24日(土)	15人	(エコール・ド・パリ関連)ワイヤークラフト
モダンしめ縄リース	12月5日(土)	20人	しめ縄かざりづくり
ミュージアムコンサート	未定	100人	特別展会場での夜間コンサート
アートカレッジ 「大分市美術館のコレクションを楽しむ」	6月4日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日、11月5日 全て(木)	80人×6回	美術に関する講義と展覧会解説受講

子どものための講座

講座名	期日・期間	定員	内容
ゴールデンウィーク美術教室	4月29日(金)、5月2日(土)	40人×2回	うちわづくり
夏の美術教室	6月13日(土)、14日(日)	幼小中対象	ハッピーアンブレラ
夏の子ども講座 21回(11日)	7月11日(土)、12日(日) 18日(土)、19日(日)	40人×7回	風の声聞く ウインドベル
	7月23日(木)、24日(金)	40人×2回×2日	風を見つけよう うきうきモビール
	7月30日(木)、31日(金)	40人×1回×2日	はりこの犬
	8月7日(金)、8日(土)	40人×2回×2日	マイ・ロボット
9月12日(土)、13日(日)	40人×2回×2日	大切な人へ贈るカード	
秋の美術教室	11月21日(土)	40人×2回	美術館で絵を描こう
冬の美術教室	12月19日(土)	40人×1回	ランプづくり
ちびっこ工作ルーム	9～3月第1金曜日	25人×1回×7日	自由工作
美術館出前教室	随時 8回		市内小中対象(40人×8回)

市民との協働講座等

講座名	期日・期間	定員	内容
美術館ボランティア研修講座	年5回	99名×5回	美術館で活動しているボランティアの研修
美術館ボランティア養成講座	年6回	20名×6回	美術館で活動する新規ボランティアの研修
美術館で音楽会	9月5日・12日・19日 10月17日・31日 全て土曜日	80名×10回	応募者による演奏会
「ギャラリートーク」	毎週土曜日	—	ボランティアによるコレクション展案内
「第1月曜日は 美術館で楽しもう！」	4月～2月(1月除く) の第1月曜日 (7月は7月20日)	—	ボランティアによるワークショップ
出張講演	随時	—	外部の市民団体等からの依頼による講演

(7) 美術館ボランティア

概 略

美術館ボランティアは、大分市美術館の教育普及活動の諸事業に係わりながら個々の芸術・美術に関する教養を高めると共に、市民文化の発展に寄与することを目的とする。

① 活動

美術関係資料の収集整理、所蔵作品の解説、ワークショップの実施、その他展覧会諸事業への協力など。



ワークショップを行うボランティア

② 研修

大分市美術館美術振興課職員による所蔵作品関連の研修、展覧会レクチャーなど。

(8) 調査研究

① 美術作品等の調査研究

大分ゆかりの作家、日本及び諸外国の近現代芸術、歴史的文化遺産など大分市美術館の収集方針に沿った美術作品及び関連する美術作品、資料等の調査、研究を行う。

② 展示、保存に関する調査研究

特別展、常設展でより効果的に展示する技術、方法や所蔵作品のより安全な保管技術、方法について調査、研究を行う。

③ 教育普及活動に関する調査研究

(9) 利用状況（平成26年度）

1. 観覧者

① 総観覧者

区分	常設展	特別展	計
一 般	23,350 人	74,281 人	97,631 人
高・大生	2,314	4,276	6,590
小・中生	35,814	36,166	71,980
計	61,478	114,723	176,201

② 特別展観覧者

展 覧 会 名	期 間	観覧者 人
郷土在住作家展Ⅷ 菅玲子展／宮崎喜恵展	平成26年4月25日 ～6月1日	4,246
岩合光昭写真展 ねこ歩き	6月6日 ～7月13日	17,882
おおいたロボット博2014ゆめゆめ (夢遊目)ワールドへようこそ	7月18日 ～8月31日	62,249
まちなかアートフルロード プロジェクトイベント	9月5日 ～9月23日	1,459
第50回記念 大分県美術展 写真展	10月1日 ～10月12日	7,530
有元利夫展 天空の音楽	10月24日 ～12月7日	8,932
第63回高文連 美術・ 書道・写真 中央展	12月11日 ～12月21日	1,981
赤瀬川原平の芸術原論展 —1960年代から現在まで	平成27年1月7日 ～2月22日	5,301
第49回 大分市美術展	3月6日 ～3月29日	5,143
計	253日	114,723

2. 研修室

利 用 件 数	利 用 者 数
161 件	6,316 人

(10) 利用案内

- 開館時間 午前10:00～午後6:00（入館は午後5:30まで）
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）
 ※第1月曜日は開館し、翌日の火曜日が休館（ただし、特別展会期中の火曜日は開館します。）
- 年未年始（12月28日～1月4日）
- 観覧料 コレクション展（常設展）
 一般 300円（団体250円）
 高・大学生 200円（団体150円）
 小・中学生 無料
 障がい者（身体障害者手帳等提示）全額減免
 ※団体は20名以上
- 特別展
 その都度決定（コレクション展（常設展）と共通）
- 研修室 使用料 1時間 1,080円
 ※冷暖房を使用する場合は4割増しとする。
- 交通機関
- バス 大分バス「大分駅上野の森口」乗り場から「大分市美術館」行き約7分。
- タクシー JR大分駅上野の森口（南口）から約5分。
- 車 大分自動車道／大分ICから約10分。



「遊星散歩（安藤 泉作）」

5 アートプラザ

所在地 大分市荷揚町3番31号
 電話 538-5000
 FAX 538-5060



(1) 運営方針

ゆとりと豊かさあふれる生涯学習社会をめざし、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として、気軽に利用できるよう市民サービスにつとめる。

また、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを広く紹介する。

(2) 施設の概要

① 沿革

- 昭和41年（1966）5月 大分県立大分図書館（磯崎新氏設計）として竣工
- 昭和43年（1968）4月 建築年鑑賞受賞
- 平成6年（1994）8月 大分県立大分図書館新築移転のため閉館
- 平成7年（1995）4月 大分市が無償貸与を受ける
- 平成10年（1998）2月 アートプラザ開館
- 平成19年（2007）4月 指定管理者制度を導入

② 概要

- 敷地面積 3,686.7㎡
 建築面積 1,599.94㎡
 延床面積 4,081.55㎡
 構造 鉄筋コンクリート造
 地下1階地上3階

(3) 指定管理者制度の導入

① 目的

民間事業者の有するノウハウを活用し、市民サービスの向上と行政コストの縮減、及び新たな雇用の創出による地域の振興を図る。

② 指定管理者

アートプラザ共同事業体

③ 指定期間

平成25年4月1日～平成28年3月31日

(4) 事業内容

本館の業務は、貸館業務と常設展示業務に分けられる。

① 貸館業務

ア 施設の用途

(ア) アートホール（2F）

文化・芸術関係団体の展示会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

(イ) ギャラリーA・B（1F）

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。

(ウ) 研修室（2F）

芸術・文化に関する会議や研修会や講座などに利用できる。

(エ) 実技室（2F）

比較的大きなプレス機を設置して各種版画ができるように準備している。その他多様な芸術活動にも対応できる。

イ 施設紹介

	面積	展示壁面	天井高	収容人員
アートホール	427㎡	116m	5.14m	250人
ギャラリーA	236㎡	78m	2.85m	
ギャラリーB	102㎡	46m	2.85m	
研修室	79㎡		4.66m	70人
実技室	77㎡		4.66m	20人

- ・ギャラリーA・Bを同時使用することもできる。
- ・実技室には1.8m×0.9mの作業台が6台あり、水道も設置している。

② 常設展示業務

ア 磯崎新建築模型展示業務（3F及び2F 60'sホール）

磯崎新氏が設計した建築物の精密な模型や資料などを、随時展示替えを行いながら常設展示する。

イ 現代美術作品常設展示業務（2F 60'sホール）
1960年代前半に活動した前衛芸術家グループ

「ネオ・ダダ」を中心とする現代美術の所蔵作品を、随時展示替えを行いながら常設展示する。

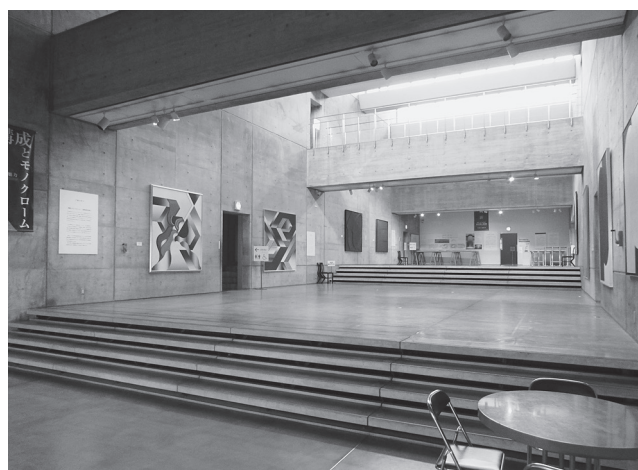
ウ 施設紹介及び展示内容

(ア) 磯崎新建築展示室・60'sホール

展示室は、面積12㎡から111㎡の9つの部屋に分かれており、主要建築模型は60'sホールの一部も使用し展示している。



展示室2



60'sホール

アートプラザ

(5) 利用案内

① 開館時間

午前9時から午後10時まで（ただし3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

② 開館日

年末年始（12月28日～1月3日）を除く全日

③ 使用料

	4月・5月・10月・11月料金	冷暖房 期間中料金
アートホール(427㎡)	1日(9時～22時)9,770円	13,670円
	1時間 1,180円	1,650円
研修室 (79㎡)	1時間 710円	990円
実技室 (77㎡)	1時間 210円	290円
市民ギャラリー(338㎡)	1日(9時～22時)7,710円	10,790円
A室(236㎡)	1日(9時～22時)5,400円	7,560円
B室(102㎡)	1日(9時～22時)2,310円	3,230円

磯崎新建築展示室	観覧無料
----------	------

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

■の部分 は 冷暖房期間です。

④ 受付方法

- ・使用日の属する月6ヶ月前から、受付を行う。
ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3ヶ月前から受付を行う。
また、5日以上連続して行う展覧会については、12ヶ月前から受付を行う。
- ・受付、空き情報の問い合わせは、年末年始の休館日を除く日の午前9時から午後6時まで。
- ・電話等による仮押さえは不可。
- ・使用料は、使用許可の際に納入。

(6) 利用状況

（平成26年度）

項目	市民ギャラリーA	市民ギャラリーB	アートホール	実技室	研修室
利用日数	297	314	304	327	315
利用率(%)	83	88	85	91	88

1 教育委員会の沿革

年月日	で	き	ご	と
昭38. 3.10	大分市、鶴崎市、大南町、大分町、大在村、坂ノ市町の6市町村合併 事務局機構：旧大分市教育委員会事務局を新事務局とし、その他の5市町村教委事務局を出張所1、連絡所4に設置替え			
昭39.12.25	大分市青少年センターを開設			
昭41. 4. 1	大分市立丹生幼稚園設置			
昭43. 6.10	大分高等職業学校開設			
昭44. 3.31	大分市立下戸次小学校廃校			
4. 1	大分市立城南小学校設置		大分市立鶴崎幼稚園設置	
昭45. 4. 1	大分市立坂ノ市幼稚園設置		学校給食上野共同調理場設置	
5.19	教育委員会事務局移転（荷揚町2番36号）			
昭46. 4. 1	大分市立明野西小学校設置		大分市立城南が丘幼稚園設置	
7. 1	機構改革 管理課に施設係を設置 秘書課を庶務課に、保健体育課を体育保健課にそれぞれ課名変更 市長部局より青少年センターを移設 大分公民館設置			
昭47. 3.31	大分市立川添小学校広内分校廃校		大分市立判田小学校百木分校廃校	
4. 1	大分市立明野東小学校設置	大分市立敷戸小学校設置	大分市立明野中学校設置	
11. 6	鶴崎公民館設置			
11.16	大分市霊山青年の家設置			
昭48. 3.28	教育委員会事務局移転（今津留1312番地の179）			
4. 1	大分市立津留幼稚園設置			
昭49. 4. 1	大分市立住吉幼稚園設置	大分市立戸次幼稚園設置	大分市立豊府小学校設置	
6.24	移動図書館開設	大分市営温水プール設置		
昭50. 4. 1	大分市立明野北小学校設置	大分市立宗方小学校設置		
	大分市立植田東中学校設置	大分市立豊府幼稚園設置		
	大分市立桃園幼稚園設置	大分市立明治幼稚園設置		
	大分市立松岡幼稚園設置	大分市立宗方幼稚園設置		
	大分市立植田幼稚園横瀬分園設置			
10.15	大分市立うすき少年自然の家設置			
昭51. 4. 1	機構改革 社会教育課に文化財係を設置			
	大分市立大分高等専修学校設置	大分市立森岡小学校設置		
	大分市立舞鶴小学校設置	大分市立城南中学校設置		
	大分市立明野幼稚園設置	大分市立三佐幼稚園設置		
	大分市立高田幼稚園設置	大分市立判田幼稚園設置		
	大分市立敷戸幼稚園設置			
昭52. 4. 1	大分市立横瀬小学校設置	大分市立舞鶴幼稚園設置		
		大分市立横瀬幼稚園分園より独立		
8. 1	教育委員会事務局組織規則の制定			
10. 5	教育委員会事務局移転（荷揚町2番31号市庁舎8階）			
昭53. 4. 1	機構改革 同和教育室を設置			
	大分市立寒田小学校設置	大分市立植田西中学校設置		
	大分市立森岡幼稚園設置	大分市立寒田幼稚園設置		
8. 1	大分市移動図書館センター開館			
10. 5	学校給食植田共同調理場設置			
昭54. 4. 1	大分市立篤野小学校設置	大分市立別保幼稚園設置		
5.12	植田公民館設置			
5.22	大分市視聴覚センター設置			
8. 1	大分市教育相談センター開設			
昭55. 4. 1	大分市立田尻小学校設置			

年月日	で き ご と
昭55. 4.12	大道幼稚園及び大道公民館焼失
10. 1	大道幼稚園焼失に伴う新園舎完成
昭56. 3.31	大道公民館設置
4. 1	大分市立荏隈小学校設置 大分市立原川中学校設置
4.25	大南公民館設置
6.12	大分市立大東中学校新築移転
昭57. 4. 1	大分市立竹中中学校新築移転 大分市立植田南中学校設置
昭58. 4. 1	大分市立明治北小学校設置 学校給食明野共同調理場設置
6. 1	機構改革 管理課を理財課に課名変更、同課庶務係を管理係に係名変更
昭59. 2. 1	大分市営陸上競技場全天候型に改修
4. 1	大分市立川添小学校新築移転 大分市立長浜小学校全面改築
4.27	坂ノ市公民館新築移転
7. 1	機構改革 文化財係廃止、文化財室を設置
昭60. 3.26	大分市立戸次小学校大規模改築 大分市立坂ノ市中学校大規模改築
4.20	大在公民館新築移転
6. 8	移動式屋根プール「畑中公園運動施設プール」開設
10. 9	毛利空桑遺品館完成
昭61. 3.25	大分市立丹生小学校増改築
6. 7	コンパルホール開館 大分西部公民館設置
昭62. 3.18	大分市立川添小学校増築
4. 1	大分市立大分西中学校設置
4.15	歴史資料館開館
5.11	グリーンカルチャーセンター開館
昭63. 1. 1	大分市立養護学校を大分県に移管
4. 1	大分市立東陽中学校設置 大分市立横瀬西小学校設置
4.28	南大分公民館新築移転
10. 6	明治明野公民館設置
平元. 4.18	グリーンカルチャーセンターに市民体育館設置
平 2. 4. 1	大分市立神崎小学校新築移転
平 3. 3.31	白杵藩丹生原組庄屋池見家住宅移築
4. 1	大分市立西の台小学校設置 畑中体育館設置
平 4. 4. 1	大分市立河原内小学校廃校 畑中体育館の名称を南大分体育館に変更
10. 7	大分南部公民館設置
平 5. 2.10	大分市立三佐幼稚園及び大在幼稚園全面改築
4. 1	機構改革 文化振興課、スポーツ振興室新設、社会教育課を生涯学習課に改称 コンパルホール、大分文化会館、平和市民公園能楽堂を文化振興課の所管とする
平 6. 1.28	大分市立丹生幼稚園全面改築
2. 4	大分西部公民館改築
5.12	大分市立のつはる少年自然の家設置
7.21	日吉原レジャープールオープン
11.25	大分市視聴覚センターに「磯崎新コーナー」を設置
平 7. 4. 1	市営陸上競技場・南大分スポーツパークグラウンドに夜間照明設備完成 大分市教育相談所開設
7.21	大分市営温水プール改修
4. 1	機構改革 美術館建設準備室新設 河原内陶芸楽習館開館
平 9. 4. 1	中核市に移行 大分市公共施設案内・予約システム開始

年月日	できごと
平10. 2. 1	アートプラザ開館
4. 1	機構改革 文化振興課廃止、文化財室、市民図書館は生涯学習課の所管、コンパルホール、大分文化会館、平和市民公園能楽堂は文化国際課の所管とする 幼稚園整備室新設
10.17	第13回国民文化祭・おおいた98開催（～26日）
12. 1	美術館建設準備室廃止、大分市美術館新設
平11. 2.17	大分市美術館開館
平12. 4. 1	大分市立大分幼稚園廃園 大分市立日岡幼稚園廃園 機構改革 文化財室廃止、文化財課新設、歴史資料館は文化財課の所管とする
4.28	大分市海部古墳資料館開館
8.13	「大友氏遺跡」が国の史跡に指定される
平13. 4. 1	大分市立下郡小学校設置 大分市立舞鶴幼稚園2年制保育試行 機構改革 事務局制廃止、教育総務部・学校教育部の2部制新設 大分市青少年センター廃止 青少年課を新設 うすき・のつはる少年自然の家、大分市教育相談所を青少年課の所管とする 市立全小・中学校に学校評議員を配置
平14. 4. 1	大分市立長浜幼稚園廃園 大分市立横瀬幼稚園廃園
6.10	2002FIFAワールドカップTM大分開催（試合日：10日、13日、16日）
平15. 4. 1	大分市立松岡幼稚園及び大分市立宗方幼稚園2年制保育試行
4. 6	大分市西部スポーツ交流ひろば開設
9. 2	大分市教職員支援センター開設
平16. 4. 1	機構改革 同和教育室廃止、人権・同和教育課新設 大分市立舞鶴幼稚園、大分市立松岡幼稚園及び大分市立宗方幼稚園2年制保育導入
平17. 1. 1	大分市、佐賀関町、野津原町の3市町合併
4. 1	大分市立大在西小学校設置
6. 9	不登校児童生徒の教室外活動施設一尺屋オレンジルーム開設
平18. 4. 1	霊山青年の家廃止 機構改革 スポーツ振興課及び学校整備課廃止、教育企画課、スポーツ・健康教育課及び学校施設課新設 美術館管理課及び美術館学芸課廃止、美術館美術振興課新設 幼稚園整備室廃止、子ども教育相談センター新設 視聴覚センターを情報学習センターに名称変更
7. 4	大分市立王子中学校体育館改築（大分国体仕様）
平19. 4. 1	大分市立住吉幼稚園及び大分市立鶴崎幼稚園廃園 大分市立金池幼稚園及び大分市立高田幼稚園2年制保育導入 大分市賀来小中学校開校 大分市立小中学校の一部で隣接校選択制試行 アートプラザ及び大分市営温水プール指定管理者制度導入
4.24	全国学力・学習状況調査実施（小学6年生、中学3年生）
10. 1	大分市立上野ヶ丘中学校全面改築及び神崎中学校部分改築
平20. 4. 1	大分市営陸上競技場及び津留運動公園有料施設指定管理者制度導入 学校問題解決支援チーム設置 幼稚園の専任園長制導入 大分市立八幡幼稚園廃園 大分市立春日町幼稚園2年制保育導入
5. 1	大分市公民館長（大分市中央公民館を除く）及びグリーンカルチャーセンター館長に公募制導入
5.30	大分市教育ビジョン策定
8. 1	大分市学校給食東部共同調理場設置 大分市学校給食上野共同調理場及び佐賀関共同調理場の廃止
9.27	第63回国民体育大会「チャレンジ！おおいた国体」開催（10月7日閉会） 大分県が2回目の天皇杯、初の皇后杯を獲得

年月日	で き ご と
平20.12.22	大分市立松岡小学校増築及び大分市立松岡幼稚園改築
平21. 2.12	「横尾貝塚」が国の史跡に指定される
3.27	大分市立佐賀関中学校体育館全面改築
3.29	大分市立佐賀関小学校体育館全面改築
平21. 4. 1	機構改革 教育総務部及び学校教育部を廃止、教育部を新設 公民館及びグリーンカルチャーセンターの管理・運営業務を市民部へ移管 大分市立小・中学校隣接校選択制を全市で実施 大分市立大道幼稚園廃園 市立全幼稚園に学校評議員を配置
平22. 3.25	大分市立神崎中学校体育館全面改築
3.31	大分市立大分高等専修学校閉校
4. 1	大分市学校支援センター設置
8. 1	大分市学校給食西部共同調理場設置 大分市学校給食植田共同調理場、明野共同調理場及び野津原共同調理場の廃止
12.15	大分市立大在中学校校舎増改築
平23. 1.17	大分市立賀来幼稚園全面改築
4. 1	大分市立野津原中央幼稚園廃園 大分市立野津原西部幼稚園廃園 大分市立今市幼稚園廃園 大分市立野津原幼稚園2年制保育導入 のつはるこども園開園
10.31	大分市立滝尾中学校校舎増築
11.30	大分市立大道小学校校舎改築
12.12	大分市立坂ノ市小学校校舎改築
平24. 2.29	大分市教育ビジョンー第Ⅱ期基本計画ー策定
3.28	大分市立荷揚町小学校体育館全面改築
4. 1	大分市立三佐幼稚園廃園 大分市立竹中中学校二豊学園分校設置 大分市立佐賀関幼稚園2年制保育試行
12.13	大分市立南大分小学校全面改築
平25. 1.25	大分市営陸上競技場改修
3.25	南大分プール改修
平25. 4. 1	大分市立森岡幼稚園廃園 大分市立丹生幼稚園廃園 うすき少年自然の家廃止 埋蔵文化財保存活用センター開設 帆足本家酒造蔵の管理・運営業務を市長部局より文化財課へ移管
平25.12.12	大分市立春日町小学校北校舎増改築
平26. 4. 1	機構改革 教育指導課廃止、学校教育課及び児童生徒支援室新設 生涯学習課及び青少年課廃止、社会教育課新設 子ども教育相談センター廃止、大分市教育センター及び教育相談・特別支援教育推進室新設 大分市情報学習センター指定管理者制度導入 大分市立今市小学校廃校 大分市立滝尾幼稚園2年制保育導入 大分市立佐賀関幼稚園2年制保育の試行期間延長
平27.1.30	大分市立鶴崎小学校北校舎増改築
平27.4.1	大分市立敷戸小学校はばたき分校新築 大分市立植田東中学校はばたき分校新築 大分市立木佐上小学校廃校
平27.5.14	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴う新制度に移行 委員長と教育長を一本化した新「教育長」就任

2 教育委員会会議（平成26年1月～12月）

臨時第1回（H26.1.23）

- 協議事項 ・ 碩田中学校適正配置実施計画について

第1回（H26.1.30）

- 教議第1号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
教議第2号 ・ 県費負担教職員の処分について
教議第3号 ・ 全国学力・学習状況調査結果の公表の取扱いについて
教議第4号 ・ 平成25年度大分市学校教育指導方針について
教報議第1号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱について
報告事項 ・ 平成25年度第2回教育行政総合視察について
報告事項 ・ 第3回大分市子ども・子育て会議に係る報告について
報告事項 ・ 平成25年度体力・運動能力テスト結果について
報告事項 ・ 平成26年度エスペランサ・コレジオ教育計画について
報告事項 ・ 市民意見交換会「知ろう！語ろう！未来の大友氏歴史公園」について
報告事項 ・ キリシタン・南蛮文化交流協定協議会の設置について
報告事項 ・ 平成25年第4回市議会定例会における質問・答弁事項について
協議事項 ・ 碩田中学校適正配置実施計画について

臨時第2回（H26.2.4）

- 協議事項 ・ 碩田中学校適正配置実施計画について

臨時第3回（H26.2.12）

- 協議事項 ・ 碩田中学校適正配置実施計画について

臨時第4回（H26.2.20）

- 協議事項 ・ 碩田中学校適正配置実施計画について

臨時第5回（H26.2.20）

- 教議第5号 ・ 碩田中学校区適正配置実施計画基本方針の策定について

第2回（H26.3.3）

- 教議第6号 ・ 平成25年度3月補正予算について
教議第7号 ・ 平成26年度当初予算について
教議第8号 ・ 平成26年度大分市高等学校修学支援奨学生決定について
教議第9号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
教議第10号 ・ 県費負担教職員の処分について
教議第11号 ・ 大分市公民館長の任命について
教議第12号 ・ 大分市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
教議第13号 ・ 大分市教育委員会公印規則の一部改正について
教議第14号 ・ 大分市学校支援センター管理規則の一部改正について
教議第15号 ・ 大分市立学校職員の給与に関する条例の一部改正について
教議第16号 ・ 大分市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
教議第17号 ・ 大分市立幼稚園条例の一部改正について
教議第18号 ・ 大分市奨学資金に関する条例の一部改正について
教議第19号 ・ 大分市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則の制定について
教議第20号 ・ 大分市立学校管理規則の一部改正について

- 教議第21号 ・ 特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償に関する条例の一部改正について
- 教議第22号 ・ 大分市教育センター管理規則の制定について
- 教議第23号 ・ 大分市営陸上競技場条例施行規則の一部改正について
- 教議第24号 ・ 大分市いじめ問題第三者調査委員会条例の制定について
- 教議第25号 ・ 大分市児童生徒支援室設置規則の制定について
- 教議第26号 ・ 大分市教育委員会事務局子ども教育相談センター設置規則の全部改正について
- 報告事項 ・ 平成25年度定期監査結果の報告について
- 報告事項 ・ 第4回大分市子ども・子育て会議に係る報告について
- 報告事項 ・ 今市小学校等の公有財産有効活用検討委員会作業部会の開催について
- 報告事項 ・ 城南小学校・植田東中学校のプール改築について
- 報告事項 ・ (仮称) 大分市アリーナ構想について
- 報告事項 ・ 大分市指定有形文化財の新規指定について
- 報告事項 ・ 「府内城城下町散策ルートマップ」について
- 報告事項 ・ 「戦国時代三都市講演会」について
- 報告事項 ・ 平成25年度美術品収集について

臨時第6回 (H26. 3. 12)

- 教議第27号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第28号 ・ 市長の権限に属する事務の一部の補助執行の解除に関する協議について
- 報告事項 ・ 大友氏遺跡保存管理計画・整備基本構想について

臨時第7回 (H26.3.24)

- 教議第29号 ・ 教育委員会職員の人事異動について

第3回 (H26.3.27)

- 教議第30号 ・ 市長の権限に属する事務の一部の委任に関する協議について
- 教議第31号 ・ 大分市教育委員会所管事務委任規則の一部改正について
- 教議第32号 ・ 大分市立学校職員の給与の支給等に関する規則の一部改正について
- 教議第33号 ・ 大分市奨学資金に関する条例施行規則の一部改正について
- 教議第34号 ・ 大分市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
- 教議第35号 ・ 大分市立幼稚園規則の一部改正について
- 教議第36号 ・ 公有財産の所管換について
- 教議第37号 ・ 大分市いじめ防止基本方針について
- 教議第38号 ・ 大分市美術館管理規則の一部改正について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 教育相談・特別支援教育推進室の愛称について
- 報告事項 ・ 平成26年第1回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・ 平成25年度3月補正予算について
- 報告事項 ・ 平成26年度当初予算について

第4回 (H26.4.28)

- 教議第39号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第40号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第41号 ・ 大分市文化財保護審議会委員の委嘱について
- 教議第42号 ・ 大分市美術館協議会の委員の委嘱及び任命について
- 教報議第2号 ・ 平成26年度大分市スポーツ推進委員の委嘱について
- 教報議第3号 ・ 大分市学校医等公務災害補償認定委員会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第4号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について

- 報告事項 ・ 第5回大分市子ども・子育て会議に係る報告について
- 報告事項 ・ 消費税の増税に伴う施設使用料の一部転嫁誤りについて
- 報告事項 ・ 大友宗麟副読本の活用状況について
- 報告事項 ・ 「まちかど歴史展示館」について
- 報告事項 ・ 平成26年第1回市議会定例会における質問・答弁事項について

臨時第8回（H26.5.16）

- 教議第43号 ・ 平成26年度大分市奨学生の決定について
- 教報議第5号 ・ 大分市奨学生選考委員会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について

第5回（H26.5.28）

- 教議第44号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第6号 ・ 平成25年度補正予算（平成26年3月31日付市長専決処分）について
- 教報議第7号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第8号 ・ 大分市社会教育委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 平成26年度行政評価・実施計画について
- 報告事項 ・ 平成26年度第1回大分市子ども・子育て会議に係る報告について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 小学校教科用図書の採択について
- 報告事項 ・ 武漢市学校交流事業に係る生徒の受け入れについて
- 報告事項 ・ 敷戸小学校北校舎について
- 報告事項 ・ 「キリシタン・南蛮文化交流 首長サミット」について

第6回（H26.6.25）

- 教議第45号 ・ 教育委員会職員の処分について
- 教議第46号 ・ 教育委員会職員の人事異動について
- 教議第47号 ・ 大分市公民館長の任命について
- 教報議第9号 ・ 大分市奨学生選考委員の委嘱について
- 教報議第10号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 平成25年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の結果について
- 報告事項 ・ 「大分市通学路安全プログラム」について
- 報告事項 ・ 平成26年第2回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・ 平成25年度補正予算（平成26年3月31日付市長専決）について
- 報告事項 ・ 平成26年第2回市議会定例会における質問・答弁事項について

臨時第9回（H26.7.2）

- 協議事項 ・ 教育委員会委員長を選任について

臨時第10回（H26.7.18）

- 教議第48号 ・ 教育委員会事務局職員の処分について

臨時第11回（H26.7.28）

- 教議第49号 ・ 平成27年度使用教科用図書の採択について

第7回（H26.7.30）

- 教議第50号 ・ 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について
- 教議第51号 ・ 工事請負契約の締結について（大分市立大在小学校南校舎増改築工事）
- 教議第52号 ・ 工事請負契約の締結について（大分市立大在中学校北西校舎改築工事）
- 教議第53号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第11号 ・ 平成25年度行政評価・実施計画について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ モニターバスツアー「キリシタン・南蛮文化遺産を巡る旅」について

第8回（H26.8.27）

- 教議第54号 ・ 平成25年度決算について
- 教議第55号 ・ 公有財産の取得の申出及び取得後の所管換について
- 教報議第12号 ・ 大分市スポーツ推進審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 隣接校選択制の運用のあり方に関する見直しについて
- 報告事項 ・ 平成26年度第2回大分市子ども・子育て会議に係る報告について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 今市小学校閉校式の開催について
- 報告事項 ・ 「第1回 戦国時代 館文化セミナー ～戦国時代の庭園と茶の湯～」について
- 報告事項 ・ 平成26年第1回市議会臨時会における一般議案について

第9回（H26.10.1）

- 教議第56号 ・ 大分市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
- 教議第57号 ・ 大分市立幼稚園規則の一部改正について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 大分市立大志生木幼稚園の休園について
- 報告事項 ・ 平成26年度公開研究発表会について
- 報告事項 ・ 全国学力テストの学校別結果公表の中止を求める陳情について
- 報告事項 ・ 学校給食における米飯の変色について
- 報告事項 ・ 国指定重要文化財「後藤家住宅」管理団体指定について
- 報告事項 ・ モニターバスツアー「キリシタン・南蛮文化遺産を巡る旅」について
- 報告事項 ・ 平成25年度決算について
- 報告事項 ・ 平成26年第1回市議会臨時会契約議案にかかる質問・答弁事項について
- 報告事項 ・ 平成26年第3回市議会定例会における質問・答弁事項について

臨時第12回（H26.10.10）

- 教議第58号 ・ 教育委員会事務局職員の処分について
- 教議第59号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第60号 ・ 大分市立幼稚園規則の一部改正について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について

第10回（H26.10.28）

- 教議第61号 ・ 公文書一部公開決定に係る異議申し立てに対する決定について
- 教議第62号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 平成27年度当初予算について
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 平成26年度第3回大分市子ども・子育て会議に係る報告について

- 報告事項 ・ 学校給食における異物混入について
- 報告事項 ・ 平成26年度大分市児童生徒の体力・運動能力調査結果について
- 報告事項 ・ 国指定遺跡「大友氏遺跡」（上原館跡）の追加指定について
- 報告事項 ・ 「大友氏遺跡フェスタ2014」について

臨時第13回（H26.11.12）

- 教議第63号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第64号 ・ 平成27年度大分市立学校の設置について
- 教議第65号 ・ 平成27年度大分市立学校の廃校について
- 教議第66号 ・ 大分市立小学校設置条例の一部改正について
- 教議第67号 ・ 大分市立中学校設置条例の一部改正について

第11回（H26.11.28）

- 教議第68号 ・ 平成27年度当初予算要求について
- 教議第69号 ・ 大分市立学校職員の給与に関する条例の一部改正について
- 教議第70号 ・ 平成26年度県費負担教職員の人事評価について
- 教議第71号 ・ 県費負担教職員の処分の内申について
- 教議第72号 ・ 県費負担教職員の処分について
- 教議第73号 ・ 平成26年度12月補正予算について
- 教議第74号 ・ 大分市立幼稚園条例の一部改正について
- 教議第75号 ・ 大分市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部改正について
- 教議第76号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 教報議第13号 ・ 大分市海部古墳資料館に係る指定管理予定者の決定について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 子どもの力と意欲の向上に向けた「芯の通った学校組織」活用推進プランについて
- 報告事項 ・ 碩田中学校区施設一体型小中一貫教育校グランドデザインについて
- 報告事項 ・ 大分市スポーツ推進審議会について
- 報告事項 ・ 学校給食における異物混入について
- 報告事項 ・ 「文化遺産復刻祭」について

第12回（H26.12.17）

- 教議第77号 ・ 大分市立学校職員の通勤手当の支給に関する規則の一部改正について
- 教議第78号 ・ 平成27年3月末教職員定期異動方針について
- 教議第79号 ・ 大分市立エスペランサ・コレジオ管理規則の一部改正について
- 教議第80号 ・ 大分市公民館運営審議会委員の委嘱及び任命について
- 報告事項 ・ 大分市立幼稚園平成27年度園児募集の結果について
- 報告事項 ・ 大分市幼児教育振興計画の見直しについて
- 報告事項 ・ 大分市立小中学校適正配置基本計画について
- 報告事項 ・ 子ども・子育て支援新制度に向けた取り組み状況について
- 報告事項 ・ 碩田中学校区施設一体型小中一貫教育校の設計概要について
- 報告事項 ・ 第3回大分市スポーツ推進審議会について
- 報告事項 ・ 発掘調査による大規模な地震痕跡の発見について
- 報告事項 ・ 平成26年第4回市議会定例会における一般議案について
- 報告事項 ・ 平成26年度12月補正予算について
- 報告事項 ・ 平成26年第4回市議会定例会における質問・答弁事項について

3 大分市議会文教常任委員会委員

職名	氏名	会派	職名	氏名	会派
委員長	帆 秋 誠 悟	社会民主クラブ	委員	広 次 忠 彦	日本共産党
副委員長	堀 嘉 徳	おおいた民主クラブ	委員	安 東 房 吉	社会民主クラブ
委員	倉 掛 賢 裕	自由民主党	委員	河 内 正 直	新市民クラブ
委員	永 松 弘 基	自由民主党	委員	橋 本 敬 広	公 明 党
委員	秦 野 恭 義	自由民主党			

4 大分市社会教育委員

役職	氏名	選出団体等	役職	氏名	選出団体等
委員長	山 崎 清 男	大 分 大 学	委員	内 田 日出男	ボーイスカウト大分県連盟
副委員長	河 村 裕 次	日 本 文 理 大 学	委員	河 野 真理子	ガールスカウト大分県連盟
委員	安 東 美智代	大分市小学校長会	委員	山 下 かの子	NPO傾聴セラピストすいーとぴー
委員	小 畑 雄 一	大分市中学校長会	委員	小 野 智 子	大分市公民館連絡協議会
委員	多嶋田 哲也	大分市PTA連合会	委員	宮 崎 香 織	西 部 地 区
委員	平 本 泉	大分市公立幼稚園PTA連合会	委員	木 本 厚 子	南 大 分 地 区
委員	後 藤 泰 範	大分市子ども会育成連絡協議会	委員	首 藤 三千代	城 東 原 川 地 区
委員	小 野 昭三郎	大分市青少年健全育成連絡協議会	委員	佐 藤 真由美	明 治 明 野 地 区
委員	波多野 徹	大分市青少年補導員連絡協議会	委員	大 畑 光 代	佐 賀 関 地 区
委員	橋 本 五十鈴	大分市読書グループ連絡協議会	委員	太 田 宗一郎	野 津 原 地 区

5 大分市文化財保護審議会委員

役職	氏名	担 当	役職	氏名	担 当
会 長	北 野 隆	建 築	委員	渡 辺 文 雄	工 芸
副 会 長	豊 田 寛 三	近 世	委員	宗 像 健 一	美 術
委員	下 村 智	考 古	委員	段 上 達 雄	民 俗
委員	西別府 元日	古 代	委員	渡 邊 ひろ美	動 物
委員	鹿 毛 敏 夫	中 世	委員	船 津 勇 一	植 物

6 大分市美術館協議会委員

役職	氏名	職 業 等	役職	氏名	職 業 等
会 長	渡 辺 恭 英	大分県芸術文化振興会議理事長	委員	岩 豪 友樹子	シナリオ作家
副 会 長	山 崎 哲一郎	大分県美術協会(常任委員)	委員	吉 田 公 子	スタイリスト、プロデューサー
委員	鈴 木 忠 実	大分県日本画協会(会長)	委員	酒 井 佐和子	市 民 代 表
委員	貞 包 博 幸	大分県立芸術文化短期大学名誉教授	委員	杉 本 緑	大分市小学校校長会(大分市立滝尾小学校校長)
委員	姫 野 由 香	大分大学工学部福祉環境工学科助教	委員	高 橋 修 一	大分市中学校校長会(大分市立竹中中学校校長)
委員	清 原 保 雄	大分合同新聞社論説委員兼編集委員	委員	小 池 理 恵	大分県立別府鶴見丘高等学校教諭
委員	桑 代 百合子	日本放送協会大分放送局局長			

7 大分市民図書館協議会委員

役職	氏名	職業等	役職	氏名	職業等
会長	山岸治男	日本文理大学教授	委員	姫野輝彦	大分市ボランティアセンター所長
副会長	石井保廣	別府大学客員教授	委員	赤峯とも子	下郡保育所長
委員	田邊久也	大分市小学校校長	委員	佐藤真由美	社会教育委員
委員	長野薫	大分市中学校校長	委員	井上哲朗	公募委員
委員	首藤富久恵	大分ブックトーク研究会代表	委員	山住義昭	公募委員

8 大分市青少年問題協議会委員名簿

役職	委員名	職業等	役職	委員名	職業等
会長	佐藤樹一郎	大分市長	委員	山崎清男	大分市社会教育委員長
副会長	倉掛賢裕	大分市議会議員	委員	岩尾栄次	大分地区高等学校指導連合会長
副会長	三浦享二	大分市教育委員会教育長	委員	軸丸秀樹	大分市生徒指導研究会会長
委員	篠田良行	大分市議会議員	委員	定宗瑛子	大分市民生委員児童委員協議会長
委員	河野栄次郎	大分中央警察署生活安全課長	委員	池邊榮嗣	大分保護区保護司会長
委員	矢野邦彦	大分東警察署生活安全課長	委員	荒金一義	大分市自治委員連絡協議会長
委員	岩本英樹	大分南警察署生活安全課長	委員	三重野伴久	大分市地区公民館代表
委員	伊東健志	大分家庭裁判所主任家庭裁判所調査官	委員	後藤慶太郎	大分市PTA連合会理事
委員	塩川善保	大分少年鑑別所首席専門官	委員	一ノ宮サヨ子	大分市地域婦人団体連合会長
委員	久保山守正	大分保護観察所統括保護観察官	委員	後藤敦子	大分地区更生保護女性会長
委員	平井隆弘	大分労働局総務部企画室長	委員	後藤泰範	大分市子ども会育成連絡協議会長
委員	後藤慎司	大分県中央児童相談所長	委員	首藤由美子	大分商工会議所女性会理事
委員	玉衛隆見	大分市市民部長	委員	足立健太郎	大分青年会議所副理事長
委員	今村博彰	大分市福祉保健部長	委員	小野昭三郎	大分市青少年健全育成連絡協議会長
委員	吉田茂樹	大分市商工農政部長	委員	大塚史郎	大分市青少年補導員連絡協議会長
委員	澁谷有郎	大分市教育委員会教育部長			

9 大分市体育協会役員（平成27年度）

役員名	氏 名	役 職 名	役員名	氏 名	役 職 名
会 長	佐藤 樹一郎	市 長		奈須 弘 治	アマチュアゴルフ部長
副 会 長	右田 芳明	副 市 長		植木 新一	武当派拳法部長
	帆秋 誠悟	文教常任委員		阿部 剛四郎	カヌー部長
顧 問	三浦 享二	教 育 長		橋本 多喜男	トライアスロン部長
	永松 弘基	市 議 会 議 長		阿部 剛四郎	ボート部長
理 事 長	有馬 徹	スポーツ・健康教育課長		佐藤 恵津子	バトントン部長
理 事	尾渡 大 成	卓 球 部 長		皿山 清 文	山 岳 部 長
	團塚 喜幸	水 泳 部 長		宮崎 篤 篤	弓 道 部 長
	田島 誠	ラグビーフットボール部長		宿利 知秀	クレー射撃部長
	古田 正隆	テニ ス 部 長		佐藤 喜一	ハンドボール部長
	阿部 英仁	ソフ ト ボール 部 長		永富 整彦	スキ ー 部 長
	安部 哲也	太 極 拳 部 長		山口 次男	体 操 部 長
	広瀬 光明	グ ラ ウ ン ド ゴ ル フ 部 長		三浦 由紀	自 転 車 部 長
	阿部 英仁	少 林 寺 拳 法 部 長		安部 哲雄	レクリエーション部長
	大西 實基	ス ポ ー ツ 吹 矢 部 長		和田 秀朗	銃 剣 道 部 長
	永松 弘	相 撲 部 長		米良 真理	セーリング部長
	福 惠	ラ イ フ ル 射 撃 部 長		釘宮 馨	空 手 道 部 長
	日小 田 良	ウ ェ イ ト リ フ テ ィ ン グ 部 長		阿部 剛四郎	フ ェ ン シ ン グ 部 長
	小野 一悟	ゲ ー ト ボ ー ル 部 長		佐藤 史隆	レ ス リ ン グ 部 長
	若林 登直	ア ー チ ョ ー リ ー 部 長		二宮 博	綱 引 き 部 長
	荻本 正幸	な ぎ な た 部 長		井手口 良一	ス ポ ー ツ チ ャ ン バ ラ 部 長
	榊原 幸一	夢 ボ ー ル 部 長		河野 義勝	インディアカ部長
	濱本 榮治	ダ ン ス ス ポ ー ツ 部 長		松本 清治	実戦護身武道空手道部長
	渡辺 和郎	合 気 道 部 長		神志那 寿裕	金池校区体育協会长
	牧 信太郎	荷 揚 町 校 区 体 育 協 会 長		篠田 正治	長浜校区体育協会长
	二宮 一郎	住 吉 校 区 体 育 協 会 長		伊賀上 豊重	中島校区体育協会长
	佐藤 修司	神 崎 校 区 体 育 協 会 長		関 谷 忠 忠	春日校区体育協会长
	長田 教雄	津 留 地 区 体 育 協 会 長		吉村 正太郎	大道校区体育協会长
	甲斐 忠博	日 岡 校 区 体 育 協 会 長		管 一 博	八幡校区体育協会长
	筒井 昌一	松 岡 校 区 体 育 協 会 長		宮 邊 和 弘	西の台校区体育協会长
	荻本 正直	三 佐 校 区 体 育 協 会 長		工藤 達夫	東大分校校区体育協会长
	石川 弘章	高 田 校 区 体 育 協 会 長		藤澤 永幹	桃園校区体育協会长
糸永 隆平	滝 尾 地 区 体 育 協 会 長		池永 松弘	鶴崎校区体育協会长	
松永 吉隆	明 野 地 区 体 育 協 会 長		永仲 道俊	別保校区体育協会长	
池永 房吉	戸 次 地 区 体 育 協 会 長		児 玉 玉 隆	明治地区体育協会长	
安東 耕一	植 田 校 区 体 育 協 会 長		国 宗 浩	川添校区体育協会长	
秋吉 孝三	(野津原)東部校区体育協会长		挟 間 孝 治	大坂ノ市地区体育協会长	
竹内 進弘	今 市 校 区 体 育 協 会 長		安 東 正 義	佐賀関地区体育協会长	
櫻井 康弘	ス ポ ー ツ 少 年 団 副 本 部 長		野 尻 哲 雄	南大分地区体育協会长	
監 査 委 員	池永 幹男	鶴崎校区体育協会长		佐藤 洋行	判田校区体育協会长
	皿山 清文	山 岳 部 長		大金 久広	竹中地区体育協会长
評 議 員	中村 康彦	ソフ ト テニ ス 部 長		嶋澤 俊夫	敷戸校区体育協会长
	生野 睦夫	サ ッ カ ー 部 長		佐竹 初生	東植田地区体育協会长
	片山 正明	バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部 長		足立 秀俊	寒田校区体育協会长
	筒井 弘道	剣 道 部 長		小野 和夫	賀来校区体育協会长
	永松 弘基	バ ド ミ ン ト ン 部 長		甲斐 大邦	駕野校区体育協会长
	佐藤 誠治	ボ ウ リ ン グ 部 長		野崎 康一	横瀬地区体育協会长
	足立 一信	軟 式 野 球 部 長		小 出 真 一	(野津原)中部校区体育協会长
	河野 信治	陸 上 競 技 部 長		秦 雅 敏	(野津原)西部校区体育協会长
	柏木 正光	バ レ ー ボ ー ル 部 長		竹 内 利 正	宗方校区体育協会长
	興田 光男	柔 道 部 長			

10 大分市スポーツ推進委員（平成27年度）

校 区	氏 名	校 区	氏 名	校 区	氏 名	校 区	氏 名
会 長	岩 尾 賢太郎 (学識経験者)	佐 賀 関	高 橋 強 之 高 橋 珠 容 子 滝 川 野 邊 子 姫 渡 邊 利 彦 渡 邊 次 男 松 浦 良 一	長 浜	酒 井 明 山 口 哲 功 秦 麻 由 未	寒 田	古 木 庄 三 川 谷 崎 崎 千 後 藤 仲 尚 小 形 麻 二 佐 藤 里 子 村 江 藤 康 江 口 文 敏 広 次 雅 也
副 会 長	川 野 洋 二 (学識経験者) 利 光 明 美 (東大分校) 安 部 奈 良 繁 (横瀬地区)		東 大 分	安 田 直 美 足 立 洋 士 廣 瀨 英 哉	金 池		平 植 松 義 藤 沢 木 修 河 野 沢 洋 奈 良 優 子
明 治	市 原 信 行 岡 本 重 卓 也 大 戸 卓 隆 義 清 原 真 一 酒 見 中 雄 一 竹 立 幸 一 足 仲 摩 剛 征	日 岡	木 平 村 功 平 野 佳 行 大 野 典 哲 子 葛 丸 新 二	荷 揚 町	森 熊 重 隆 田 崎 憲 惠 子 高 屋 浩 子 早 川 福 康 子	植 田	栗 漆 隆 子 森 谷 重 一 熊 崎 美 子 田 高 浩 子 早 工 藤 康 子
別 保	財 笠 前 德 三 後 藤 田 貴 志 益 井 浩 美 桜 阿 内 俊 美 阿 内 俊 美 司 内 俊 美 司 晴	桃 園	佐 北 岩 本 健 北 堤 廣 島 典 堤 廣 島 正 橋 富 野 山 一 德 野 山 田 治 泰 橋 武 栗 生 高 船 津 高 靖 正	大 道	吉 平 竹 舛 三 重 野 智 子	東 植 田	森 首 中 栗 藤 野 俊 長 河 本 岡 村 秋 義
鶴 崎	児 森 甲 玉 崎 恭 利 森 甲 玉 崎 恭 利 彦 甲 玉 崎 恭 利 彦 枝						
三 佐	工 藤 上 藤 淳 川 後 藤 淳 一	津 留	橋 德 富 野 山 一 泰 橋 武 栗 生 高 船 津 高 靖 正	西 の 台	園 松 甲 佐 藤 健 吉 園 吉 藤 公 眞 佐 藤 公 眞 一 甲 藤 井 完 一 生 野 斐 瑞 和 森 野 迫 本 修 橋 後 藤 野 啓 治 河 中 真 美 畠 高 牧 直 正 水 安 田 憲 文 赤 塚 田 惠 美 後 本 香 月 邦 健 板 垣 和 宏	判 田	田 原 中 尻 藤 崎 安 後 藤 田 斐 雄 原 甲 斐 雅 久 大 斐 久 雅 久
坂 ノ 市	板 得 丸 生 田 安 淳 丹 丸 生 田 安 淳 入 田 藤 淳 一 内 加 藤 淳 一						
大 在	阿 藤 部 野 越 藤 木 島 野 甲 川 河 齊 藤 木 島 野 甲 川 松 萱 野 甲 川 姫 都 江 川	滝 尾	田 野 吉 手 熊 桑 須 後 菊 首	南 大 分	佐 藤 公 眞 一 甲 藤 井 完 一 生 野 斐 瑞 和 森 野 迫 本 修 橋 後 藤 野 啓 治 河 中 真 美 畠 高 牧 直 正 水 安 田 憲 文 赤 塚 田 惠 美 後 本 香 月 邦 健 板 垣 和 宏	吉 野	平 齊 佐 谷 川 石 井 野 齊 佐 谷 川 石 井 武 櫻 村 田 喜 久
高 田	岩 尾 宮 村 野 松 本 橋 野 釘 中 野 村 一 志 代 束 野 村 一 志 代	高 田	田 野 吉 手 熊 桑 須 後 菊 首	南 大 分	佐 藤 公 眞 一 甲 藤 井 完 一 生 野 斐 瑞 和 森 野 迫 本 修 橋 後 藤 野 啓 治 河 中 真 美 畠 高 牧 直 正 水 安 田 憲 文 赤 塚 田 惠 美 後 本 香 月 邦 健 板 垣 和 宏	横 瀬	谷 川 石 井 千 鶴 武 櫻 村 田 喜 久 甲 斐 雅 久 雅 久
松 岡	永 松 高 幸 晴 美 宏						

ともに築く 希望あふれる 元気都市

- 1 一人ひとりが健やかでいきいきと暮らせる
まちづくり
(市民福祉の向上)
- 2 思いやる豊かな心と生きがいをはぐくむ
まちづくり
(教育・文化の振興)
- 3 安心・安全に暮らせるまちづくり
(防災安全の確保)
- 4 人と自然が共生するまちづくり
(環境の保全)
- 5 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり
(産業の振興)
- 6 快適な生活を支えるまちづくり
(都市基盤の整備)

大分市平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

しかるに、近年、核軍備の拡張は依然として続けられ、世界平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしている。

我が国は世界最初の核被爆国であり、広島、長崎のあの惨禍を再び繰り返さないように、核兵器の恐ろしさ、核兵器の廃絶を全世界の人々に訴え続けていかなければならない。

大分市は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念に基づき、非核三原則を守り、大分市民の平和と安全のため全力を尽くすことを誓い、ここに「平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年12月24日

大分市歌

作詞／竹森カヨ
作曲／中山悌一

一 豊の海に 陽はのぼり

神宮寺浦 波静か

宗麟この地に 文化を開き

ふれあいの 心豊かに

育ちゆく大分 大分 われらの大分

二 豊の山に 緑映え

荷揚の城に 風かおる

新産都の 力はあふれ

青春の 夢は明るく

ひらけゆく大分 大分 われらの大分

三 豊の国に 水光り

人の心に のぞみわく

はるけき屋並に 鳩は舞い舞う

五十万 共にむつまじく

進みゆく大分 大分 われらの大分



市の木／ホルトノキ



市の花／サザンカ

大分市の教育

(平成27年度)

発行 大分市教育委員会
住所 〒870-8504 大分市荷揚町2番31号
電話 (097)537-5671 教育総務課(ダイヤルイン)

※この冊子は再生紙を利用しています。